

(表) 分ノ會照

通信事務		照會 昭和 年 月 日 郵便局長	本居地及生年月日取調方ノ件 取調上必要有之候條乍御手数數左記ノ者ニ對スル本居地及生年月日別紙相當欄ニ記入ノ上折返御送相成度及御依頼候也
氏名	現住所		
長 殿			

〔花蓮管〕

(表) 分ノ答回

通信事務		本居地及生年月日取調方ノ件	郵便局長殿
氏名	生年月日		
本居地	本居地	右回答ス 昭和 年 月 日 長	
本居地			

第二號

照會 昭和 年 月 日		死亡月日等取調方ノ人 取調上必要有之候條乍御手数數左記ノ者ニ對スル列記事項ヲ相當欄ニ記入ノ上折返本書當局宛御送付ト共ニ本人死亡當時ノ戶口抄本(本人及現)一部御添付相成度及御依頼候也 追テ本書御送付ノ際ハ封皮ニ通信事務ト記載シ無料郵便物トシテ御差出相成度申添候
氏名	現住所	
郵便局		

被保險者死亡調查書	
保險證書記號番號	本籍又ハ本居地
氏名	生年月日及男女別
死亡ノ時	死亡ノ場所
昭和 年 月 日 午前 午後 時	昭和 年 月 日 午前 午後 時

〔花蓮管〕

前記調査事項ニ相違無之候	項
年月日	死 病名、自他殺 自他殺以外ノ變 因 死中、毒等ノ種別 ニ記載アリタシ
昭和 年 月 日	
警察署長 支 長	

戶口抄本ノ必要ナキモノハト共ニ本人死亡當時ノ戶口抄本(本人及現)一部御添付ノ文字ヲ抹削ス

乙號

在籍證明、死亡證明及戶口抄本ノ無料交付ニ關スル件
昭和二年一二月
警保第二一四六號ノ三警務局長回答

標記ノ件ニ關シ九月十九日交還監第三六〇九號ヲ以テ御照會ノ趣了承、右ハ左記ニ依リ取扱フコトニ致度各州廳ニ對シテハ夫々周知方通牒致置候條御了知相成度

右回答ス

記

一 本邦人タルコトノ身元調査
鑑形第一號ノ調査ニ依リ處理ノ件異議ナシ
戶口調査簿ノ閱覽ハ同意シ難シ

二 簡易生命保險ノ被保險者死亡調査及戶口抄本無料交付
證形第二號ノ調査ニ依リ處理シ且ツ調査ニ表記シタルモノニ限り
戶口調査簿抄本無料交付ノ件異議ナシ

● 戶口事務戶番號ニ關スル件

大正十一年一月
花警保第一三五號廳長通達

戶口規則第一條ニ依ル戶番號附シ方ニ就テハ大正十三年二月廳訓令第五號
戶口事務取扱手續第九條ニ明示シアルニ不拘未タ其取扱方區々ニ涉リ統
一ヲ缺ク據ヒ有之右ハ畢竟手續第九條中「街庄村毎ニ家屋ノ順序ニヨリ」
トアルハ戶ヲ基本トシ戶毎ニ單位戶番號ヲ附スヘキモノナルニ據毎ニ附ス
ルモノト解釋シ居ル向モ有之據被認候條別紙圖解ニヨリ誤解ナキ據各部
下ニ對シ注意徹底セシメ且新ニ増加シタル住家ニ新戶番號ヲ附スル場合ハ
監視區監督ノ指揮ヲ承ケシメ一度定メタル戶番號ハ一定不動業リニ變更
ヲ許ササル據取扱可相成
右通達ス

追テ從來ノ分本通達ニ相違スルモ當分其儘トシ將來廢家其ノ他戶主ノ
轉出入ニ際シ民商事登記ニ關係ナキ部分ニ對シテハ更正可相成但シ官
舎及番地ニ在リテハ此際更正相成度申添候

● 行政區域編入戶口其他整理ニ關スル件

大正十一年六月
花警保第二〇九七號警務課長依命通達

〔花警警〕

- 一 本簿ニハ戶口規則第六條各號ノ事項ノ外尙戶口調査規程第四條各
號ノ事項ニ付テモ其ノ異動ヲ記載スヘシ
- 二 記載方ハ實查順ニ依ルヘシ
- 三 異動ニシテ戶口調査簿登記上必要ナル事項ハ總テ之ヲ記載スヘシ
戶主ノ姓名、家族其ノ他ノ人員欄ハ戶主ニ限り其ノ姓名ヲ記載シ
他ハ種別毎ニ男女總數ヲ記入スヘシ但シ戶主モ其ノ總數内ニ算入
スルモノトス
- 五 日計ハ其ノ日、月計ハ其ノ月中ニ實查シタル戶數（戶主ノ姓名欄
ニ123ヲ以テ其ノ種別ヲ表シ其ノ下ニ）人口（相當欄内ニ）ヲ計
上シ戶口調査成績表ノ資料トスヘシ但シ其ノ計數ノ上部ニ戶數ノ
文字ヲ表示スルモノトス
- 六 實查要領欄狹隘ナルトキハ次欄ヲ使用スヘシ
- 七 處置欄ハ實查シタル結果ノ處置ヲ表示スヘシ
- 八 異動ヲ知ル爲メ出入ノ實查ハ出又ハ入ノ文字、屆書ノ實查ハ〇印
ヲ各上部欄外ニ附スヘシ
- 九 本簿ノ記載ハ鉛筆ヲ以テ明瞭ニ記入スヘシ
- 十 本簿ハ毎年受持調査毎ニ調製シ街庄村社毎ニ口座ヲ設クヘシ

● 土地業主死亡通知ノ件

大正七年一〇月
花警戶第七六五五號警務課長通達

土地業主カ死亡ニ際シ戶口上ノ手續ヲ爲スト同時ニ土地業主死亡通知書
ヲ徹シ死亡屆書ニ添付進達スルコトニ取扱ヒ居リシカ近來ニ至リ同通知

第三編 保安 第三章 戶口 人口動態

大正十一年四月一日編入セラレタル普通行政區域内ニ在ル駐在所、警戒
所、分遣所ノ職員及其ノ宿舎建物等ハ總テ一般ノ例ニ從ヒ普通行政區域
内ニ在任又ハ存在スルモノトシテ戶口其ノ他ノ整理可相成
右依命通達ス

● 戶口書類符箋ニ關スル件

大正元年一二月
花警戶第四六號警務課長通達

從來戶口事務ニ關スル受持調査ノ調査要領ハ可成符箋ヲ以テ報告スヘク
一定セラレ之レカ實行相成居候處符箋紙數及寸法ニ付テハ何等ノ指定ナ
キ爲種々ノ色紙ヲ使用シ又ハ符箋大ニシテ原書ノ外ニ出ツルモノアリ或
ハ貼付難雜ナルタメ體裁ヲ損スルノミナラス取扱上頗ル不便不撓候條
今可成半紙白紙ハツ切ヲ用ヒ原書ノ上部欄外ニ正シク貼付相成様一定セ
ラルヘク此段通達候也

● 戶口實查簿記載方ノ件

大正三年八月
花警戶第五一一六號警務課長依命通達

本應戶口事務取扱手續第八號様式戶口實查簿ノ記載例左記ノ通規定相成
候條右ニ依リ記入相成度
右依命通達ス

左記

戶口實查簿記載例

〔花警警〕

書ノ添付漏トナルモノアルヤニ思料セラレ候條爾今死亡屆受理ノ際ハ同
屆書ニ土地業主ノ有無符箋ヲ以テ報告可相成
右通達ス

● 在郷軍人異動通知ニ關スル件

大正七年二月
花警戶第六八四號警務課長依命通達

別紙ノ通り其筋ヨリ通牒有之候條右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス
(別紙)

在郷軍人異動通知ニ關スル件

大正七年一月
本保第一三〇號警務課本署長通達

在郷軍人名簿ノ整理ヲ正確ナラシムル爲戶口規則ニ依リ寄留届及寄留
退去届ノ記事欄ニモ兵役ノ種類官等級ヲ記載セシメ尙戶口實查ノ際發
見セシ場合ハ戶口實查報告書ニモ同様ノ記載ヲ爲サシメ最初ニ其ノ届
書又ハ實查報告書ヲ受理シタル警務課、支廳ニ在リテハ其ノ應ノ庶務
課ニ通知ヲ爲シ在郷軍人名簿整理ノ資料ニ供スヘキ旨大正元年八月民
警第四八三號ノ一ヲ以テ民政長官ヨリ依命通達ノ次第モ有之候處今般
其ノ向ニ於テ應及支廳ノ召集事務査閱ノ結果ニ依レハ戶口調査簿ニ登
記セラレ居ル者ニテ未タ兵事係ニ通知ナキモノ又ハ在郷軍人名簿ニ登
記セラレ居ル者ニテ未タ寄留届ヲ爲ササルモノ等多數有之候處斯クテ
ハ到底在郷軍人名簿ノ正確ハ期シ難ク候ニ付自今一層大正元年八月民

警第四八三號ノ一通達ノ御主旨ニ依リ勵行シ萬遺憾ナキ様注意相成度

右通達ス

追テ庶務課ニ於テ在郷軍人ノ居住又ハ異動ヲ前知シタルトキハ其ノ旨警務課、支廳(支廳ニアリテハ兵)通知ノ答ニ有之候ニ付目今雙方通達ヲ計リ事務ノ正確ヲ期セラレ度此段申添候

●招夫(婿)ノ子ノ續柄等ニ關スル件

昭和三年六月 花登保第二七九號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通り通達有之候條右ニ依リ取扱相成度 右依命通達ス

(別記)

招夫(婿)ノ子ノ續柄等ニ關スル件

昭和三年六月 警保第一一二七號警務局長ヨリ廳長宛

招夫(婿)ノ子ノ續柄竝ニ續柄細別ノ取扱區々ニ涉ル哉ニ有之候處目今左記ニ依リ御取扱相成度 右通達ス

記

- 一 婚戸ノ姓ヲ冠シタル出生子ノ續柄ハ一般ノ例ニ依リ細別ハ母ヨリ見タル續柄ヲ記載ス例ヘハ長女何某長男トスルカ如シ
- 二 招夫(婿)ノ姓ヲ冠シタル子ノ續柄ハ同居人トシ細別ハ父ヨリ見タ

(花登警)

ル續柄ヲ記載ス、例ヘハ招夫(婿)何某次男トスルカ如シ 續柄細別ノ順位ハ婚戸ノ姓ヲ冠シタルト否トヲ問ハス母ヨリ見タル出生順位ニ依リテ定ム、例ヘハ前ノ夫長男アリテ現招夫(婿)トノ間ニ男子アラハ次男トスルカ如シ

四 招夫(婿)カ招家ニ屬セサル子ヲ連レテ生家ニ復歸シ又ハ一戸ヲ構ヘタル場合其ノ子ノ續柄ハ招家ニ於ケル續柄細別ノ順位ニ依ル、但シ招家ニ於テ前夫ノ子アリシ爲メ其順位ニ差異ヲ生シタル者ハ變更届ニヨリ父ヨリ見タル出生順位ニ變更ス例ヘハ招家ニ於テ前夫ノ長男アリシタメ次男タリシ者ハ之ヲ長男ト變更スルカ如シ

●戸口事務ニ關スル取扱疑義ノ件

昭和二年七月 花登保第一二〇九號ノ一一警務課長依命通達

戸口事務取扱ニ關シ別記甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答有之候條右ニ依リ取扱可相成 右依命通達ス

(別記)

花登港廳長ヨリ警務局長ヘ照會

- 一 甲女戸主死亡シ乙招婿トノ間ニ出生シタル丙同居人(招婿ノ姓ヲ冠シタル長女)ニ戸主相續セシメントシ親族ハ協議ノ上姓ノ變更届ヲナシ届出タリ受理シ長女トシテ戸主相續ナサシメ支障ナキ
- 追テ甲戸ニハ乙、丙ノ外甲ノ姉在籍スルモ他家ニ婚姻入戸(手續

(花登警)

右照會ス

左記

- 一 螟蛉子ト家女トノ婚姻ハ大正十一年四月警保第四〇九號ノ一ヲ以テ受理支障ナキ旨御通達アルニ付之ニ依リ類推シ養女ト螟蛉子トノ婚姻モ受理支障ナキヤ
- 二 右ノ場合受理支障ナキモノトセハ戸口調査簿ノ整理ハ同通達後段ノ通登記スヘキモノナリヤ

乙號

螟蛉子ト養女トノ婚姻ニ關スル件

昭和六年四月 警々乙第九八七號警務局長回答

四月十七日花登保第一五五八號ノ一ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件貴見ノ取扱ヒ可然ト思料候條 右回答ス

●指定戸主相續ニ關スル件

昭和二年二月 花登保第五五八一號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記寫ノ通り通達有之候條右ニ依リ取扱相成度 右依命通達ス

(別記)

指定戸主相續ニ關スル件

昭和二年二月 警保第二四七號警務局長ヨリ廳長宛

未濟)中ニシテ丙ノ戸主相續ニハ異議ナク又甲乙婚姻ノ際ニ於テモ契約書等ナキモノナリ

- 二 大正十三年一月十六日總警第二四八八號總務長官通達死後ノ養子縁組ハ明治三十九年八月臺中廳長照會ニ因リナシ別ニ明記ナキモ財産相續ノ爲メ縁組ノミニシテ財産等ナク婚戸ヲ再興スル爲メ縁組スルハ認メサル義ニ候哉

警務局長回答(昭和二年七月警保第八四四號ノ五)

- 一 受理差支ナシ
- 二 婚戸再興ノ場合ト雖死後ノ養子ヲ爲スコトヲ得但シ戸口上ノ取扱ハ婚戸再興ノ手續ノミニテ可ナリ

●螟蛉子ト養女トノ婚姻ニ關スル件

昭和六年四月 花登保第一五五八號警務課長通達

首題ニ關シ別記甲號ノ通警務局長ヘ照會中ノ乙號ノ通回答有之候條右ニ依リ取扱相成度 右依命通達ス

(別記)

甲號

螟蛉子ト養女トノ婚姻ニ關スル件

昭和六年四月 花登保第一五五八號ノ一警務課長照會

戸口事務取扱上左記ノ通達養相生シ候條何分ノ御回報相仰度

第三編 保安 第三章 戸口 人口動態

異姓者ヲ指定シ戸主相續セシメタル結果異姓相續ニ陥リタル向有之候
へ共右ハ相續ト同時ニ指定者ノ姓ニ變更セシムヘキモノニ有之候條
右通牒ス

追テ既登記ノ分ハ届出事項訂正届ニヨリ訂正セシメラレ度申添候

● 戶口事務取扱上疑義ニ關スル件

昭和六年七月
花警保第三一五一號警務課長依命通牒

首題ニ關シ別記ノ通り警務局長ヨリ通牒有之候條右ニ依リ取扱相成度
右依命通牒ス

戸口事務取扱上疑義ニ關スル件

昭和六年七月
警々乙第一九六八號警務局長ヨリ各州知事廳長宛

首題ニ關シ別記甲號寫ノ通高州知事ヨリ照會ニ付乙號寫ノ通回答致
置キ候條御了承相成度
右經伺ノ上通牒ス

(別記)

甲號

高州知事照會(昭和五年三月高警保第二四九七號ノ三)

高州岡山郡湖内庄竹瀝六百十七番地林基ヨリ長男林恩復歸當二十三
年カ火燒島附近航海中波瀾ニ波ハレ溺死セルモノトシ船長臺灣總督府
水産試驗船凌海丸船長鹽川留吉ノ死亡現認證(内容死亡シタルモノト

[花運警]

認メラル)ヲ添付シ死亡届出ヲナシタリ本件ハ死體發見ナキモノニ付
當然行衛不明ノ取扱ヒヲナシ民法第三十條同第三十一條ニ依リ法定期
間滿了後失踪宣告届ニ依リ處理スルヲ至當ト認メラルルモ一面船長ノ
死亡現認證添付シアラハ屍體ノ發見ナキモ死亡届ニ依リ處理シ差支ナ
キ旨ノ説モ有之取扱上疑義相生候條何分ノ御回答相成度
及伺出候也

乙號

警務局長回答(昭和五年四月警々乙第七九三號)

三月二十日付高警保第二四九七號ノ三ヲ以テ總督府水産試驗船凌海丸
ニ乗組中波瀾ニ波ハレ屍體發見ナキ者ニ付其ノ父ヨリ該船長ノ死亡現
認證ヲ添付シテ死亡ノ届出アリ之カ取扱上疑義相生シ候趣御照會有之
候處、本件ハ貴州ニ於テ遭難當時ノ狀況及遭難後ノ搜索狀況等調査セ
ラレタル上、本人ハ行衛不明ニ非スシテ、死亡シタルモノナリト認定
シ得ラルルニ於テハ貴見後段ノ通御處理相成可然ト思料候條經伺ノ上
右回答ス

● 行衛不明者ニ對スル戸口事務取扱方

ニ關スル件

昭和六年七月
花警保第三〇〇五號警務課長依命通牒

首題ノ件別記甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答有之候條右ニ依リ取扱相成
度
右依命通牒ス

[花運警]

[花運警]

追テ警務局長回答中七月六日警々乙第一九六八號通牒ハ七月十一日附
花警保第三一五一號通牒參照相成度申添候

(別記)

甲號

行衛不明者ニ對スル戸口事務取扱方ニ關スル件

昭和六年六月
花警保第三〇〇五號廳長照會

行衛不明者ノ除戸ニ關シテハ戸口事務取扱上特ニ規定セラレタルモノ
ナキヲ以テ民法第一編第三十條ノ規定ニ依ルノ外無之モノト思料候へ
共死亡ノ原因タルヘキ危難ノ事實最モ明瞭ニシテ所轄警察官署長之ヲ
證明スルモノハ其ノ證明書ヲ添付シタル死亡届書ヲ徵スル等便宜ノ方
法ニテ戸口調査簿ヨリ除戸スルコトトセハ戸口調査簿ノ整理ヲ敏速確
實ナラシムルノミナラス遺族其ノ他關係者ノ權利義務ニ關スル法律行
爲ヲ爲スニ至大ノ效果アルモノト思料セラレ候條之レカ便宜ノ取扱ニ
關シ御意見承知致度

右照會ス

乙號

行衛不明者ニ對スル戸口事務取扱方ニ關スル件

昭和六年七月
警々乙第二〇二三號警務局長回答

昭和六年六月三十日附花警保第三〇〇五號ヲ以テ照會有之候首題ノ件
昭和六年七月六日警々乙第一九六八號通牒戸口事務取扱上疑義ニ關ス
ル件ニ準シ御取扱相成度
右回答ス

● 戶口事務取扱ニ關スル件

大正一四年七月
花警保第二六二六號警務課長依命通牒

本件ニ關シ臺北州知事ヨリ別記甲號ノ通り照會ニ對シ乙號ノ通り回答シ
置キタル旨其筋ヨリ通牒有之候條右ニ依リ取扱可相成
右依命通牒ス

(別記)

甲號

戶口事務取扱ニ關スル件

大正一四年七月
北警保第四六四五號臺北州知事照會

戶口事務取扱上左記ノ通疑義相生シ候ニ付何分ノ御回報相煩度
右照會ス

左記

- 一 民法施行前失踪届出ニ依リ已ニ整理済トナリタル後民法上ノ規定
ニ依リ地方法院ノ失踪宣告ヲ受ケ其ノ謄本ヲ添付シ更ニ失踪ノ届
出ヲ爲ス者アリ右届出ハ之ヲ受理スヘキモノナリヤ受理スヘキモ
ノトセハ此場合如何ニ整理スヘキモノナルヤ
- 二 主寄留地ヨリ從寄留地ヘ轉スル場合ノ取扱ニ關シテハ大正六年八
月本保第一一七五號警察本署長通牒ニ依リ明カナルモ此場合從寄
留地ニ同居寄留人又ハ雇人アリテ其儘寄留シ居ル場合ノ取扱ハ同
一地番内同一戸主ヨリ轉寄留届ヲ徵シ整理スヘキモノナリヤ將又
戸主ノミノ届書ヲ徵シ同居寄留人、雇人等ハ届書ヲ徵セス戸口調

査簿乙號用紙ハ其儘差換フヘキモノナリヤ

乙號

戸口事務取扱ニ關スル件

大正一四年七月
警保第一一六五號警務局長回答

七月七日北警保第四六四號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件左記ノ通ニ候
條

右回答ス

追テ添付参考書類ハ返戻ス

一 受理ノ上戸口調査簿(除戸簿ヲ含ム)ハ本年七月警保第一二四五號
通牒ニ依リ整理スヘキモノトス

但シ既ニ整理サレタル失踪記事ハ其儘トナシ置クヘシ

二 前段御見解ノ通り

● 寄留地ニ於テ出生シタル子女ノ取扱

ニ關スル件

昭和二年一月
花警保第四八五九號ノ一警務課長依命通牒

父母ノ寄留地ニ於テ出生シタル子女ノ戸口事務左記ニ依リ取扱相成度

右依命通牒ス

一 父母ノ寄留地ニ於テ出生シタル子女ハ特別ノ事情ナキ限り寄留者
トシテ取扱フコト

〔花蓮警〕

二 戸口調査簿同副簿事由欄ニハ出生届書ニ依リ寄留者家族ノ例ニ準
シ年月日(出生年月日)父(若ハ母)ト共ニ寄留ト記載スルコト

三 寄留地ノ戸口調査簿同副簿事由欄ハ記載ヲ要セス

四 既登記ノ分ハ漸次訂正スルコト

● 寄留地ニ於テ戸主相續ノ場合取扱方

ノ件

昭和三年二月
花警保第五一九號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通り通牒有之候條右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス

(別記)

警務局長通牒(昭和三年一月警保第二三二號)

寄留地ニ於テ戸主相續ヲ爲ス場合戸主相續届ノ外寄留届ヲ徴シ又ハ届
出事項訂正届ヲ徴スル等取扱區々ニ涉ル向有之候ヘ共爾今左記ニ依リ
御取扱相成度

右通牒ス

記

一 新戸主ガ寄留戸主トナル場合ハ戸主相續届ニ依リ整理ヲ爲シ新戸
主以外ノ者カ寄留戸主トナル場合ハ轉寄留届ヲ徴シ整理スルコト

二 新戸主ガ寄留戸主トナリタル場合事由欄ノ寄留記事ハ前寄留又ハ
出生ノ時ヲ以テシ家族ノ寄留記事ハ從前ノ儘トス但シ寄留地ニ於テ
新戸主ト寄留ノ時ヲ異ニスル家族ニ對シテハ各人毎ニ記載ヲナス

〔花蓮警〕

● 數個ノ寄留地ヲ有スル場合ノ整理方

ニ關スル件

昭和三年二月
花警保第八五一號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通り通牒有之候條右ニ依リ取扱可相成度

右依命通達ス

(別記)

警務局長通牒(昭和三年二月警保第三八二號ノ一)

本件ニ關シ臺北州知事ヨリ甲號ノ通照會有之乙號ノ通照答致候條
右通牒ス

甲號

一 三個以上ノ寄留地ヲ有スル者第二寄留地ヲ引揚ケ第三寄留地ヲ第
二寄留地ニ第四寄留地ヲ第三寄留地ト順次變更スル場合ノ取扱方

ニ關シテハ別ニ規定ナキヲ以テ其ノ取扱區々ニ涉リ一ハ第二寄留
地ヲ主寄留地ニ退去シ第三寄留地以下ハ届出事項變更届ニ依リ整
理スル向ト、一ハ第二寄留地ヲ主寄留地ニ退去シ第三寄留地以下

ハ轉寄留届ニ依リ整理スル向トアリ何レニ依ルヲ可トスル哉

二 數個ノ寄留地ヲ有スル者カ第二、第三、第四ノ寄留地ヲ同時ニ退
去スル場合ノ退去届ハ舊寄留地毎ニ各別ニ徴スヘキモノナルヤ將
又各寄留地ヲ記載シタル届書一通ニテ可ナルヤ

乙號

一 前段ニ依リ取扱フヘシ

二 寄留地毎ニ各通ヲ徴スヘキモノナリ

第三編 保安 第三章 戸口 人口動態

● 寄留者行衛不明ノ場合ニ於ケル取

扱方ノ件

昭和三年一月
花警保第五二四〇號警務課長依命通達

寄留者行衛不明ニテ無届退去者ト見做シ戸口調査簿同副簿整理ノ場合行
衛不明ノ起算日ニ關シ取扱區々ニ涉ルヤノ嫌有之候處自今左記ニ依リ
取扱可相成

右依命通達ス

記

寄留者ニシテ他ニ轉住ノ事實ヲ發見シ行先ヲ調査スルモ發見セサルモ
ノハ其ノ異動發見ノ日ヲ以テ行衛不明トスルコト但轉住後行先判明シ
未手續ノ儘更ニ轉住行衛不明トナリタルモノハ更ニ轉住ノ日ヲ以テ行
衛不明トスルコト

行政區域内ニ在住スル生蕃人ニ戸口
規則適用ニ關スル件

● 行政區域内ニ在住スル生蕃人ニ戸口

規則適用ニ關スル件

大正三年三月
民警第二七一號民政長官依命通達

大正三年三月二十三日付ヲ以テ臺東廳及花蓮港廳下ノ行政區域内ニ在ル
生蕃人ニモ戸口規則ヲ適用スルコトニ府議決定致候就テハ生蕃人ノ慣習
ニ據リ至急戸口調査簿及同副簿ヲ調整可相成

右依命通達ス

追テ當分ノ内本島人カ婚姻又ハ縁組等ニ依リ生蕃人ノ家ニ入ルコトハ之ヲ認メス候條此段申添候

●戸口事務取扱上疑義ニ關スル件

昭和三年三月
花警保第九五六號警務課長通牒

首題ニ關シ別記甲號ノ通鳳林支廳長ノ伺出ニ對シ乙號ノ通牒致置候條爲參考

右通牒ス

(別記)

甲號

鳳林支廳長ヨリ伺出 (昭和三年三月鳳戸第二三九號ノ一) 事務取扱上左記疑義相生シ候條何分ノ御指示相仰度 右伺出候也

左記

- 一 本島内ニ本居地ヲ有スル「アミ」族蕃人(又ハ本島人)ニシテ内地ニ居住スル者寄留籍法ニ據ル住所寄留届ヲ提出シ所轄村役場ヨリ届書廻送アリタル場合該法ノ適用ヲ受ケサル理由ヲ以テ届書ヲ返戻スヘキハ勿論ノ義ト思料セラル、モ右ノ場合本居地戸口簿ノ整理方ニ關シテハ別段ノ規定ナキカ如何處理スヘキヤ

乙號

警務課長依命通牒 (昭和五年四月花警保第一二七〇號)

首題ニ關シ昭和三年三月一日付鳳戸第二三九號ノ一ヲ以テ伺出ノ件左

〔花連警〕

記ニ依リ取扱相成度 右依命通牒ス

左記

- 一 内地ノ所轄村役場ヨリ送付ヲ受ケタル寄留届書ハ返戻ニ及ハス書類ハ戸口ニ關スル書類編ニ綴ルコト
- 二 戸口調査簿及同副簿ニハ付箋ニテ其ノ事由ヲ「何縣何郡何村何々何地何某方へ何年何月何日寄留」ト記載シ置クコト

●アミ族ノ戸口續柄ニ關スル件

昭和五年四月
花警保第一二七〇號警務課長依命通達

「アミ」族ノ招入婚ニ依ル夫ノ妻ニ對スル續柄ハ從來「招婚」トシテ戸口調査簿及同副簿ニ記載セラレタル處自今「夫」ト變更シ既登記ノ分ハ此ノ際訂正可相成 右依命通達ス

●戸口事務取扱疑義ニ關スル件

昭和四年八月
花警保第二三五四號警務課長通牒

首題ノ件別記甲號玉里支廳長上申ニ對シ乙號ノ通牒相成候條右通牒ス

(別記)

甲號

玉里支廳長ヨリ上申

〔花連警〕

- 二 推定戸主相續人廢除届ヲ徴スルコト
- 三 上申ノ通
- 四 姓名變更認可願ヲ徴スルコト

●戸口調査簿、同副簿記載文字ニ關スル件

昭和三年二月
花警保第四九〇號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通り通達有之候條右ニ依リ取扱可相成 右依命通達ス

(別記)

總務長官代理依命通達 (昭和三年一月總警第一〇號)

從來蕃人ノ姓名等ヲ戸口調査簿同副簿ニ記載スルニ「サ」又ハ「ソ」等ノ符號ヲ用ヒタル向有之候へ共右ハ文字トシテ認メラレタルモノニ無之候條取扱上注意相成度 右依命通達ス

追テ既登記ノ向ハ届出事項訂正届ニ依リ整理相成度

●本島人ノ戸ニ蕃人入戸ノ場合ニ於ケル戸口整理ニ關スル件

大正一四年六月
花警保第二〇五四號警務課長依命通達

追テ當分ノ内本島人カ婚姻又ハ縁組等ニ依リ生蕃人ノ家ニ入ルコトハ之ヲ認メス候條此段申添候

乙號
警務課長依命通牒
一 從來ノ通取扱フコト

- 一 「アミ」族蕃人間ニ於ケル招入婚ハ婚養子、入夫招婚等ノ何レニモ該當セス男カ女戸ニ婚姻入戸スルハ恰モ普通婚姻ノ如キモノニシテ招夫招婚ノ如ク舊慣ニ依ル一定ノ契約アルナク又戸主相續權ナキモノナルカ從來戸口調査簿及同副簿ノ整理ハ本島人ノ例ニ準シ家女ニ對スル入夫ヲ招婚トシテ取扱ヒツ、アリ右ハ從來ノ通取扱ヒ可ナルヤ
- 二 「アミ」族蕃人ノ戸主相續ハ同族ノ慣習上女系ヲ以テ繼承スルヲ從來ノ例トセリ然ルニ近來内地人式改名蕃人及一部蕃人ニシテ男系戸主相續届ヲ提出スルモノ竝ニ推定戸主相續人(女)ニシテ養女又ハ普通婚姻ニ依リ他戸へ入ラントスルモノアルニ至リタルカ右ノ場合推定戸主相續人廢除届出ナキモ受持巡查ニ於テ實査ノ結果弊害ナキニ於テハ之ヲ受理シ支障ナキヤ
- 三 本島人女ト蕃人招婚トノ間ニ出生シタル子女ノ種族ハ父ニ依ルヘキハ言ヲ俟タサル處ナルカ其ノ出生子カ(母)婚戸ニ屬スルトキハ婚戸ノ姓ヲ冠シ蕃人名ヲ附スヘキモノナリヤ
- 四 蕃人カ本島人ノ私生子ヲ認知シタル場合被認知者ノ姓名ヲ其儘トセス蕃人ニシテ其姓名漢字トナリ明治四十四年五月八日花警第二五三五號御通達ノ趣旨ニモ反スルモノト思料セラレ候處右ハ届出事項訂正届ヲ徴シ整理スヘキモノナリヤ將又改名願書ヲ提出セシムヘキモノナリヤ

本島人ノ戸ニ蕃人入戸ノ場合ニ於ケル戸口整理ニ關シ從來姓ヲ冠用セルモノト否ラサルモノト有之候處自今右ノ場合ハ一般本島人間ノ例ニ依リ取扱フコトニ決定相成候條
右依命通達ス

追テ從前姓ヲ冠セスシテ登記シアルモノニ對シテハ自今戸主相續、轉居等ニ依リ戸口異動ノ場合漸次整理可相成申添

改名蕃人戸口事務取扱ニ關スル件

大正一五年八月
花警保第二〇九二號ノ一警務課長依命通達

内地人式ニ姓名ヲ變更シタル蕃人ノ戸口事務ニ付テハ改名蕃人ヲ内地人式ニ準シ其ノ準スルコト能ハサル點ノミ本島人、蕃人ノ慣例ニ依リ左記ノ取扱可相成
右依命通達ス

左記

- 一 改名シタル蕃人相互間ノ婚姻、縁組又ハ入戸ノ場合ハ婚戸、養戸又ハ入戸セシメタル戸ノ姓ニ改メ離戸、離縁等ニ因リ復戸シタルトキハ實戸ノ姓ニ改ム
- 二 改名シタル蕃人カ婚姻、縁組等ニテ改名セサル蕃人ノ家ニ入戸シタル場合ノ姓名ハ其ノ儘トス
- 三 改名シタル蕃人カ婚姻、縁組等ニテ本島人ノ家ニ入戸シタル場合ハ實戸ノ姓ヲ捨テ婚戸、養戸ノ姓ヲ冠シ離婚、離縁等ニ因リ復戸シタルトキハ實戸ノ姓ニ改ム

〔花連警〕

四 本島人カ改名シタル蕃人ノ家ニ入戸シタル場合ハ第三號ニ準ズ

蕃人姓名ニ關スル件

大正一三年四月
花警保第一〇六四號警務課長依命通達

蕃人姓名ニ關シテハ明治四十四年五月八日花警第二五三五號ヲ以テ片假名ヲ用フル様通達致置候處現ニ警察、學校、鐵道、會社等ノ職ニ携ハリ居ル者若ハ相當智徳向上セル者ニシテ内地人式ニ姓名變更願出ル者ニ對シテハ適當ト認ムル姓名變更ハ之ヲ認容可致候條自今右姓名變更願出者有之候節ハ相當調査ノ上意見ヲ付シ進達可相成
右依命通達ス

蕃人姓名ニ關スル件

大正一三年五月
花警保第一〇六四號ノ三警務課長依命通達

首題ニ關シ大正十三年四月七日花警保第一〇六四號ヲ以テ通達致置候處右ニ據リ姓名變更ノ認可ヲ得タル者ノ其改名届出後出生シタル嫡出子ニ對スル姓名ハ明治四十四年五月八日花警第二五三五號通達ニ依ルコトナク内地人式ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス
追テ蕃人ノ姓名變更願ニハ戸口規則第十一條ニ依リ戸主ノ外人ヲシテ連署セシムル様取扱ハルヘク申添候

本島人ノ身分ヲ有スル行政區域内居住蕃人ノ姓名變更ニ關スル件

昭和五年一〇月
花警保第二〇七〇號ノ三警務課長依命通達

首題ニ關シ別記甲號ノ通警務局長ヘ照會中ノ乙乙號ノ通回答有之候條自今右ニ依リ取扱相成度
右依命通達ス

(別記)

甲號

本島人ノ身分ヲ有スル行政區域内居住蕃人ノ姓名變更ニ關スル件
昭和五年六月
花警保第二〇七〇號廳長照會

當廳下行政區域内ニ居住スル蕃人ノ名ハ戸口事務其ノ他ノ取扱上本島人氏名トノ錯綜ヲ防ク爲片假名ヲ用キルコトトシ從來漢字ヲ用キタル者モ明治四十四年五月ヨリ片假名ニ改メ其ノ後大正十三年四月貴局ノ御指示ヲ依テ官公職ニ在ル者若ハ智徳向上セル者ニシテ内地人式ノ氏名ニ變更願出テタル者ニ對シ認可スルコトニ取扱致居候處近來本島人ノ身分ヲ有スルモノ(例ヘハ本島人ノ戸ニ入戸シタル者又ハ蕃人本島人間ノ混血兒等)ニシテ本島人ノ漢字姓名ニ變更願出ツル向アリ調査スルニ本島人同様ノ生活ヲ爲シ相當事情ノ存スルモノ有之候ニ付テハ自今之等姓名變更願出ニ對シテハ認可スヘク考慮中ニ有之候モ一應貴見承知致度
右照會ス

〔花連警〕

乙號

本島人ノ身分ヲ有スル行政區域内居住蕃人ノ姓名變更ニ關スル件
昭和五年一〇月
警々乙第一六二七號警務局長回答

六月七日付花警保第二〇七〇號ヲ以テ首題ノ件御照會相成候處蕃人ノ姓名ヲ本島人式ニ改ムルカ如キハ其ノ母國同化上好マシカラサルモ本件ノ如キ既ニ本島人ノ身分ヲ有スルモノニアリテハ貴見ノ如ク取扱フモ亦止ムヲ得サルヘシト思料候條
右回答ス

アミ族ノ身分ニ關スル件

昭和六年一〇月
花警保第一八三一號ノ四警務課長通牒

首題ノ件ニ關シ別記甲號照會ニ對シ乙乙號ノ通回答有之候條
右通牒ス

(別記)

甲號

廳長照會(昭和六年四月花警保第一八三一號ノ一)
本居地 花連港 玉里庄末廣村二十六番戸
住所 花連港 鳳林區萬里村百五十六番戸
アミ族 舊名 マヤウ事
昭和五年三月四日改姓名 河野 信義

明治二十年四月十八日生

右者當廳下「アミ」族ニシテ明治四十三年四月二十四日花蓮港廳奉郷三笠村三十二番戸本島人李佳法妹、李氏金花ノ招婿トナリ其ノ後大正六年十一月三日妻李氏金花ト共ニ分戸シ現在戸主トシテ肩書住所ナル本島人部落ニ居住中ナリ右河野信義ニ對シ

- 一 本島人ノ身分ヲ有スルモノト認ムヘキヤ否
 - 二 本島人ノ身分ヲ有スルモノトセハ保甲ニ加盟セシメ差支ナキヤ
- 取扱上疑義有之候條何分ノ御回答相成度

右照會ス

乙號 警務局長回答(昭和六年十月警々乙第一二五五號)

昭和六年五月二日花警保第一八三一號ノ一ヲ以テ御照會相成候本島人女ノ招婿トナリ其ノ後招家ヲ出タル「アミ」族河野信義ハ本島人ノ身分ヲ有セサルモノト認メラレ候條

右回答ス

● 行政地居住生蕃人ノ姓名ニ關スル件

昭和五年一〇月 花警保第三九三四號警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通警務局長ヨリ通譯有之候條參考ニ供セラレ度

右依命通達ス

(別記) 行政地居住生蕃人ノ姓名ニ關スル件

〔花蓮警〕

昭和五年一〇月 警々乙第二〇七二號警務局長通譯
首題ノ件ニ關シ臺中州ノ照會ニ對シ左記ノ通回答致置候條
右通譯ス

一 生蕃人行政地移住ニ當リ任意氏名ヲ定(生蕃人ノ姓名ハ從來稱呼ニ從ヒ片ニ氏名ヲ定メ又ハ)メ届出ルトキハ之ヲ受理スヘキヤ
答 在來ノ姓名即チ蕃人戸口簿ニ登錄セラレタル姓名ト異ル姓名ヲ定メントスルニ於テハ戸口規則ノ規定ニ依ル姓名變更ノ手續ヲ爲サシムルコト而シテ此ノ場合ハ可成内地式姓名ニ準ハシムルコト

二 行政地居住蕃人ノ姓名ハ稱呼ニ從ヒ上ヲ姓トシ、下ヲ名ト看做スベキヤ(生蕃人ノ慣習ニ從ヘハ上)姓ハ必ス上ニ附スヘキモノトセバ在來ノ稱呼ハ總テ顛倒セシムヘキヤ
答 當分在來ノ稱呼ノ儘トシテ取扱フコト

三 行政地居住生蕃人ノ出生兒ハ任意氏名ヲ附シ差支ナキヤ又子ハ必ス父若ハ母ノ姓ヲ附スヘキヤ、慣習ニ從ヒ親ノ名ヲ子ノ姓トセントスルモノ、發音ノ變化等ニ依ラントスルモノアラバ之ヲ認ムヘキヤ
答 命名者ノ任意トスルコト但シ成ルヘク一定ノ姓ヲ選ヒ且ツ其ノ姓及名ノ選定ニ付漸次内地式ニ準フヤウ指導スルコト

四 本島人ト婚姻シタル生蕃人女ハ夫姓ヲ冠スベキヤ
答 命名者ノ任意トスルコト但シ成ルヘク一定ノ姓ヲ選ヒ且ツ其ノ姓及名ノ選定ニ付漸次内地式ニ準フヤウ指導スルコト

〔花蓮警〕
本島ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出ニ關スル件
大正九年三月 花警戸第一九四三號警務課長依命通達

● 本島ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出ニ關スル件

大正九年三月 花警戸第一九四三號警務課長依命通達

首題ニ關シ別紙ノ通り長官代理通達及法務部長通達ノ次第モ有之候條右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス

追テ管内居住内地人ニハ相當ノ方法ヲ以テ周知セシメラルヘシ
(別紙) 本島ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出ニ關スル件

大正九年二月 總法第二三號長官代理ヨリ廳長宛

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通拓殖局長官ヨリ通譯有之候ニ付本島ニ居住スル内地人ニシテ戸籍法上ノ届書ヲ届出人ノ寄留地ノ廳又ハ支廳ニ差出シタルモノアルトキハ便宜受理シ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ送付可相成

右依命通達ス

(別紙) 戸籍上ノ届出ニ關スル件

大正九年一月 拓第五九五二號拓殖局長官通譯

首題ノ件ニ關シ今般別紙寫ノ通譯候趣司法省ヨリ通知有之候ニ就テハ貴管下ニ對スル通達方可然御取計相成度

答 生蕃人女カ夫タル本島人ノ戸ニ入りタル場合ハ夫姓ヲ冠シ、夫タル本島人ガ妻タル生蕃人ノ戸ニ入りタル場合ニ於テハ之ヲ冠セサルコト

五 生蕃人行政地居住者ト養子縁組シタルトキハ養親ノ姓ニ改ムベキヤ
答 内地人及本島人ノ養子トナリタルトキハ養親ノ姓ニ改ムルコト

六 行政地居住蕃人女ハ氏字ヲ附スベキヤ
答 本島人ノ戸ニ入りタル場合ニ限リ氏字ヲ冠スルコト

七 從來ノ分ハ整理ヲ要スルヤ整理スルトセハ姓名生年月日ニ付テハ認可ノ手續ヲ、其ノ他ニアリテハ届出等爲サシムヘキヤ、又其ノ儘トナシ置キ差支ナキヤ、尙今後届出ノ際親ニ姓ノ登錄ナキモノニ姓ヲ附シ届出ルガ如キ場合ハ其ノ儘受理シ差支ナキヤ
答

イ、夫姓ヲ冠シ又ハ養親ノ姓ニ改ムル點ニ付テハ從來ノ分ヲ今直ニ整理ニ及ハズ將來戸口調査簿改寫ノ機會ニ於テ別段訂正等ノ届出ヲ徵セスシテ整理スルコト

ロ、姓名ノ變更及生年月日ノ訂正ニ付テハ認可ヲ受ケシムルコト

ハ、親ニ姓ノ登錄ナキモノニ姓ヲ附シ届出テタル場合ハ姓創設ノ理由ヲ調査シ且將來永ク之ヲ以テ一家ノ姓ト爲ス意思確實ナリト認メラル、モノニ付テハ之ヲ受理スルコト

此段及通牒候也

(別紙)

朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戶籍法ニ依ル届出ニ關スル件

大正九年一月 司法省民事局民事第五四八號司法省民事局長通牒

朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戶籍法ニ依ル届出ニ付テハ左ノ取扱ハルヘシ

一 朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戶籍法ニ依ル届出ヲ該地ノ警察官署ニ於テ便宜受理シ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ送付シタルトキハ其ノ届書ヲ受理スベシ

二 前號ノ場合ニ於テ届書ガ届出期間ヲ經過シタル後ニ市町村役場ニ到達シタルトキト雖警察官署ガ届出期間内ニ届出ヲ受附ケタルモノナルトキハ戶籍法施行細則第四十二條ノ通知ヲ爲スニ及ハス

右及通牒候也

法務部長通牒 (大正九年二月法第二四九號ノ二)

本島ニ居住スル内地人ノ戶籍法ニ依ル届出ニ關スル件本月二十六日總務長官ヨリ依命通達相成候處本件ハ在臺内地人ノ頗ル利便トスルコロナルヲ以テ相當ノ方法ニテ管内内地人ニ周知セシメラレ度尙届書ヲ差出シタル者アルトキハ一應之ヲ調査シ欠缺、誤謬等ノ顯著ナルモノニ付テハ届出人ニ訂正セシメタル上受附年月日ヲ記載シ本籍地ノ市町村長ニ送付相成度

右經何ノ上通牒ス

● 戶口事務上支那國ノ名稱ニ關スル件

昭和五年一月 花營保第四四六三號警務課長依命通牒

首題ニ關シ別記ノ通總務長官ヨリ通牒有之候條右ニ依リ御取扱相成度

右依命通牒ス

(別記)

戶口事務上支那國ノ名稱ニ關スル件

昭和五年一月 總務第五五二號總務長官依命通牒

今般支那國ニ對シテハ中華民國ノ名稱ヲ用フルコトニ決定(十一月十二日付官文第一三〇二號通牒參照)相成候ニ付テハ戶口調査簿、同簿ニ登錄スル場合ハ總テ中華民國ノ名稱ヲ用ヒ、中華民國人ノ種族欄ハ「中」ト記載スルコトニ取扱相成度

右依命通牒ス

追テ既登錄ノ分ノ本國住所欄及種族欄ハ適宜ノ機會ニ漸次訂正相成度申添候

● 人口動態報告ニ關スル件

大正一二年一月 花營保第四四一〇號警務課長依命通達

調査上必要ニ付大正三年二月十四日訓令第五號戶口事務取扱手續第八十七條ニ依ル人口動態報告様式ハ不日別紙ノ通り改正ノ管ニ有之候條大正十三年一月分ヨリ右ニ依リ調査報告可相成

右依命通牒ス

別紙 (用紙美濃紙)

[花營警]

備考	計	種族	人口動態						支廳 (派出所、駐在所)					
			出生	死亡	結婚	離婚	轉入	轉出	入	出	入	出		
			戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口
		内地人												
		福建人												
		廣東人												
		其ノ他ノ漢人												
		熟蕃人												
		生蕃人												
		朝鮮人												
		支那人												
		其ノ他ノ外國人												

記載例

- 一 本表ハ戶口調査簿ニ依リ記載スヘシ
- 二 生番人ノ戶數ハ戶内全部生番人ナルモノヲ記載スヘシ
- 三 分戶及一戶創立等ニ由ル戶數ハ全部區外轉入欄ニ記載シ備考欄ニ説明スヘシ
- 四 廢絕戶ニ由ル戶數、失踪行衛不明ノ爲除戶シタル戶數人口ハ區外轉出欄ニ記載シ備考欄ニ説明スヘシ
- 五 婚姻離婚ハ婚戶ノ所轄派出所駐在所ニ於テ記載スヘシ
但シ婚姻離婚ニ由ル轉出入ハ其ノ關係派出所ノ駐在所ニ於テ記載スヘシ
- 六 一時滞在中ノ生番、死産、死亡ハ各關左方ニ朱書別記スベシ

●人口動態小票ニ記入スル數字ニ關スル件

大正一四年一月 花警保第四三三二號ノ二警務課長依命通牒

本件ニ關シ別記申號ノ通照會ニ對シ乙號ノ通照會有之候條御了承相成度

右依命通牒ス

別記

甲號 人口動態小票ニ記入スル數字ニ關スル件

大正一四年一月 花警保第四三三二號廳長照會

本件ニ關シテハ人口動態小票取扱順序第六條ヲ以テ日本數字ニ依リ記入スルコトニ規定セラル、處ナルモ他州廳中ニハ亞刺比亞數字ヲ用ヒラル、向モアルヤニ聞及候處右兩者ニ依リ取扱ヲ比較スルニ小票様式ノ關係上記入ノ遲速甚シク懸隔有之亞刺比亞數字ニ依ルハ事務進捗上至極利便ト思料セラレ候就テハ右ニ依リ處理致度尙本件差支無之候ハ

〔花警〕

第四章 保甲

●保甲條例施行細則

大正九年三月 廳令第三號

- 第一條 保甲ヲ編成セントスルトキハ區域内居住ノ家長通箸ヲ以テ左ノ事項ヲ具シ規約ヲ添へ廳長ニ願出テ認可ヲ受クヘシ
 - 一 保甲ノ名稱
 - 二 保甲ノ區域
 - 三 區域内ノ街庄別並戶數、人口
 - 四 區域内ノ地圖
- 第二條 保甲ハ地方ノ習慣、土地ノ狀況、種族ノ關係等ヲ參酌シ凡ソ左ノ例ニ依リ編成スヘシ
 - 一 保甲ノ名稱ハ左ノ例ニ依ル
 - 二 保甲ノ一方ヨリ順次最寄ノ家屋ヲ以テ編成ス
 - 三 保甲ノ名稱ハ左ノ例ニ依ル
 - 四 花港港灣何支應何(所轄派出所名又ハ支應ノ直轄ハ所在地名)第一保第一甲
 - 五 左ニ掲タル者ハ保正、甲長タルコトヲ得ス
 - 六 二十歳未満ノ者

第三編 保安 第四章 保甲

御通牒規定ノ改正ヲ希望ス()ヲ俟ツテ實施致度候條何分ノ御回報相成度 右照會ス 乙號 人口動態小票記入ニ關スル件

大正一四年一月 調第一三三六號調査課長心得回答

本年十一月二十日付花保第四三三三號ヲ以テ御照會ノ小票ニ記入スル數字態ハ御申出ノ通りアラビヤ數字ヲ以テ記入シ差支無之尙取扱順序當該條項ハ追テ改正ノ管ニ付御了知相成度 右回答ス

〔花警〕

- 二 保甲内居住ノ家長ニアラサル者
- 三 禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル者
- 第六條 保正、甲長ハ各保甲内家長中ヨリ選舉ス
- 第七條 保正、甲長選舉ノ期日並場所ハ豫メ受持警察官吏ヲ經テ支應ニ願出ツヘシ
- 第八條 保甲役員ニシテ不適當ト認ムルトキ又ハ必要アル場合ハ改選ヲ命スルコトアルヘシ
- 第九條 保正及甲長ノ任期ハ二箇年トシ滿期再選スルコトヲ得但シ任期中退職又ハ死亡者アリタルトキハ後任者ハ前任者ノ任期間在職スルモノトス
- 第十條 保甲規約ニ規定スヘキ事項概ネ左ノ如シ
 - 一 保甲ノ名稱及區域
 - 二 戶口調査ニ關スルコト
 - 三 出入者取締ニ關スルコト
 - 四 風水火災及ヒ土匪強盜ニ對スル警政搜查ニ關スルコト
 - 五 道路、橋梁ノ小破修繕及掃除ニ關スルコト
 - 六 傳染病豫防ニ關スルコト
 - 七 阿片弊害矯正ニ關スルコト
 - 八 害蟲豫防ニ關スルコト
 - 九 獸疫豫防ニ關スルコト
 - 一〇 保甲會議ニ關スルコト
 - 一一 過慮處分ニ關スルコト
 - 一二 保甲内ノ褒賞救恤ニ關スルコト

- 一三 經費ノ收支及豫算、決算並賦課徴收ニ關スルコト
- 一四 保甲役員選舉ニ關スルコト
- 一五 前各號ノ外地方ノ安寧保持上必要ノコト
- 第十一條 保正ノ職務概ネ左ノ如シ
 - 一 甲長ノ職務ヲ監督スルコト
 - 二 保内ノ住民ヲ警戒シ非行ヲ爲サシメサルコト
 - 三 犯罪人ノ捜査及逮捕ニ付警察官吏ヲ補助スルコト
 - 四 規約違反者ヲ處分スルコト
 - 五 規約上ノ懲賞、救恤ニ關スルコト
 - 六 過怠金ノ徴收及處分ニ關スルコト
 - 七 經費ノ收支豫算決算、及賦課徴收ニ關スルコト
 - 八 區長ノ職務ヲ補助スルコト
 - 九 臺灣土地測量標ニ關スルコト
- 第十二條 甲長ノ職務概ネ左ノ如シ
 - 一 保正ノ職務ヲ補助スルコト
 - 二 甲内ノ戸口ヲ調査シ其ノ出入ヲ取締ルコト
 - 三 犯罪人ノ捜査及逮捕ニ付警察官吏並保正ヲ補助スルコト
 - 四 甲内ノ住民ヲ警戒シ非行ヲ爲サシメサルコト
 - 五 區長ノ職務ヲ補助スルコト
- 第十三條 保甲内各戸ノ家長ハ保甲規約ニ加盟スヘシ
他所ヨリ轉入シ又ハ新ニ家長トナリタル者ハ現行ノ規約ニ從フヘキコトヲ誓約スヘシ
- 第十四條 保甲民ハ鐵道事故、電信、電話ノ故障、變死傷者、行旅病死

〔花蓮營〕

- 者アルコトヲ知リタルトキハ直ニ保正甲長又ハ警察官吏ニ届出ツヘシ
- 保正、甲長前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ警察官吏ニ報告スヘシ
- 第十五條 保正及甲長ハ戸口上ノ異動ヲ認知シ若ハ保甲内住民ヨリ届出ヲ受ケタルトキハ速ニ甲長ハ保正ニ保正ハ警察官吏ニ報告スヘシ
犯罪人又ハ舉動不審ノ者若ハ傳染病患者ト思料スルモノアルヲ認知シタルトキ亦同シ
- 第十六條 各戸ノ家長ハ左ノ事項ニ付直ニ甲長ニ報告スヘシ
 - 一 犯罪人又ハ舉動不審ノ者入込ミタルヲ知リタルトキ
 - 二 他所ノ者ヲ宿泊セシメ又ハ自家ノ者一泊以上旅行スルトキ及ヒ宿泊人出發シ又ハ旅行ノ者歸來シタルトキ
 - 三 出產、死亡其ノ他戸口上ノ異動ヲ生シタルトキ
- 第十七條 數保ニ關係シタル事項ヲ議決スル必要アルトキハ關係各保正ヲ會員トスル聯合會ヲ組織スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ會長ヲ互選シ廳長ノ認可ヲ受ケヘシ
會長ハ保正ノ任期ヲ以テ其ノ任期トス
- 第十八條 前條ノ保甲聯合會ヲ組織セントスルトキハ會則ヲ定メ關係保正連署ノ上廳ニ願出テ認可ヲ受ケヘシ保甲聯合會開會ノ際ハ三日以前ニ其ノ閉會ノ際ハ直ニ支廳ニ届出ツヘシ
- 第十九條 保正、甲長、保甲聯合會長ノ選舉及保甲會議又ハ保甲聯合會ニハ警察官吏ヲ立會セシムルコトアルヘシ
- 第二十條 壯丁團ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ廳ニ願出テ認

〔花蓮營〕

- 可ヲ受ケヘシ
- 一 受持區域内ノ街庄名
- 二 團長以下壯丁人員
- 三 勤務方法
- 四 (削除)
- 五 經費ノ收入、支出方法
- 前項ノ認可アリタルトキハ保正ハ壯丁ヲ選定スヘシ
設置後ニ於ケル壯丁ノ選定ハ壯丁團長之ヲ爲スヘシ
- 第二十一條 壯丁團ハ一保毎ニ編成スルヲ通例トス若ニ二保以上聯合シテ編成セントスルトキハ別ニ經費ノ支出及賦課徴收ニ關スル規約ヲ定メ關係保正連署ヲ以テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第二十二條 壯丁團ハ區域内ノ居住民中十七歳以上四十歳未満ノ男子ニシテ身體強壯、品行善良ナル者ニ限ル
- 第二十三條 壯丁團ハ匪徒、強盜ノ侵害又ハ火災、風水害等アルトキハ警察官吏及團長ノ指揮ニ從ヒ速ニ警戒ニ從事スヘシ
- 第二十四條 壯丁團ハ區域外ニ事變アリタルコトヲ認知シ又ハ其ノ報知ヲ受ケタルトキハ受持區域内ヲ警戒スルト同時ニ警察官吏ノ指揮ニ依リ互ニ應援スヘシ
- 第二十五條 壯丁團ニハ壯丁團員名簿及器具帳簿ヲ備付ケ團長之ヲ保管整理スヘシ
- 第二十六條 壯丁團員勤務ニ服スル場合ハ別記制式ノ服裝ヲナスヘシ
- 第二十七條 警察官吏ハ定期又ハ臨時ニ壯丁團ヲ召集シ點檢ヲ行フコトアルヘシ

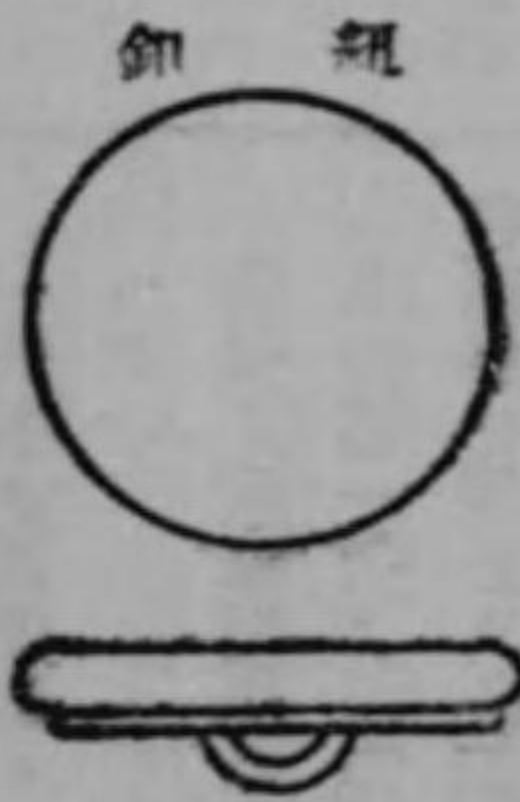
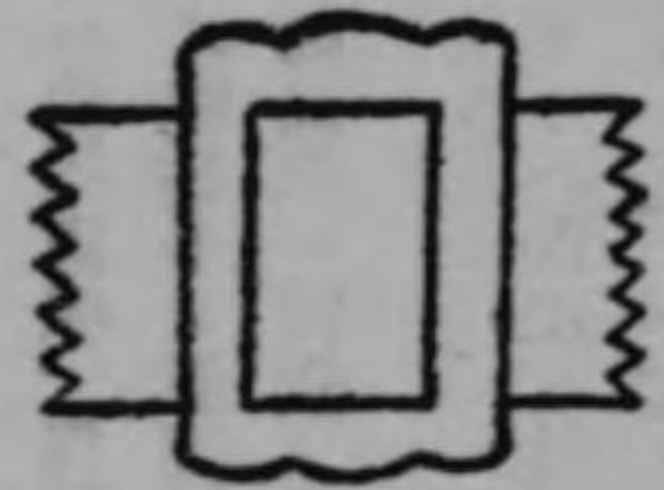
- 第二十八條 保甲役員及壯丁團員ハ無報酬トス若報酬ヲ必要トスルトキハ廳長ノ認可ヲ受ケヘシ
 - 第二十九條 甲内住民中六年以上ノ應役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルモノアルトキハ甲内各家長ヲ科料ニ處ス
前項ノ場合ニ於テ發覺ニ先チ犯罪人ヲ官ニ連行シ又ハ申告シテ檢舉ヲ容勿ナラシメタル時ハ各各其ノ罪ヲ免ス
 - 第三十條 左ニ記載スル各號ノ一ニ該當スルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス
 - 一 第十三條第一項ノ保甲規約ニ加盟ヲ拒ミ又ハ同條第二項ノ誓約ヲ背セサルモノ
 - 二 過怠金及保甲壯丁團ニ要スル經費ノ賦課ヲ受ケ故ナク徴收ヲ拒ミ又ハ滞納スルモノ
 - 三 第十五條及第十六條ニ違背シタルモノ
 - 四 保甲役員又ハ壯丁團員ニ當選シ正當ノ事由ナク當選ヲ拒ミタルモノ
 - 第三十一條 壯丁團員ニシテ事變ニ際シ出場ヲ拒ミタルモノハ科料ニ處ス
- 附則
- 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正二年甲花蓮港廳令第十二號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
從來ノ保甲及壯丁團ハ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
保甲條例施行細則取扱手續、保甲規約標準、保甲聯合會會則標準及聯合會保甲壯丁團經費ニ關スル規約標準ハ別ニ之ヲ頒ツ



面後衣

面前衣

美鉤



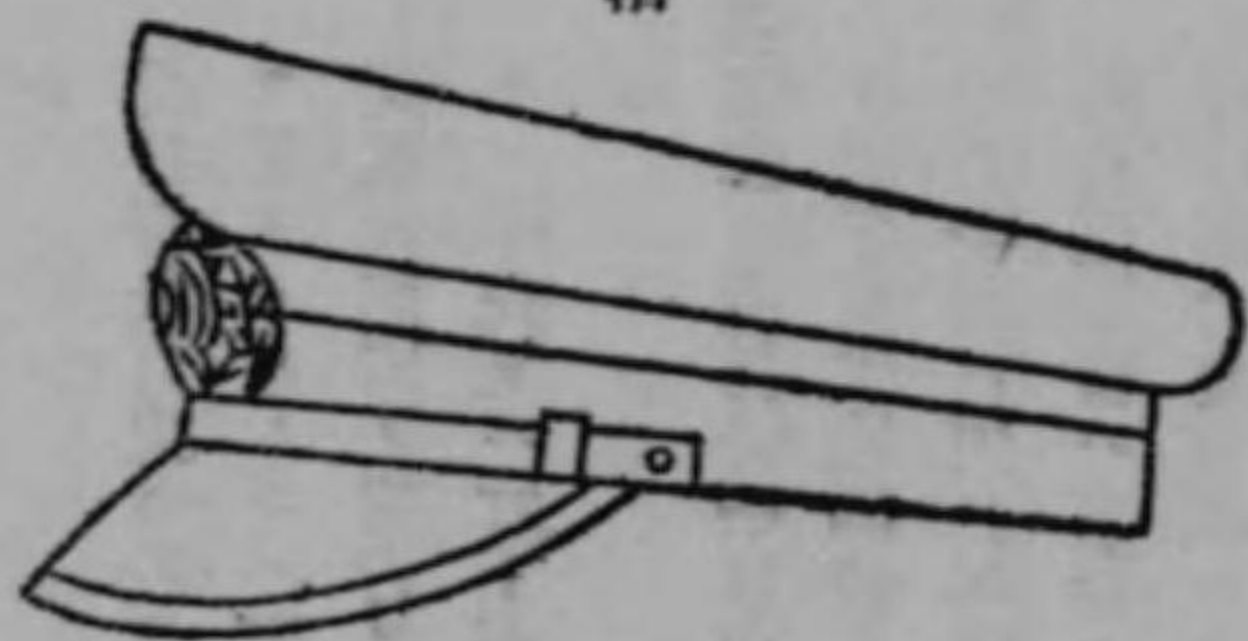
鈕 鈕



物入鈕



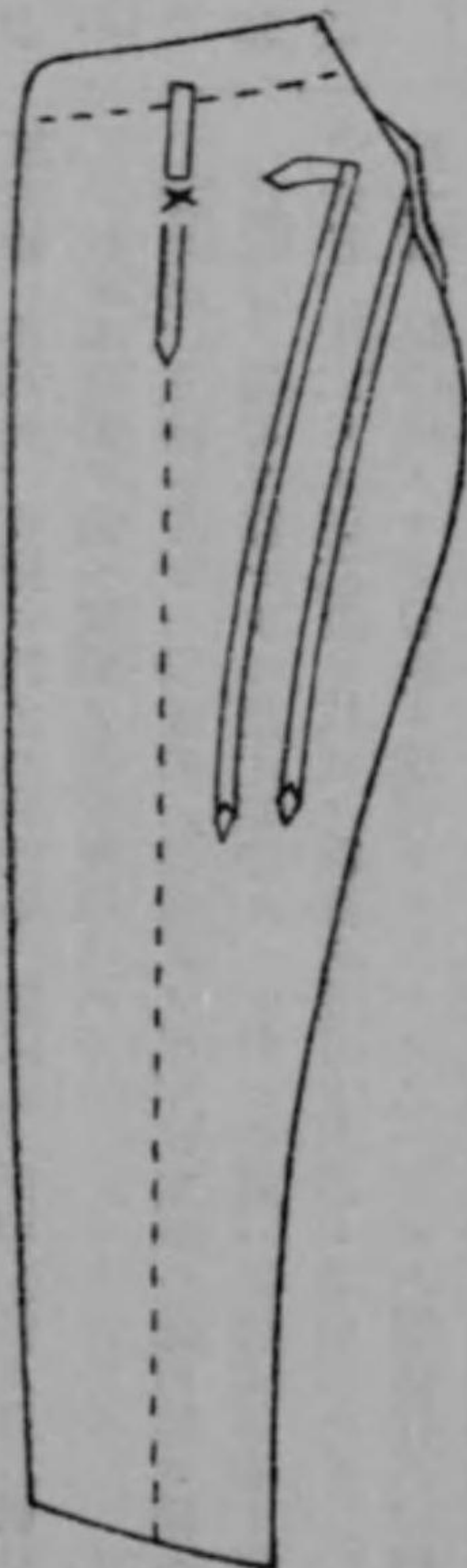
頓紐止鈕



帽



章 徽



袴

〔花蓮管〕

考 備	履 物	脚 袴	袴		衣		帽		區 別	
			製地式質	紐 釦	製地式質	徽 章	製地式質	徽 章		
一、帽八月投、林投帽又ハ原色大甲帽黒顔巻ニ徽章ヲ附シ用フルコトヲ得但シ一團齊一ナルヲ要ス 二、「ワイシャツ」ネクタイ「ハ白色W襟ニ黒色無地ノモノニ限リ用フルコトヲ得但シ一團齊一ナルヲ要ス 三、袴ハ半袴ト爲スコトヲ得但シ著裝ノ場合ハ裾口ヲ「ゲートル」又ハ脚絆ニテ縫フモノトス 四、脚絆及履物ハ一團齊一ナルヲ要ス	黒色ゴム底足袋又ハ黒革靴	帶青茶褐色巻ゲートル又ハ紺脚絆	帶青茶褐色綿布見返シニ四個ノ同色角釦ヲ附シ美鉤紐ハ幅三、〇釦長サ適宜トシテ「バンド」ニ代用ス	紐釦ハ徑一、八釦、物入蓋紐釦ハ徑一、五釦金色トス	帶青茶褐色綿布折襟三ツ釦「バンド」附左右ニ各一個ノ物入ヲ附シ袖口ヨリ九、〇釦ヲ隔テ表半面ニ〇、五釦赤色蛇腹線一條ヲ縫フ但シ「バンド」ハ幅四、〇釦同色刺子「ニツケル」美鉤止メトス 左方折襟ノ部ニ幅一、〇釦赤色線三條ヲ間隔〇、五釦ニ於テ附ス	帶青茶褐色綿布折襟三ツ釦「バンド」附左右ニ各一個ノ物入ヲ附シ袖口ヨリ九、〇釦ヲ隔テ表半面ニ〇、五釦赤色蛇腹線一條ヲ縫フ但シ「バンド」ハ幅四、〇釦同色刺子「ニツケル」美鉤止メトス 左方折襟ノ部ニ幅一、〇釦赤色線三條ヲ間隔〇、五釦ニ於テ附ス	縱四、五釦横五、三釦中央ニ徑二、〇釦ノ圓型内ニ「ホ」字其ノ上部ニ「台」ヲ表ハシ櫻葉花ニテ包擁シ金色刺繡又ハ眞鍮打抜	帶青茶褐色絨獨逸型、黒革製前庇及腰紐ヲ附シ〇、五釦赤色蛇腹線一條ヲ縫フ但シ腰紐ハ兩端ヲ徑一、〇釦圓型「台」ヲ四字ニテ表シタル金色釦ニテ止ム	壯丁團服制	
	同	同	同	同	同	同	同	同	副團長	
	上	上	上	上	上	他方折襟ニ附ス赤線二條トス 他ハ同上	上	上	上	壯丁
	同	同	同	同	同	他方折襟ニ付ス赤線一條トス 他ハ同上	眞鍮打 上抜	上	上	丁
	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	團型	

〔花蓮管〕

●保甲條例施行細則取扱手續

大正九年四月
廳訓令第五號

改正 大正一四年訓令第一四號

第一條 保甲編成願、保甲規約認可願變更願ハ各家長聯合保甲壯丁團設置願、聯合保甲壯丁團經費ニ關スル規約認可願及變更願ハ關係保正ノ署名捺印シタル規約副本ヲ添ヘ保甲聯合會組織願、保甲聯合會則認可願及變更願ハ關係保正、保甲區域變更願ハ關係保正、甲長署名捺印ノ上保正ヨリ其ノ手續ヲナサシムヘシ

保甲編成願、保甲聯合會組織願、壯丁團設置願又ハ保甲區域、保甲規約、保甲聯合會則、聯合保甲壯丁團經費ニ關スル規約等ノ認可願若ハ變更願ヲ受理シタルトキハ關係法規又ハ規約會則標準ニ牴觸ノ有無ヲ調査シ意見ヲ附シ進達スヘシ

第二條 保正、保甲聯合會長ノ認可願ヲ受理シタルトキハ保正ニ就テハ細則第五條ニ牴觸ノ有無及適否ノ意見保甲聯合會長ニ就テハ其ノ適否ノ意見ヲ附シ進達スヘシ

甲長又ハ壯丁團長、壯丁副團長ノ認可願ヲ受理シタルトキハ甲長ニ就テハ細則第五條ニ牴觸ノ有無及適否壯丁團長又ハ壯丁副團長ニ就テハ其ノ適否ヲ調査シ認可ノ上報告スヘシ

壯丁ノ異動アリタルトキハ受持警察官吏ハ其ノ選出保甲名、氏名、年齢ヲ調査シ報告スヘシ創設ノ壯丁團ニ於テ壯丁ヲ選定シタルトキ亦同シ

第三條 受持警察官吏細則第七條ノ届出ヲ受ケタルトキハ支廳ニ報告シ

〔花蓮警〕

一面必ス選舉場ニ立會シテ其ノ取給ヲ爲シ選舉ノ結果並狀況ヲ報告スヘシ

前項ノ選舉用紙ハ別記第二十七號様式ニ據ラシムヘシ

本條第一項ノ規定ハ保甲聯合會役員ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第四條 保正ヲ改選スル必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具申スヘシ

受持警察官吏ニ於テ甲長又ハ壯丁團長、壯丁副團長ヲ改選スルノ必要ヲ認メタルトキハ事由ヲ具シ報告スヘシ

支廳長前項ノ報告ヲ受ケ至當ト認メタルトキ其ノ他必要ト認メタルトキハ甲長又ハ壯丁團長、壯丁副團長ノ改選ヲナサシメタル上報告スヘシ

第五條 受持警察官吏ハ毎月一回以上保甲役員及壯丁團員ヲ召集シ必要ノ訓示及點檢訓練ヲ爲スヘシ

受持警察官吏ハ保甲聯合會議ニ立會シ必要ナル訓示ヲ爲スヘシ

監視區監督ハ事務ニ支障無キ限リ前二項ノ保甲役員及壯丁團ノ召集及保甲聯合會議ニ立會シ必要ナル訓示ヲ爲スヘシ

第六條 警務課、支廳ニ於テハ別記第一號様式ノ保甲名帳及第二號様式ノ壯丁團名帳ヲ備ヘ異動ノ都度整理スヘシ

警務課、支廳ニ於テハ別記第三號様式ノ保甲過意處分認可簿ヲ備ヘ過意處分ノ認可ヲ爲シタル都度整理スヘシ但シ支廳ハ同様式ニ依リ毎年六月、十二月ニ過意金ノ收支ヲ調査シ翌月十日迄ニ報告スヘシ

第七條 保甲民ニシテ規約ニ違背シタルモノアルトキハ關係保正、甲長ヲシテ責任者ヨリ始末書ヲ徴セシメ別記第四號様式ノ決議書添付ノ上

〔花蓮警〕

一三 府報載

一四 廳報載

一五 簿目録(別記第二十一號様式)

一六 出席簿(別記第二十六號様式)

第十條 保甲民ノ標札ハ戶口規則第四條ニ據ルノ外別ニ掲クルヲ要セス

第十一條 保正並壯丁團長ニハ別記第二十二號様式ノ標札ヲ掲出セシムヘシ

第十二條 保甲役員ノ職印及門札ハ別記第二十三號様式ニ依リ調製シ退職、死亡ノトキハ後任者ニ引繼カシムヘシ

第十三條 保甲役員其ノ職務ニ違背シタルトキハ始末書ヲ徴シ意見ヲ附シ進達スヘシ

第十四條 支廳長保甲條例施行規則第十條ニ依リ經費ノ收支豫算ヲ認可シ又ハ決算報告ヲ受ケタルトキハ其ノ豫算又ハ決算ノ寫ヲ添ヘ報告スヘシ

第十五條 支廳長ハ毎年一回以上所轄内保甲及壯丁團ヲ檢閲シ其ノ狀況ヲ報告スヘシ

第十六條 壯丁團員ニハ職務ニ從事スル場合ヲ除クノ外制規ノ服裝ヲ爲シ又ハ武裝ヲ携帯セシムヘカラス

第十七條 壯丁團事務所ニハ左ノ簿冊ヲ備ヘ壯丁團長ヲシテ整理セシムヘシ

一 壯丁團員名簿(別記第二號様式)

二 備品名帳(別記第十九號様式)

三 削除

三 削除

第五號様式ノ保甲規約違犯者過意處分認可願ヲ提出セシムヘシ

受持警察官吏前項ノ認可願ヲ受理シタルトキハ責任者ノ性行、經歷、資産及當否ヲ調査シ副申スヘシ

保甲ニ於テ過意金ヲ支出セントスルトキハ事由ヲ具シタル認可願ヲ提出セシメ當否ヲ調査シ意見ヲ具シ進達スヘシ

第八條 細則第一條ノ保甲編成願ハ別記第六號様式、保甲聯合會組織願ハ第七號様式、壯丁團設置願並聯合保甲壯丁團設置願ハ第八號様式、保甲區域變更願ハ第九號様式、保甲條例施行規則第十條ノ保甲經費收支豫算認可願ハ第十號様式、保甲經費收支決算報告ハ第十一號様式ニ依ラシムヘシ

第九條 保甲ニハ左ノ簿冊ヲ備ヘ保正ヲシテ整理セシムヘシ
一 保甲役員名簿(別記第一號様式)
二 保甲過意金收支簿(別記第十二號様式)
三 保甲戶口簿(別記第十三號様式)
四 保甲經費賦課徵收簿(別記第十四號様式)
五 保甲經費收支明細簿(別記第十五號様式)
六 徵收告知原符(告知書原符別記第十六號様式ニ依ル)
七 來泊者名簿(別記第十七號様式)口座ヲ設ケ合級スルヲ得
八 他行者名簿(別記第十八號様式)口座ヲ設ケ合級スルヲ得
九 保甲備品名帳(別記第十九號様式)
一〇 保甲規約加盟簿(別記第二十號様式)
一一 保甲書類綴
一二 日誌

四 出務簿(別記第二十六號様式ノ乙)

第十八條 各保甲ノ境界ニハ別記第二十五號様式ノ標木ヲ道路ニ沿ヒ建設セシムヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年十一月二十一日花蓮港廳訓令第三十二號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號様式(用紙美濃) 保甲臺帳

保名	保甲數	認可年月日
區域		
摘要		
保	月	日
正	月	日
甲	月	日
長	月	日
出認	年	月
甲名	年	月
戶數	年	月
年	月	日
月	日	住
日	住	所
住	所	職
所	氏	名
氏	名	生
名	生	年
生	年	月
年	月	日
月	日	事
日	事	由
事	由	
由		

(花蓮營)

記載例

- 一 摘要欄ニハ保甲ノ編成區域變更等沿革トナルヘキ事項ヲ記入スヘシ
- 一 認可年月日欄ハ最初ノ當選認可年月日ヲ記入スルコト
- 一 再選ノ場合ハ改寫セス年月日再選ト事由欄ニ記入スルコト
- 一 罷免シタル場合ハ朱ノ斜線ニテ氏名ヲ抹消シ事由欄ニ年月日罷免事由ヲ朱記スヘシ

第二號様式ノ甲號(用紙美濃) 壯丁團臺帳

團名	認可年月日	團長數	副團長數	壯丁數
考備				
保	月	日		
長	月	日		
副	月	日		
長	月	日		
出認	年	月		
甲名	年	月		
年	月	日		
月	日	住		
日	住	所		
住	所	職		
所	氏	名		
氏	名	生		
名	生	年		
生	年	月		
年	月	日		
月	日	事		
日	事	由		
事	由			
由				

同號様式ノ乙號

選出甲數	選定年月日	氏	名	年	齡	摘	要
壯							
丁							

(花蓮營)

記載例

警務課ニアリテハ同様式甲號ノミヲ用ユルモノトス
罷免シタル壯丁團員ハ朱ノ斜線ニテ氏名ヲ抹消シ摘要欄ニ年月日罷免事由ヲ朱書スヘシ

第三號様式(用紙美濃紙)

保甲過意處分認可簿					
認可年月日	過意金額	支出金額	現在額	摘要	被處分者
年	月	日			保甲住所氏名
月	日				

第三編 保安 第四章 保甲

記載例

- 一 支應ニアリテハ應ヨリ認可ノ指令アリタルトキモ亦本簿ニ記入スヘシ
- 一 本簿ハ各保毎ニ口座ヲ設クヘシ
- 一 摘要欄ニハ過意事由又ハ支出要領過意金利子受入年月日事由ヲ記入スヘシ
- 一 過意金利子ハ過意金額欄ニ朱書スルコト

第四號様式(用紙美濃紙)

決議書

- 一 責任者住所、職業、氏名
- 二 規約違反事實

右何某ノ行爲ハ規約第何條第何項第何號ニ違背スルモノト認メ………
(右何某ノ行爲ハ規約第何條ニ違背スルモノニシテ家長ハ其ノ責ニ任スヘキモノト認メ)………(右ノ事實ハ規約第何條ニ違背スルモノニシテ甲内(保内)各家長其ノ責ニ任スヘキモノト認メ)………過意金何圓(各過意金何圓)ニ處ス

右決議ス

年月日

何々保正 何
第何甲長 何
以下之ニ做フ
某團
某團

第五號様式 (用紙半紙)

保甲規約違反者過怠處分認可願

所屬保甲名	花蓮港廳 第 保 第 甲
違反者住所	花蓮港廳 氏 街庄 名 番 月 日 生
責任者住所	花蓮港廳 氏 街庄 名 番 月 日 生
違反年月日	年 月 日
違反場所	年 月 日
違反事實	
規約法條	規約第 條第 項第 號
決議年月日	年 月 日
過怠金額	圓

右御認可相成度候也

年月日

第 保々正 何
第 甲長 何
某團
某團

廳長宛

〔花蓮營〕

記載例

- 一 違反者數名アルトキハ列記スヘシ(別紙ヲ附スルモ妨ナシ)
- 二 甲内各家長又ハ保内各家長ヲ處分スルトキハ責任者住所、氏名關ニ其ノ責任甲又ハ保ヲ記載シ保又ハ甲ノ下ニ「各家長」ト記入スヘシ

第六號様式 (用紙半紙)

保甲編成願

- 一 保甲ノ名稱 何々……………
- 二 保甲ノ區域 何々……………
- 三 區域内ノ街庄別並戸數人口 何々……………

右ノ通り保甲編成致度候條御認可相成度區域内各家長連署ノ上此段奉願候也

年月日

花蓮港廳何郷何街何庄何番戸

家長 何

某團

以下做之

廳長宛

注意

- 一 本願書ニハ區域内ノ概況ヲ記載シタル圖面及規約副本ヲ添付スヘシ

〔花蓮營〕

右決議ス

年月日

何々保正 何
第何甲長 何
以下之ニ做フ
某團
某團

第七號様式 (用紙半紙)

保甲聯合會組織願

聯合會ノ名稱	何々保甲聯合會
聯合スヘキ保名並各保ノ甲數	花蓮港廳直轄(支廳)第何保何甲ヨリ何甲ニ至ル何甲、第何保何甲ヨリ何甲ニ至ル何甲
聯合會組織ヲ必要トスル事由	何々……………

右御認可相成度候也

年月日

第 保々正 何
第 甲長 何
某團
某團

廳長宛

〔花蓮營〕

〔花蓮營〕

要ス其ノ他前記第六號様式注意二、三ニ注意スヘシ

第八號様式 (用紙半紙)

保甲聯合會組織願

- 一 受持區域内街庄名(聯合保甲壯丁團ニアリテハ關係保名) 花蓮港一團及軍威庄一團(花蓮港廳何々第一保第二保第三保第四保)
- 二 團長以下壯丁人員 團長一名副團長何名壯丁何名
- 三 勤務方法 何々……………
- 四 經費收入支出方法 何々……………
- 五 經費ハ保甲經常費ニ計上シテ徵收シ尙足ラサルトキハ過怠金ヨリ支出ス

右ノ通り保甲聯合會組織致度候條御認可相成度別紙保甲聯合會會則相添ヘ此段奉願候也

年月日

花蓮港廳何郷何街何庄何番戸

家長 何

某團

以下做之

廳長宛

注意

- 一 本願書ニハ區域内ノ概況ヲ記載シタル圖面及規約副本ヲ添付スヘシ

廳長宛

注意

本願書ニハ必ス關係各保正ノ連署捺印シタル會則副本ヲ添付スルヲ

第三編 保安 第四章 保甲

第三編 保安 第四章 保甲

廳長 宛

注意

聯合保甲壯丁團ニアリテハ關係各保正ノ連署捺印セル經費ニ關スル規約請本ヲ添付スルヲ要ス

第九號様式 (用紙半紙野紙)

保甲區域變更願

一 從前ノ區域

何々……………

二 變更スヘキ區域

何々……………

三 變更ノ事由

何々……………

右ノ通り區域變更致度候條御認可相成度此段奉願候也

年月日

第十號様式ノ二 (用紙半紙野紙)

一金壹百拾圓六拾錢

內譯

事項	費	豫算額	目	豫算額	備考
事務費	七・八〇〇		帳簿用紙	三・二五〇	
			半紙野紙筆墨	四・五五〇	

〔花蓮營〕

五五四

何々第何保

保正 何

第何甲長 何

以下做之

第十號様式ノ一 (用紙半紙野紙)

保甲經費豫算認可願

保甲規約第三十九條ニ據ル大正何年度保甲經費豫算ハ保甲會議ノ決議ヲ經テ別紙ノ通り編成候條御認可相成度此段奉願候也

年月日

花蓮港廳(何々支廳)第何保

保正 何

支廳 長宛

某團

事項	費	豫算額	目	豫算額	備考
壯丁團費	六・〇〇〇		蠟燭及油	四・〇〇〇	
雜費	九・六〇〇		器具修繕及購入費	五・六〇〇	
府報及廳報費	一五・二〇〇		府報費	一一・〇〇〇	
			廳報費	四・二〇〇	
書記給費	七二・〇〇〇		書記給	七二・〇〇〇	
計	一一〇・六〇〇			一一〇・六〇〇	

〔花蓮營〕

記載例

爾後費目款項目ノ増減變更又ハ費額ノ増減改定アリタル場合ハ其ノ改定ノモノニヨル第十號様式ノ三 (用紙半紙野紙)

保甲經費賦課徵收明細書

等級	資產	產額	人員	一人宛ノ徵收額	計	備考
計						

第三編 保安 第四章 保甲

五五五

但シ無資力ニシテ賦課徵收ヲ免除シタルモノ何名アリ
右之通り相定メ候也
年 月 日

支廳長宛

第十一號様式 (用紙半紙封紙)

大正 年度保甲經費收支決算報告

收入ノ部

一金何圓也

内譯

金何圓 本年度徵收額

金何圓 前年度剩餘金

支出ノ部

一金何圓也

内譯

日	豫算額	支出額	差引殘額
事務費			
壯丁團費			
雜費			
府報及廳報費			

〔花蓮警〕

花蓮港廳(何支廳)第何保
保正 何

某團

書記經費

計 差引殘額ハ翌年度へ繰入ル

右及報告候也

年 月 日

花蓮港廳(何支廳)第何保

保正 何

某

廳長宛

第十二號様式 (用紙半紙)

過怠金收支簿

年月日	收		入		支		出		差引
	徵收金額	過怠事件要領	被處分者姓名	住所	支出金額	用途	差引		

第十三號様式ノ甲 (用紙美濃) 保甲戶口簿

〔花蓮警〕

現職	住	所業	本居地	戶主	父	母
何廳何郷何街何番戶	何廳何郷何街何番戶	何保何甲(何保正)(何保何甲長)	何廳何郷何街何番戶	父何某長男	亡祖父何某長男	何々
				何	何	何
				年 月 日生	年 月 日生	年 月 日生
				某	某	某

第十三號樣式ノ乙 (用紙美濃)

										妻	何々	年 月 日生	某
										何			
										長	何々	年 月 日生	某
										何			
										男	何々	年 月 日生	某
										何			
										婦	何々	年 月 日生	某
										何			

〔花蓮管〕

第十四號樣式 (用紙半紙)

年 月 日 課 等 級	賦 課 金 額	納 入 月 日	負 擔 者 住 所 姓 名	備 考	年 月 日 認 可	經費賦課徵收簿
						年 月 日

第十五號樣式 (用紙半紙)
一 備考欄ニハ徵收不納ノ事由其ノ他參考事項ヲ記入スヘシ

官印	年 月 日	摘要	收入	支出	出 入 差 額	高保 印正

〔花蓮管〕

何甲何某ヨリノ經費	
何々購入費	

第十六號樣式 (用紙適宜) 納入告知書
四寸五分

寸三

原	第 號	大正 年 月 日迄ニ納入ノコト
符	保甲經費 納人	大正 年 月 日告知
	庄街	
	香戶	

契取扱者印

寸四

書 知 告 入 納	第 號	大正 年 月 日迄當事務所ニ納入相成度
	保甲經費 納人	大正 年 月 日
	庄街	
	香戶	

契取扱者印

寸四

書 收 領	第 號	右領收候也
	保甲經費 納人	大正 年 月 日
	庄街	
	香戶	

契取扱者印

第十七號樣式 (用紙美濃)

來泊者名簿

來泊年月日	泊來泊用向	出發年月日	來泊所街庄	來泊者住所姓	名	年	齡
-------	-------	-------	-------	--------	---	---	---

[花蓮營]

第十八號樣式 (用紙美濃)

他行者名簿

他行年月日	他行用向	他行先街庄名	他行者住所姓	名	年	齡
-------	------	--------	--------	---	---	---

第二十號樣式 (用紙半紙對紙)

花蓮港廳(何支廳)何々第 保第 甲

加 盟 年 月 日	姓	名	印	削 除 年 月 日	削 除 事 由
年 年 年 年 年	何 何 何 何 何	某 某 某 某 某	印 摺 印 〇 〇 〇	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日
				何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日
				何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日
				何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日

第十九號樣式 (用紙半紙對紙)

備品彙帳

番 號	品 目	日 數	量	備付年月日	備 考
-----	-----	-----	---	-------	-----

備考欄ニハ亡失、毀損其ノ他ノ事由並年月日ヲ記入スヘシ

年	年	年	年
月	月	月	月
日	日	日	日
何	何	何	何
某	某	某	某
○	○	□	摺印
年	年	年	年
月	月	月	月
日	日	日	日

- 一 本簿ハ各甲毎ニ口座ヲ設クヘシ
- 二 削除ハ失書スヘシ
- 三 事由關ニハ死亡、隱居、轉出等削除ノ事由ヲ失書スヘシ

第二十一號樣式 (用紙半紙單紙)

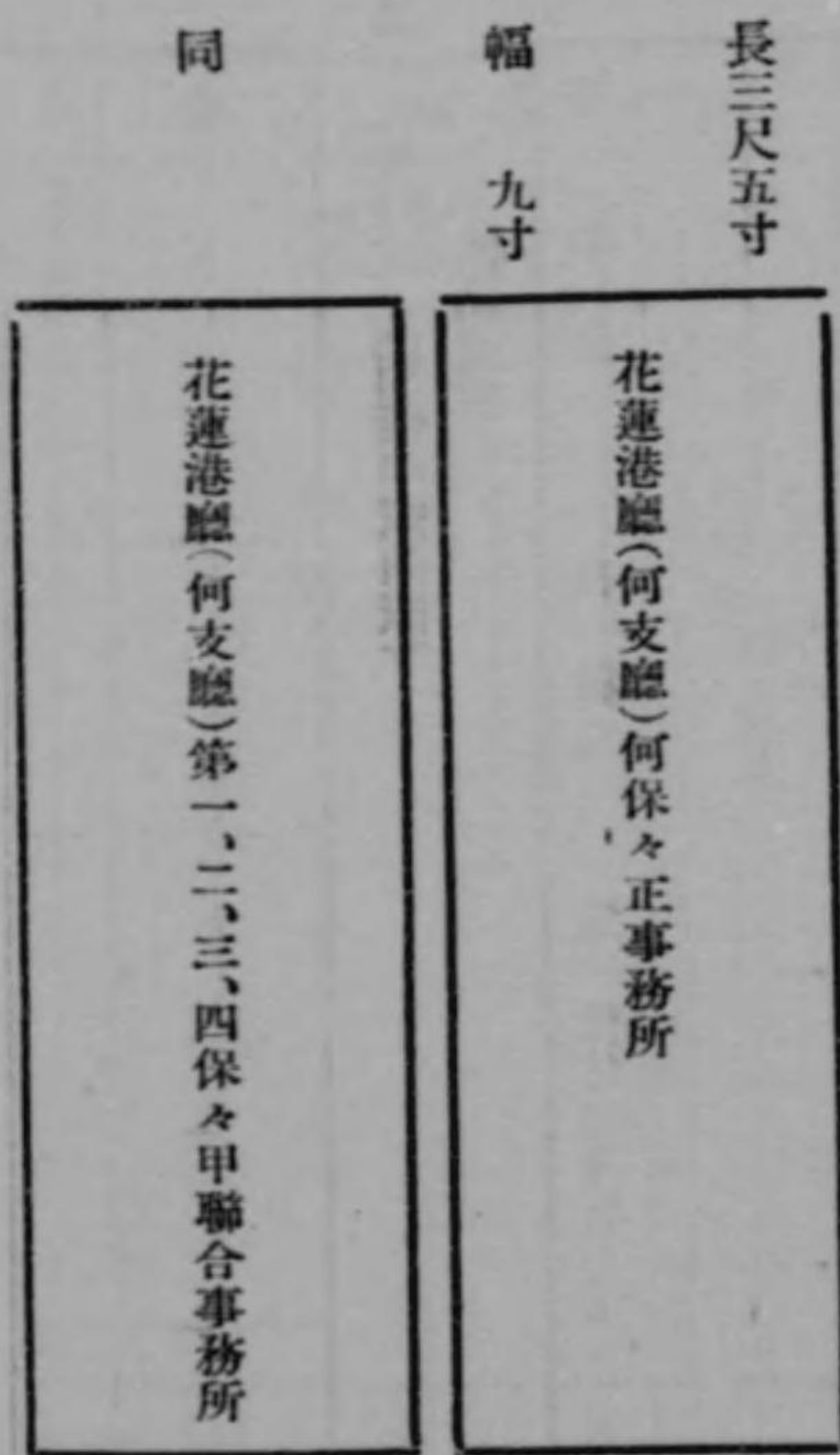
簿冊目錄

品	目	員	數	備付年月日	備	考

第二十二號樣式 (用材木材)

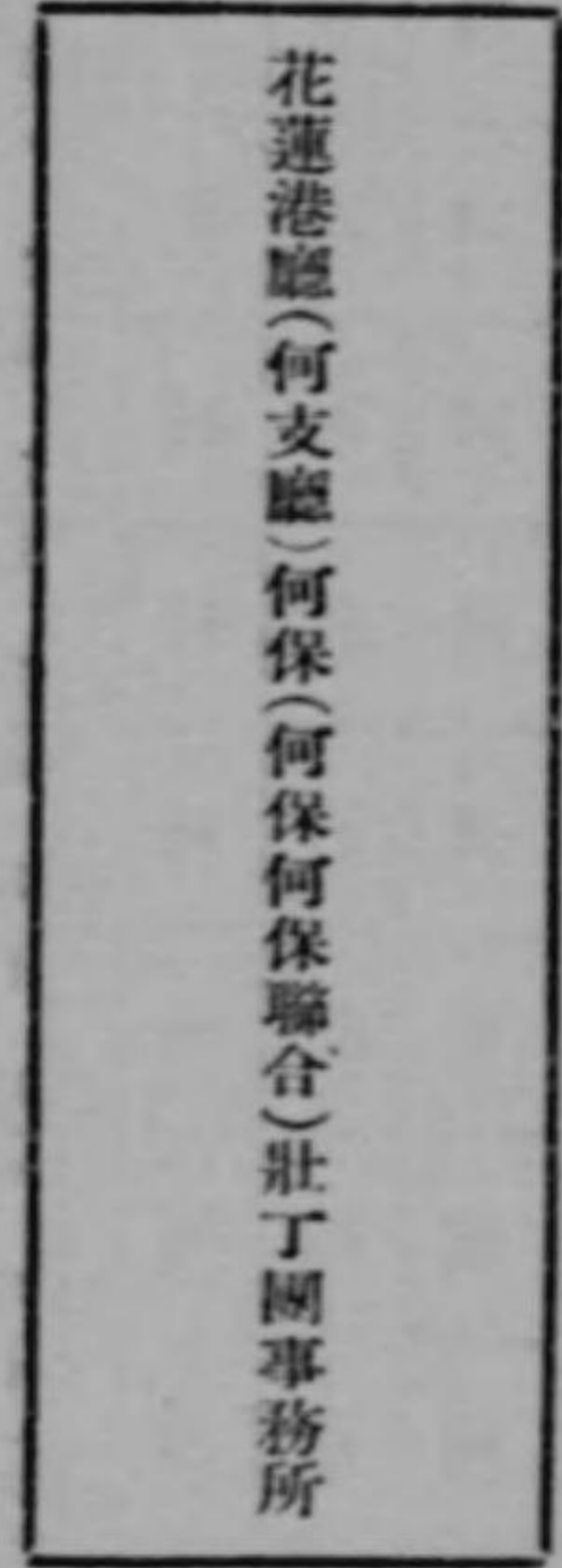
保正及壯丁團事務所標札謹形

〔花蓮營〕



長三尺五寸

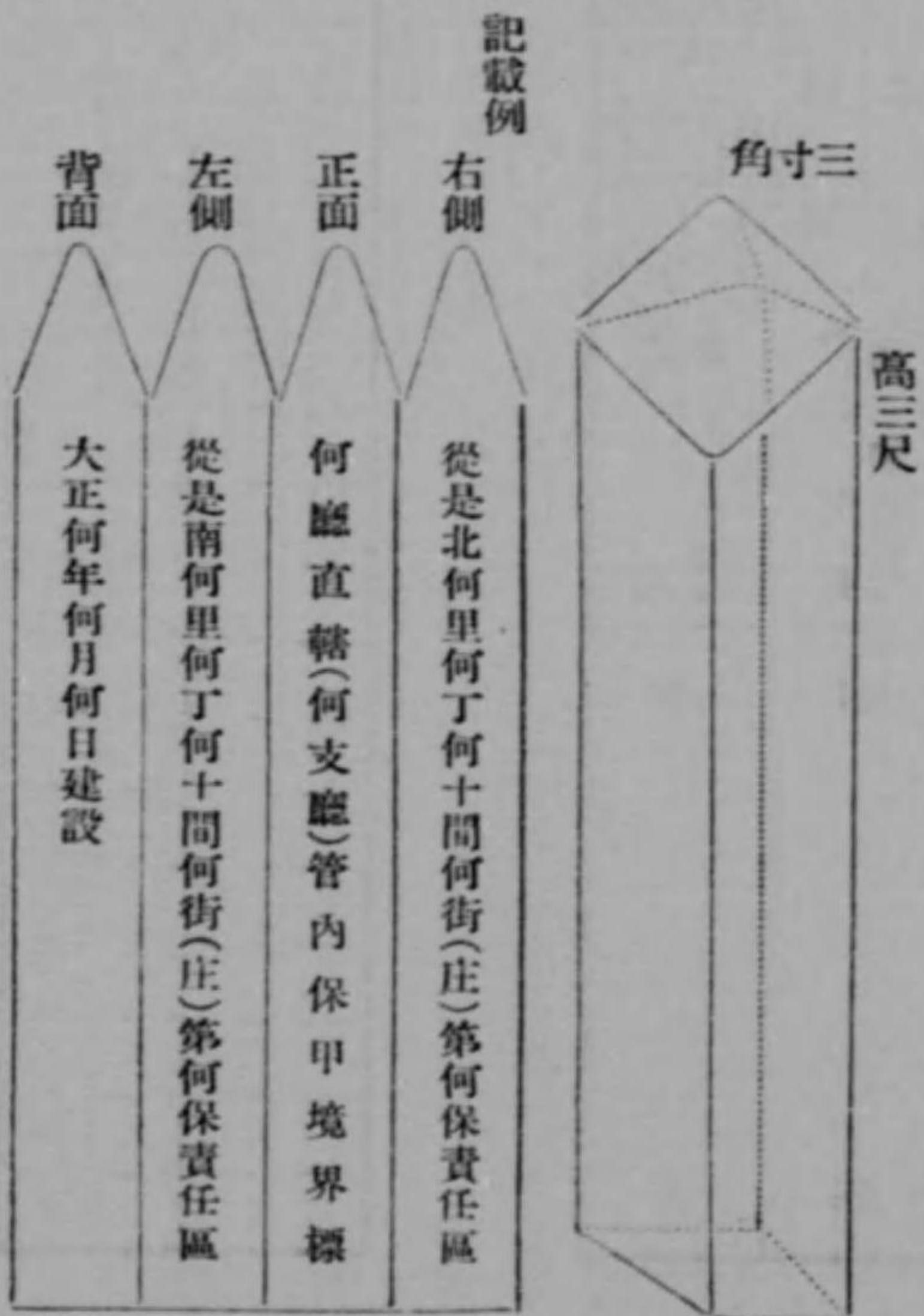
幅九寸



〔花蓮營〕

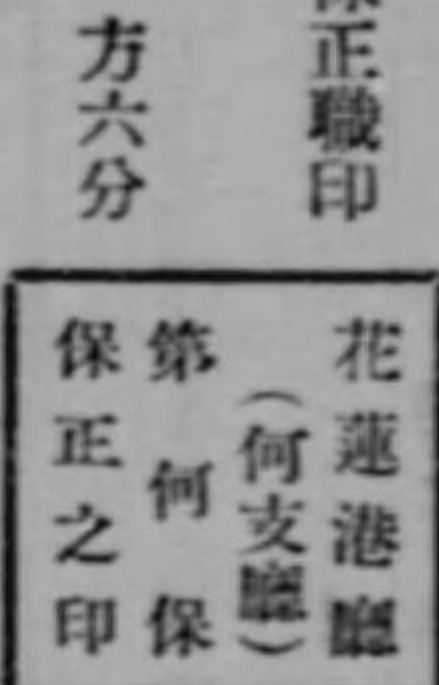
第二十五號樣式

境界標

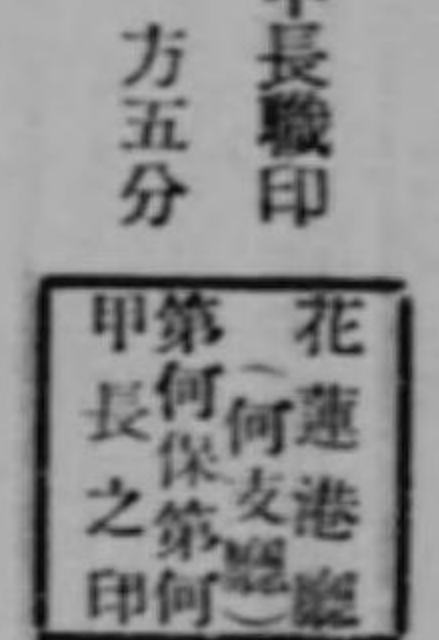


第二十三號樣式

保正職印

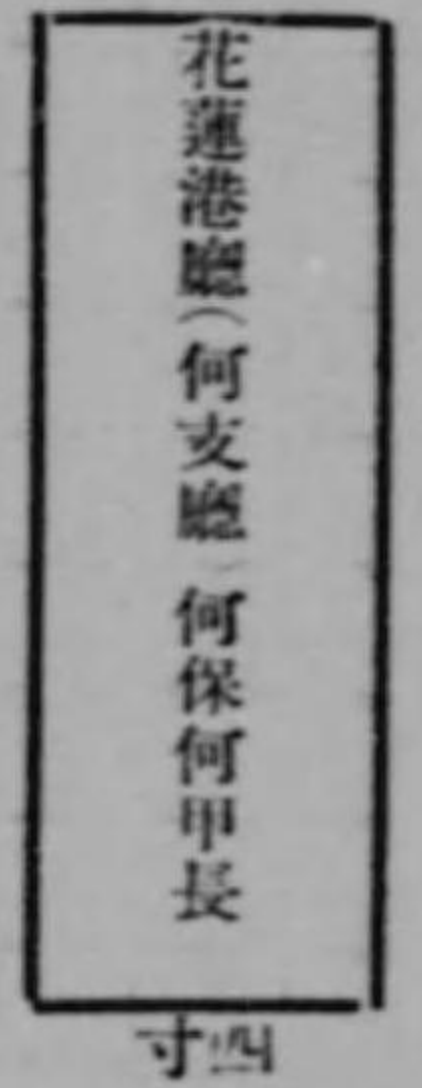
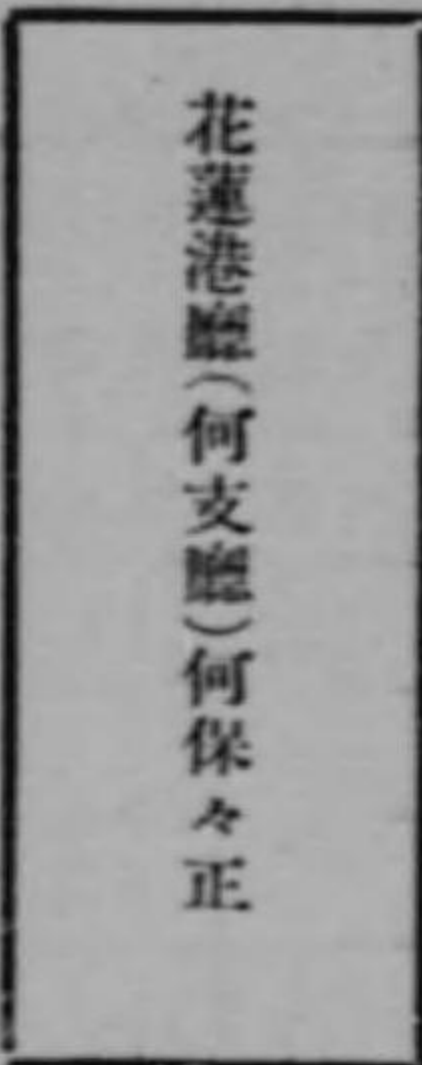


甲長職印



保正門札

甲長門札



第二十六號樣式ノ甲 (用紙美濃紙)

月	日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
	日																														
一月																															
二月																															

大正 年出席簿

書記 何

某

- 四 保甲役員名簿
 - 五 保甲備品彙帳
 - 六 保甲戸口簿
 - 七 保甲經費賦課徵收簿
 - 八 保甲經費收支明細簿
 - 九 簿冊目錄
 - 一〇 保甲過意金收支簿
 - 一一 出席簿
 - 一二 他行者名簿
 - 一三 來泊者名簿
 - 一四 保甲書類綴
 - 一五 徵收告知原符綴
- 第七條 保甲聯合會書記ハ保正ノ指揮ヲ承ケ關係各保ノ事務ヲ補助スルモノトス
- 第八條 保甲役員又ハ壯丁團員ニ選定セラレタルモノハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得サルモノトス
- 第九條 保正甲長ハ規約及監督官廳ノ命令訓示ノ周知及實行ノ責ニ任スルモノトス
- 第十條 保正、甲長左記各號ニ該當スル事實ヲ認メタルトキハ直ニ警察官吏ニ報告スルモノトス
- 一 孝子、節婦、義僕其ノ他表彰スヘキ善行者アルトキ
 - 二 身分不相應ノ物品ヲ所持スルモノ暴富又ハ頓ニ貧困ニ陥リタルモノアルトキ

〔花蓮營〕

- 三 變死傷者、行旅病者アルトキ
 - 四 傳染病患者又ハ疑似患者發生シタルトキ
 - 五 獸疫又ハ害蟲發生シタルトキ
 - 六 道路、橋梁、鐵道及水利ニ障害アルトキ
 - 七 電信、電話、電燈線ニ障害アルトキ
 - 八 流言、浮説其ノ他異常ノ事柄ヲ見聞シタルトキ
 - 第十一條 家長本規約第十條各號ノ事項ヲ認メタルトキハ速ニ保正、甲長又ハ警察官吏ニ報告スルモノトス
 - 第十二條 家長ハ保正、甲長ノ教戒ニ從ヒ互ニ相戒メ非行者ヲ出ササルコトニ努ムルモノトス
 - 第十三條 家長ハ家族及其ノ戸内ニアルモノノ保甲ニ關スル所爲ニ付其ノ責ニ任スルモノトス
- 第二章 戸口調査及出入者取締
- 第十四條 保正ハ毎年一月ヨリ六月及七月ヨリ十二月ノ兩期ニ於テ保内全部ノ戸口調査ヲ爲スモノトス
- 第十五條 甲長ハ毎月一回以上甲内ニ於テ戸口規則第六條ノ異動屆ヲ爲ル者ナキヤ否ヤヲ調査シ其ノ狀況ヲ保正ニ報告シ保正ハ警察官吏ニ報告スルモノトス
- 第十六條 一泊以上ノ他行者又ハ來泊者アルトキハ速ニ其ノ用向、豫定日數及旅行先ヲ口頭ヲ以テ保正ニ届出保正ハ他行者名簿又ハ來泊者名簿ニ記載シ警察官吏ノ檢閲ヲ受タルモノトス其ノ歸宅ノ時亦同シ但シ身元詳カナラサルモノハ一切宿泊セシメサルモノトス
- 第三章 警戒搜查

〔花蓮營〕

- 第十七條 保甲民ハ風水火震災又ハ匪徒、強盜其ノ他ノ犯罪人若ハ暴動不審ノ者アルトキハ警察官吏ニ急報シ時宜ニ依リ警察官吏又ハ保甲役員ノ指揮ヲ承ケ警戒搜查ニ從事スルモノトス
- 第十八條 保甲ハ保内權要ノ場所ニ相當報知器ヲ備ヘ置キ之ニ依リ匪徒、強盜其ノ他事變發生ニ際シ保甲民ハ急報スルモノトス
- 第四章 治安風俗及衛生
- 第十九條 保甲民ハ保甲役員其ノ他ニ對シ事實誇大ノ申告ヲナシ又ハ不實ノ投書若ハ誣告ニ類スル所爲アルヘカラサルモノトス
- 第二十條 保甲民ハ賭博ニ類スル所業ヲ爲ササルモノトス
- 第二十一條 保甲民ハ保甲事務ニ關シ保正ノ召喚ヲ受ケタルトキハ其ノ指定日時ニ出席スヘキモノトス
- 第二十二條 家長ハ其ノ保甲受持ニ屬スル道路、橋梁ノ小破修繕、掃除及道路並木ノ栽植、手入、保護又ハ名木ノ保存等ニ努ムルモノトス
- 第二十三條 保甲民ハ埤圳、排水等ノ水路ヲ妨ケ又ハ是等ニ屬スル構造物若ハ樹木等ニ損害ヲ加フル所爲アルヘカラサルモノトス
- 第二十四條 保甲民ハ家畜ヲ放飼シ因テ道路、橋梁、堤防及是等ニ屬スル樹木又ハ他人ノ邸宅、耕作物又ハ其ノ他ノモノヲ損壞又ハ甚ダシク汚穢スル等ノコトナキ標努ムルモノトス
- 第二十五條 家長ハ不良ノ子弟ヲ指揮教戒シ正業ニ就カシメ非行ナカラシムヘキモノトス
- 第二十六條 保甲民ハ其ノ區域内ニ於ケル鐵道、電信、電話及電燈線ニ障害ヲ加ヘサルノミナラス若シ故障アルコトヲ見聞シタルトキハ速ニ保甲役員又ハ警察官吏ニ報告スルモノトス

- 第二十七條 保甲民中左記ノ所爲アリタルトキハ故意ニ出ルト否トヲ問ハス家長其ノ責ニ任ス但シ違犯者判明セサルトキハ事故ノ輕重ニ依リ關係保又ハ甲内ノ家長連座ノ責ニ任スルモノトス
- 一 鐵道又ハ鐵道敷地内ノ標識、揭示、信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シ若ハ燈火ヲ滅シ又ハ之等ノモノノ用ヲ失ハシメタルトキ
 - 二 列車又ハ鐵道線路ニ瓦石、木竹類ヲ投擲シ其ノ他危險ナル障礙ヲ生セシメタルトキ
 - 三 電信、電話、電燈ニ障害ヲ及ホスヘキ行爲ヲナシ又ハ電柱ヲ毀損シタルトキ
 - 四 鐵道線路近傍ニ牛馬、羊豚ヲ出スニ當リ相當ノ監視者ヲ附セス因テ危害ヲ生セシメタルトキ又ハ濫ニ鐵道敷地内ニ牛馬、羊豚ヲ立入ラシメタルトキ
- 第二十八條 保甲民ハ存地測量標、水準標其ノ他公共ノタメ設ケラレタル諸標識類ヲ移轉又ハ毀損ノ所爲アルヘカラス
- 前項ノ違反者判明セサルトキハ違反者ノ屬スル甲内各家長連座ノ責ニ任スルモノトス
- 第二十九條 保甲民ハ贗造貨紙幣ヲ發見シタルトキハ現品ヲ添ヘ其ノ出所等ヲ速ニ保正、甲長又ハ警察官吏ニ届出之ヲ隱蔽スル等ノコトナキモノトス
- 第三十條 硝石販賣業者、醫師、藥劑師以外ノ者ハ硝石ヲ授受スルコトヲ得サルモノトス
- 第三十一條 保甲民ハ何等ノ名義ニ拘ハラズ外國補助貨幣ヲ輸入シ又ハ授受シ若ハ内國補助貨幣ヲ外國ニ輸出シ又ハ授受スル等ノ所爲ナキモノトス

ノトス
 第三十二條 保甲内住民中匪徒、強盜、殺人、銃器彈藥ノ密輸入又ハ民心ヲ動搖セシムヘキ情狀重キ犯罪人ヲ出シタルトキハ關係保又ハ甲内ノ家長連座ノ責ニ任スルモノトス但シ犯人ヲ逮捕シ又ハ其ノ居所ヲ申告シタルモノアルトキハ免除スルコトヲ得
 第三十三條 家長ハ其ノ家族タル婦女ニ對シ躰足セシメサルモノトス從來ノ躰足者ト雖歩行上支障ナキモノハ解體セシムルモノトス
 第三十四條 保甲民ハ習俗ノ改良、國語ノ普及ニ努ムルモノトス
 第三十五條 保甲民ハ阿片密吸、密賣買、密製造ノ行爲アルヘカラサルモノトス
 第三十六條 保甲内ノ阿片吸食特許者ハ阿片烟灰ヲ他人ニ贈與、賣買又ハ藏匿スルコトナク總テ警察官吏ノ承認ヲ承ケ處分スヘキモノトス
 第三十七條 家長ハ常ニ家宅内外ヲ清潔ニシ八種傳染病及地方病發生ニ豫防シテハ警察官吏ニ急報シ其ノ指揮ニ從ヒ交通遮斷、鼠族驅除其ノ他豫防、消毒等ニ從事スルモノトス
 第三十八條 保甲民ハ麻刺利亞防遏ノ爲メ宅地内ノ除草ヲナシ樹木ノ下枝ヲ伐採シ又ハ不必要ノ水涵ヲ埋没スル等蚊族發生ヲ防キ夜間就寢ノ際ハ必ス蚊帳ヲ用ユルモノトス
 第三十九條 保甲民ハ獸疫又ハ害蟲ノ發生ニ際シテハ警察官吏ニ急報シ之ヲ豫防、消毒、驅除ニ從事スルモノトス
 第四十條 保甲民ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ豫メ警察官吏ニ申告シ承認ヲ承ケヘキモノトス
 一 蕃婦ト内縁ノ夫婦トナリ蕃婦方ニ居住セントスルトキ

〔花蓮營〕

二 蕃人部落ニ於テ商業ヲ營マントスルトキ
 三 蕃人ニ對シ家畜放飼其ノ他ノ紛争ニ因ル損害賠償ヲ爲サシメントスルトキ
 四 蕃人ヲ雇傭シ使役セントスルトキ
 五 蕃人ト田畑小作ノ契約ヲ爲シ又ハ蕃社地域内ノ荒蕪地ヲ新ニ開墾セントスルトキ
 六 蕃人ト土地其ノ他ノ不動産及動産ノ賣買、賃借契約ヲ爲シ又ハ金錢ノ貸借ヲ爲サントスルトキ
 第四十一條 家長ハ地元保安林及砂防造林地ノ保護ヲナスモノトス
 第四十二條 前各條ノ外保甲民ハ官廳ノ命令ニ違背シ或ハ故ナク保正、甲長ノ指示命令ニ背キ又ハ保内ノ安寧秩序ヲ紊シ風俗ヲ害シ善良ナル舊慣ニ背ク等ノ所業ヲ爲ササルモノトス
 第五章 壯丁團
 第四十三條 壯丁團ハ保甲又ハ保甲聯合會ノ決議ニ依リ編成スルコトヲ得ルモノトス但シ其ノ編成方法及經費ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム
 第四十四條 壯丁ハ甲内家長ノ協議ニ依リ一名乃至數名ヲ選定スルモノトス
 第四十五條 壯丁團ニ壯丁團員名簿、出務簿、備品彙帳及銃器彈藥其ノ他武器管理簿ヲ備ヘ壯丁團長之ヲ整理スルモノトス
 第四十六條 壯丁團員ハ勤務ニ服スル場合ノ外制服ヲ著シ又ハ制規ノ旗又ハ提燈ヲ使用スルコトヲ得サルモノトス
 第四十七條 壯丁團員ハ多防ノ時期又ハ必要ニ應ジ保甲内ノ警防ニ從事スヘキモノトス

〔花蓮營〕

第四十八條 壯丁團員ノ勤務其ノ他ノ行動ハ總テ警察官吏ノ指揮ニ依ル

ヘキモノトス

第四十九條 壯丁團員ニシテ非常事變アルコトヲ知リタルトキハ即時報知器其ノ他ノ方法ニ依リ保甲民ニ報知シ一面警察官吏ニ急報スヘキモノトス

第五十條 壯丁團員ハ職務ニ違背シ又ハ召集ニ際シ正當ノ理由ナク遅刻不參ノコトナキモノトス

第五十一條 壯丁團員ハ無報酬トス但シ職務ノ爲メ出役シタルトキハ食費トシテ左ノ金額ヲ給スルコトヲ得ルモノトス

- 一 壯丁團長 一日七拾錢以内
- 二 壯丁副團長 一日六拾錢以内
- 三 壯丁 一日五拾錢以内

第六章 保甲會議

第五十二條 保甲會議ハ保正、甲長ヲ以テ組織シ其ノ議事壯丁團ニ關スル事項ナルトキハ壯丁團長ヲ參與セシムルモノトス但シ議事自己ノ利害ニ關スル事件ニハ參與スルコトヲ得サルモノトス

第五十三條 保甲會議ノ議事ハ保正之ヲ整理シ保正事故アルトキハ年長ノ甲長之ヲ代理スルモノトス

第五十四條 保甲會議ハ毎月一回定期ニ之ヲ開クモノトス但シ必要アルトキハ臨時開會スルコトヲ得ルモノトス

第五十五條 保甲會議ノ議決ハ多數決ニ依ル、可否同數ナルトキハ保正ノ決スル所ニ依ルモノトス

第五十六條 保甲會議ヲ開ク時ハ保正ヨリ豫メ日時、場所及協議事項等

第三編 保安 第四章 保甲

ヲ警察官吏ニ届出ツヘキモノトス

第七章 過意處分

第五十七條 第八條、第十條乃至第十二條、第十五條乃至第十七條、第十九條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十二條、第四十七條乃至第五十條ニ違背シタルモノハ百圓以内ノ過意金ニ處スルモノトス

第五十八條 過意處分ヲナサントスルトキハ保正ハ保甲會議ヲ開キ其ノ所爲ノ輕重及情狀ヲ審査シ決議ヲ以テ過意金額ヲ定メ團長ノ認可ヲ受ケ處分スルモノトス

第五十九條 本規約ニ依リ過意金ニ處セラレタルモノニシテ過意金ヲ納付スル資力ナシト認ムルトキハ所轄廳、支廳ノ承認ヲ經テ保甲内ノ道路修繕其ノ他ノ勞務ニ換フルコトヲ得此場合ハ勞役一日ヲ一圓以上ノ範圍ニ於テ換算スルモノトス

第八章 褒賞及救恤

第六十條 匪徒、強盜其ノ他風水火震災等ノ警防又ハ捜査ニ從事シ負傷シタルモノアル時ハ保甲會議ニ於テ其ノ輕重ヲ審査シ百圓以内ノ手當金並治療料ノ實費ヲ給スルモノトス傳染病ノ豫防消毒ニ從事シ因テ感染シタルトキ亦同シ

第六十一條 前條ノ場合ニ於テ發篤疾ニ陥リタルトキハ救助料トシテ一時金二百圓以内ヲ遺族ニ給與シ死亡シタルモノニ對シテハ葬祭料百圓以内ヲ遺族ニ給與スルモノトス

第六十二條 保正、甲長、壯丁團員其ノ他保甲民中左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以内ヲ賞與ス但シ第六號ノ場合ニアリテハ壯丁團ニ賞與スルモノトス

第三編 保安 第四章 保甲

- 一 風水火震災等ノ警防ニ從事シ人命又ハ財産ヲ救護シ功勞顯著ナルモノ
 - 二 匪徒、強盜其ノ他重大ナル犯人ヲ逮捕シタルモノ
 - 三 重要犯罪其ノ他保甲内ノ公安ヲ害スヘキ重大ナル事件ヲ探知シ警察官吏又ハ保正、甲長ニ急報シ逮捕ヲ容易ナラシメ若ハ其ノ事件ヲ未發ニ防遏スルコトヲ得セシメタル者
 - 四 贖貨幣又ハ紙幣ヲ發見シ若ハ之レニ關スル犯罪ノ檢舉ヲ容易ナラシメタル者
 - 五 保甲役員又ハ壯丁團員ニシテ平素職務ニ奮勵シ品行方正ニシテ他ノ模範トナルヘキ者
 - 六 壯丁團トシテ成績特ニ優良又ハ功勞顯著ナルモノ
- 第六十三條 本章ニ定メタル賞恤事項ハ總テ保甲會議又ハ保甲聯合會ノ決議ニ依リ廳長ノ認可ヲ得テ施行スルモノトス
- 第九章 役員選舉
- 第六十四條 保甲役員ノ選舉ハ其ノ當日ヨリ少クモ五日前ニ受持警察官吏ヲ經テ廳又ハ支廳ニ届出テ承認ヲ受ケ三日以前ニ關係保甲各家長ヘ通知シ之ヲ行フモノトス
- 第六十五條 保正ノ選舉ハ其ノ保内各家長、甲長ノ選舉ハ其ノ甲内ノ各家長過半数以上ノ投票ニヨリ最多數ヲ得タル者ヲ當選者トス
- 第六十六條 選舉ハ家長自身選舉場ニ到リ投票ヲ爲スニアラサレハ之ヲ無効トス
- 第六十七條 選舉ハ公正ヲ期スル爲メ警察官吏及保甲民總代二名以上ノ立會ヲ得テ行フモノトス

〔花蓮警〕

第六十八條 選舉用紙ハ投票當日選舉場ニ於テ一名一枚ヲ限リ交付シ若シ書損使用ニ堪ヘサルモノヲ生シタルトキハ之ト引換ニ交付スルモノトス

第十章 保甲經費

- 第六十九條 保甲及壯丁團ニ要スル費用ノ收支豫算ハ保甲會議ニ於テ決議シ保甲民ノ貧富ノ程度並土地ノ狀況ニヨリ其ノ割賦額、徵收時期及徵收方法ヲ定メ毎年十二月十五日迄ニ廳長ノ認可ヲ受クヘキモノトス
- 臨時經費ノ賦課徵收ヲ要スルトキ亦之ニ準ス
- 第七十條 過意金ハ褒賞、救恤其ノ他臨時必要ナル費途ニ支出スルモノトス但シ過意金ヲ支出セントスルトキハ廳長ノ認可ヲ受クルモノトス
- 第七十一條 保正ハ毎年一月十五日迄ニ前年度ニ於ケル經費ノ出納ヲ精算シ保甲民ニ報告シ一面廳長ニ報告スルモノトス
- 第七十二條 保甲經費及保甲過意金ハ郵便貯金又ハ銀行預金トシ保正之ヲ保管シ其ノ責ニ任スルモノトス
- 本規約ハ各自固ク遵守スルコトヲ誓ヒ茲ニ家長一同連名捺印スルモノナリ
- 大正何年何月何日
- 花蓮港廳(支廳)何々第何保
保正 何 某
- 以下署名捺印ハ規約加盟簿ヲ以テス
保甲聯合會々々則標準

〔花蓮警〕

- 第一條 本會ハ花蓮港廳(何支廳)何保何保ノ幾保聯合シ何々保甲聯合會ト稱ス
- 第二條 本會ノ會員ハ聯合各保ノ保正トス但シ壯丁團ニ關スル議事ニ係ルトキハ壯丁團長ヲ參與セシムルモノトス
- 第三條 本會長ハ會員中ヨリ之ヲ互選シ廳長又ハ支廳長ノ認可ヲ受クルモノトス
- 會長ノ任期ハ保正ノ任期ト同フシ滿期再選スルコトヲ得
- 第四條 聯合會ノ議事ハ會長之ヲ整理ス會長事故アルトキハ年長ノ會員之ヲ代理スルモノトス
- 第五條 本會ノ議決ハ多數決ニ依ル、可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ルモノトス
- 第六條 本會ニ於テ議スヘキ事項概ネ左ノ如シ
- 一 聯合保甲壯丁團及其經費ニ關スル件
 - 二 聯合保甲壯丁團ノ褒賞、救恤及過意處分ニ關スル件
 - 三 聯合會書記ノ給料ニ關スル件
 - 四 前各號ノ外本會關係事項又ハ官廳ノ命令ニ依リ議決ヲ必要トスル件
- 第七條 開會ノ必要アルトキハ會長ハ豫メ其ノ日時會場ヲ會員ニ通報シ同時ニ受持警察官吏ヲ經テ廳又ハ支廳ニ届出テ一面關係區長ニ通知スルモノトス
- 第八條 會長議事録ヲ作り會議事項ヲ錄シ參加會員ノ署名捺印ヲ徵シ之ヲ保存スルモノトス
- 第九條 決議事項ハ其ノ都度會長ヨリ廳長又ハ支廳長ニ報告スルモノトス

第三編 保安 第四章 保甲

- 第十條 本會ニ書記ヲ置キ本會及關係各保ノ事務ヲ補助セシムルモノトス
- 第十一條 本會ニ左ノ書類ヲ備ヘ會長之ヲ整理保存スルモノトス
- 一 日誌
 - 二 勳意簿(會長、會員、書記合冊ト爲ス)様式ハ保甲出席簿ノ例ニ依ル
 - 三 花蓮港廳報綴、府報綴
 - 四 議事録
 - 五 書類綴
- 第十二條 各保ノ保正ハ事務處理ノ爲メ毎日交互ニ出勤スルモノトス
- 聯合保甲壯丁團經費ニ關スル規約標準
- 第一條 聯合保甲壯丁團ニ要スル經費ハ聯合各保ノ共同負擔トシ聯合會ノ決議ニ依リ各保ノ分擔額ヲ定ムルモノトス
- 第二條 聯合保甲壯丁團ノ經費ハ各保ノ經費ニ組入レ徵收ス
- 第三條 聯合保甲壯丁團員ニ對スル褒賞、救恤ニ關スル經費及過意金ハ受賞者、被救恤者又ハ被處分者ノ屬スル保甲之ヲ負擔シ又ハ收入スルモノトス但シ一事件ニツキ一保内ニ行フ褒賞、救恤金十圓ヲ超ユルトキ又ハ壯丁團全體ニ係ルトキハ第一條ノ例ニ依ルモノトス
- 第四條 聯合保甲壯丁團經費ノ收支ハ年末ニ於テ保甲經費ニ計上シ報告スルモノトス

●保甲壯丁團點檢及訓練規程

大正七年三月
廳訓令第四號

改正 大正一四年廳訓令第一號
第一條 點檢ハ壯丁ノ人員、服裝、姿勢、動作、備付器具及貨物品ノ保存、手入ノ適否ヲ検査スルモノトス

第二條 訓練ハ左ノ事項ヲ教練訓練スルモノトス

第一 操練

一 徒手教練及簡單ナル部隊教練(警察操典ノ規定ニ依ル)

二 消防器具使用法

第二 禮式

單獨ノ敬禮

一 室内ニ入ルトキハ室外ニ於テ帽ヲ脱シ敬禮スヘキ人ニ面シ約三步前ニ於テ姿勢ヲ正シ其ノ眼ニ注目シ體ノ上部ヲ約十五度前方ニ傾クヘシ但シ帽ヲ手ニスルトキハ右手ニ其ノ前底ヲ摘ミ之ヲ垂直ニ下ケ帽ノ内部ヲ右股ニ對セシムヘシ

二 室外ニ於ケル敬禮ハ舉手注目トス但シ監督者ニ對シテハ停止シテ之ヲ行フヘシ

部隊ノ敬禮

一 停止ノ場合ニ在テハ(氣ヲ付ケ)ノ號令ニテ一同不動ノ姿勢ヲ取り受禮者ニ對シ其ノ引率者ノ單獨ノ敬禮ト同一ノ敬禮ヲ行フヘシ

二 行進中ニ在リテハ頭右(左)號令ニテ列員ハ頭ヲ受禮者ノ方ニ向ケ注目シ直レノ號令ニテ列員頭ヲ復スヘシ

前各項ノ外禮式上必要ナル事項ハ警察禮式ノ規定ヲ準用ス

〔花蓮營〕

一 非常召集心得

二 警戒心得

三 消防心得

四 水火震災等ノ救助心得

五 平素ニ於ケル壯丁ノ心得

六 前各項ノ外壯丁ノ職務ニ必要ナル事項

第三條 點檢及訓練ハ臺灣總督地方警察配置及勤務規程施行細則保甲及壯丁團監督ノ規定ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條 支廳長ハ毎年二回所轄内ノ壯丁團員ヲ召集シ平素ノ點檢訓練ヲ檢閲シ必要ナル訓示ヲ爲シ左ノ事項ヲ廳長ニ報告スヘシ

一 壯丁ノ適否及訓練ノ成績

二 被服器具其ノ他貨物品ノ整否

三 訓示シタル事項

四 前各項ノ外必要ト認ムル事項

●保甲境界標本ニ關スル件

昭和四年三月
花警保第一二三九號警務課長依命通達

各保甲ノ境界標本建設方ニ關シテハ保甲條例施行細則取扱手續第十八條(大正九年四月訓令第四號)ニ依リ規定セラルルニ不拘未タ之カ實行セサル所モ有之候處保甲ヲ督勵シ建設セシムルト共ニ以降該標本ノ里程ハ全部、メートル法ニ改訂セシメラレ度

〔花蓮營〕

右依命通達ス

●保正當選認可願ニ關スル件

大正一三年一〇月
花警保第三七五六號警務課長依命通達

調査上必要有之候條保甲條例施行規則第二條第二項ノ保正ノ認可願ヲ受理シ進達ノ場合ハ同細則取扱手續第二條第一項ニ依ルノ外左記事項ヲ附記可相成

右依命通達ス

記

- 一 本人ノ素行經歷並保甲内部民ノ信用程度
- 二 保甲内家長總數、選舉投票者數
- 三 投票點數區分

●保甲役員選舉ニ關スル件

昭和四年四月
花警保第一五二九號警務課長依命通達

從來各保甲ニ於ケル役員選舉期日ニ關シテハ其ノ取扱區々ニ互リ處理上支障有之候條爾今左記ニ依リ取扱相成度

右依命通達ス

記

- 一 各役員ノ任期ハ當選ノ日ヨリ起算スルモノトス
- 二 各保甲役員ノ選舉ハ前任者任期満了ノ日ヲ以テ改選スルヲ原則トス

第三編 保安 第四章 保甲

シ萬止ムヲ得サル事情アリテ當日改選シ能ハサル場合ハ任期満了前五日以内ニ改選スルモノトス

●保甲經費ニ關スル件

大正九年一二月
花警保第九九五號警務課長依命通達

本件ニ關シテハ大正八年十二月十七日花保第九四七號ノ五ヲ以テ通達致置候處諸物價暴騰ニ伴ヒ市街地ノ如キハ從來經費ノ範圍内ニテハ支辨シ難キ向モ有之候條爾今經費ハ一保一年一戸平均額壹圓參拾錢ヲ限度トシ若シ必要止ムヲ得サル事項ノ費途ニ支出ヲ要シ範圍内ニテ支辨シ能ハサル場合ハ事由ヲ具シ一應協議可相成

右依命通達ス

●保甲經費認可臺帳製作方ノ件

昭和三年一二月
花警保第五九〇〇號警務課長依命通達

保甲事務監督上各支廳ニ於テハ左記様式ノ保甲經費認可臺帳ヲ備ヘ豫算認可及收支決算報告ヲ受ケタル都度記入整理可相成

右依命通達ス

記

年別	保甲名	前年	本年	本年	本年	本年	本年
		高	高	高	高	高	高
		低	低	低	低	低	低
		支出	支出	支出	支出	支出	支出
		高	高	高	高	高	高
		低	低	低	低	低	低
		摘要	摘要	摘要	摘要	摘要	摘要

備考 臨時保甲經費ハ朱書記入ノコト

●保甲經費徵收督勵ニ關スル件

昭和三年一月二日 花警保第五九〇一號警務課長依命通達

從來各保甲ニ於ケル保甲經費ノ徵收狀況ヲ見ルニ納入期ヲ經過スルモ意納者多ク甚シキハ年末ニ至ルモ尙徵收不能ノモノアリ保甲運用上支障不尠右ハ畢竟受持警察官ノ督勵不充分ニ基因スルモノト認メラルルニ付支應ニ在リテハ之カ監督方法トシテ保正ニ於テ納入告知書發行後完納ニ至ル迄左記様式ノ月報ヲ徵スル等指導監督ノ徹底ヲ期セラレ度

保甲經費徵收額

保名	家長數	豫算額	徵收	高	殘高	摘要
			本月中	累計		

●支廳委任事項ニ關スル件

〔花運警〕

大正六年五月 花警保第四〇八三號廳長通達

支廳長委任事項ニ關シ別紙寫ノ通警察本署長ヨリ通牒有之候條右ニ依リ取扱ハルヘシ

支廳委任事項ニ關スル件

大正六年五月 本保第七七四號警察本署長ヨリ廳長宛

明治四十三年五月民内第二八四〇號民政長官通達相成候支廳委任事項第十二號保甲ニ關スル稟賞過意認可ニ關スル事項ニ付各廳ノ解譯區々ナル起ニ有之候條右ハ稟賞ノ認可ヲナシタルトキハ其ノ支出ハ當然之ニ付モノナルニ依リ別ニ支出認可ヲ要セサル義ト御承相成度

●保甲役員等表彰ニ關スル件

大正一三年七月 警保第一一七三號警務局長通牒

廳長宛

過般當府ニ開催ノ警察會議ニ新竹州提案ニ係ル協議事項中保甲役員等表彰ニ關スル件ハ當府ニ於テ實行スルヨリモ各州廳ニ於テ實施セラルルヲ適當ト考ヘラレ候又實際既ニ適宜實行シツアル向モ有之候條旁々各州廳ニ於テ實行方考慮相成度尙之カ實行ニ付テハ豫算編成ニ際シ相當要求可相成

第五章 司法 犯罪即決

●共通法施行ニ關スル件

大正七年一月二日 民法第二三一號民政長官代理通牒

共通法施行ニ關シ今般司法省及關東都府府ト協議ノ結果關東州ニ居住スル支那人ニ付本年六月七日民法第二三一號通牒共通法施行ニ關スル事項第六及第八ノ事項ハ民政署長若ハ民政支署長及地方法院檢察官ニ通知スルコト、相成候旨拓殖局長官ヨリ通知有之候條左標御了知相成度

〔花運警〕

●司法官會同ニテ保正甲長ハ公務員ニアラサル旨決議ノ件

明治四一年七月 警第一五四三八號警務課長通牒

明治四十一年九月十九日司法官會同ニ於テ保正甲長ハ刑法第七條ノ公務所公務員ニアラスト決議セシ旨覆審法院院長ヨリ通報有之候條其筋ヨリ通牒越シ候條爲參考此段及通牒候也

●盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律中 常習盜犯事件送致ニ關スル件

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

昭和五年一月 臺北地檢發第七五四號臺北地方法院檢察官長通報

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律中常習盜犯事件送致ニ關シ管内司法警察官ヘ別紙ノ通達致候條

此段及通報候也

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律中常習盜犯事件送致ニ關スル件

昭和五年一月 檢發第七五二四號臺北地方法院檢察官長ヨリ管内司法警察官宛

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律中常習盜犯ノ送致ニ關シテハ自今以後別紙記載ノ規準ニ依リ取扱可相成

〔別紙〕

常習盜犯ノ取扱規準

- 一 常習認定ノ標準
- (一) 常習ニ付テハ被疑者カ常習犯人タル性格ナルヤ否ヤヲ判別スルヲ以テ本旨トシ諸般ノ事情ヲ綜合シテ之ヲ認定スルコト
- (二) 第二條ノ場合

(イ) 前科ナキモノニシテ本件所定ノ方法ニ依ル犯罪ヲ爲シタルトキハ相當期間ニ涉リ引續キ之ヲ反覆シタルニ非ザレバ常習トシテ取扱ハサルコト

(ロ) 前科ハ被疑事實タル犯罪ノ時ヨリ凡ソ三年以内ニ刑ヲ終了シタルモノニシテ本條所定ノ方法ニ依リタル犯罪ナルコト明白ナルモノニ非サレハ之ヲ以テ本條ノ常習認定ノ資料ト爲ササルコト

(三) 第三條ノ場合

最後ノ前科ニ對スル刑ノ終了後被疑事實タル犯罪ノ時ニ至ル迄凡
ソ三年以上ヲ經過シタルトキハ前科ヲ以テ本條ノ常習認定ノ資料
ト爲ササルコト

二 常習ノ認定

常習ノ認定ハ當分ノ間各場合ニ於ケル具體的事情ヲ檢察官長ニ報告
シテ指揮ヲ受クルコト

但シ急速ヲ要シ檢察官長ノ指揮ヲ受ケ難キ場合ハ此ノ限りニ非ス

三 常習犯罪ノ罪名表示方

- 一 第二條ノ罪ニ付テハ常習特殊強(強)盜
- 二 第三條ノ罪ニ付テハ常習累犯強(強)盜

●他管檢察官ノ指揮ニ對スル捜査ノ件

大正七年三月
檢發第七九三號臺北地方法院檢察官長訓令

司法警察官ハ事件急速ノ故ヲ以テ他管ノ檢察官ヨリ直接ニ捜査ヲ命セラ
レタルトキハ所轄檢察官ノ指揮アリタルモノトシテ之ヲ取扱ヒ右檢察官
ニ直接回答ヲ爲スベシ
右訓令ス

●司法事務取扱ニ關スル件

大正七年一月
花警保第八四五五號警務課長依命通達

從來司法事務往復書類ニ小形ノ附箋ヲ用ユルコト有之候處斯クテハ事務
取扱上不適當ト認メ候條照復ノ際ハ可成半紙全半紙ヲ用ユル様取扱可
相成
右依命通達ス

●司法警察官及司法警察官吏ノ職務ヲ
行フ者ノ刑事訴訟法上作成スヘキ書
類ノ方式ニ關スル件

大正一〇年三月
高檢發第八一二號高等法院檢察官長通達

刑事訴訟法第七十一條ニ依リ其ノ所屬ノ官署ヲ表示スルニ付テハ其ノ方
法ニ特段ノ制限ナク且舊法ノ如ク別ニ所屬廳印ヲ必要トセサルヲ以テ所
屬廳印ヲ捺捺セシメ官署ノ名稱ノミヲ記載スルニ止ムルモ或ハ單ニ廳
印ヲ捺捺シテ別ニ官署ノ名稱ヲ記載セサルモ不可ナルニ非スト雖官吏ノ
作成スヘキ書類ニ所屬廳印ヲ捺捺アルト否トハ該文書ノ正確ヲ期シ其ノ
公信力ヲ保持スル上ニ於テ極メテ重要ナル關係アリトス曩ニ訓令シタル
司法警察處務規程ニ於テハ所屬廳印ヲ捺捺セサルコトニ相定メ尙又送付
シタル檢察官會同決議ニモ廳印ヲ使用セサル旨ノ決議ヲ爲シタリト雖敘
上ノ趣旨ニ依リ必ス廳印捺捺スル様致度又書類作成者ノ捺捺スヘキ印章
ニ付テモ職務上作成スヘキモノニ付テハ職印ヲ使用スル様致度
右通達ス

●逮捕手續書ニ關スル件

昭和四年二月
花警保第九四七號警務課長依命通達

司法警察吏又ハ其職務ヲ行フ者カ現行犯人ヲ逮捕シタル場合司法警察官
又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ提出スヘキ逮捕手續書ノ書式今般別紙ノ通相定
メ候條將來右ニ依リ取扱相成度
右依命通達ス
追テ用紙ハ當課ヨリ配付可致候
別紙様式
(規範第八十二條第二項)

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)
被逮捕者ノ 本居(籍)地ノ 住所(職)業地ノ 氏名(年)齡	犯罪事實	現行犯ト認メタル理由	逮捕日時	逮捕場所	逮捕事由
			昭和 年 月 日 午 時 分		

〔花連警〕

(七) 證人及證據物

右職務執行中現行犯人ヲ認メ逮捕ノ上及引致候也
昭和 年 月 日

證人	勤務
及	
證據物	勤務

注意

- (六) 關ニハ刑事訴訟法第二百四條ノ事由ヲ記スヘシ
- (七) 關ニハ證人ノ住居、職業氏名年齢及證人ト認ムル事由物件ノ提出者、發見者及其日時場所等ヲ詳記スヘシ

●素行調書ニ關スル件

大正一一年八月
檢發第三一四二號臺北地方法院檢察官長通達

刑事記録ニ添付スル素行調査ハ起訴、不起訴ヲ決定シ又ハ刑罰量定ノ資
料タルト同時ニ戸口簿照合濟ナル旨ノ證印ヲ爲スヲ以テ戸口抄本(又ハ
謄本)ヲ兼用セシムル極メテ重要ナル書類ナルヲ以テ之レカ作成ハ迅速
且ツ正確ニ取扱フヘキモノナルコトハ從來屢々訓示、通達等爲シアルニ
不拘近來其添付ナキモノ多ク殊ニ甚ダシキハ事件送致廳管内居住者ニ對
スル分ニシテ尙ホ記録送致後ニ追送スル向アリ或ハ他廳ヨリ作成送付方
照會ヲ受ケタルモノニシテ作成遲延シ事件處分(不起訴又ハ判決)後ニ
至リ追送シ來ル向アリ右ハ事件處理上差支不勝候條將來該調書ノ作成ハ
特ニ迅速ニ御取扱相成度

〔花連警〕

此段通達ス

追テ其管内支廳長へ直接通達濟ニ有之候

思想犯罪事件送致ノ際身上關係調書

添付ノ件

昭和六年二月

檢思發第六號臺北地方法院檢察官長通達

客年一月十七日設置サレタル檢察局思想部執務規程所定ノ左記犯罪事件ヲ送致ノ際ハ從來送致有之候素行調書以外ニ爾今別紙様式ニ依ル身上關係調書添付相成度

右通達ス

- 一 左傾思想運動ニ基ク犯罪(治安維持法、治安警察法違反ノ罪等)
- 二 刑法第二編第一章及第二章ノ罪
- 三 刑法第三百三十一條及其ノ未遂ノ罪
- 四 請願令違反ノ罪
- 五 出版犯罪(但シ朝憲紊亂、秩序擾亂、尊嚴冒瀆、思想ニ基ク風俗墮亂ニ限ル)
- 六 反動運動ニ基ク犯罪及反動團體員ノ犯罪(但シ後者ニ付テハ暴力行為等處罰ニ關スル法律違反ノ罪ニ限ル)
- 七 勞働運動並勞働爭議ニ基ク犯罪
- 八 農民運動並小作爭議ニ基ク犯罪
- 九 民族運動ニ基ク犯罪及民族運動團體員ノ犯罪(但シ後者ニ付テハ暴力行為等處罰ニ關スル法律違反ノ罪ニ限ル)

〔花蓮警〕

- 一〇 騒擾罪(但シ思想ヲ背景トスル騒擾罪ニ限ル)
- 一一 匪徒刑罰令違反ノ罪
- 一二 外國ノ政事ニ關スル結社加入ニ關スル府令違反ノ罪
- 一三 詭激思想懷抱者ノ犯シタル普通犯罪事件(詭激思想懷抱者ハ要視察人並之ニ準スヘキモノトス)

別紙様式

身上關係調書										
氏名	本居地	出生地	思想	系統	年月日	釋放	學歴	資産及生活	心身	刑罰

思推想	程過移	歴

〔花蓮警〕

犯罪事件簿記入方ノ件

明治四十五年三月 檢發第二四九五號臺北地方法院檢察官長通達

犯罪事件簿ハ事件ノ捜査ニ著手スルト同時ニ直ニ記入ヲ始メ各事項モ其都度之レカ記入ヲ爲スヘキ性質ノモノナルニ事件送致ノ際ニ及テ始メテ全部ノ記入ヲ爲ス向テ右ノ事件簿上欄ノ事件番號カ事件受理番號ヲ記入スヘキモノナルヲ事件送致番號ナリト誤解セルヨリ生スル結果ニ外ナラサルヲ以テ自今右様ノ誤解無之様致度此段及通達候也

被害物件還付請求ニ關スル件

大正一三年一月 花警保第一六四號ノ一警務課長依命通達

本件ニ關シ別紙寫ノ通其ノ筋ヨリ通達有之候條御了知ノ上右ニ依リ取扱ヒ相成度

右依命通達ス

控訴事件ノ處斷通知ニ關スル件

明治四二年四月 警發四五一三號警務課長依命通達

殖産局長通達 大正一三年一月 殖林第五九號 森林竊盜被害事件ニ關シ押收セラレタル物件ハ從來被害事件ノ終結後ニアラサレハ還付ヲ得サリシ關係上其ノ間材質腐朽シ使用ニ堪ヘサルカ又ハ著シク龜裂反張ヲ生ジ材價ヲ低下セシメタル事例尠カラサルニ思料セラレ候處新刑事訴訟法ノ實施ニ依リ假令事件終結前ト雖其ノ筋ノ決定ヲ得テ還付ヲ受ケ得ルコト、相成候條自今斯種ノ被害物件ニ付テハ可成速ニ還付ヲ得ラル、標御配慮相成度念爲

法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關スル犯則アリタル場合ノ處分方ニ關スル件

大正一五年六月 花警保第三二六六號ノ一警務課長通達

首題ニ關シ乙號臺中州知事ノ照會ニ對シ別紙甲號ノ通回答セル旨財務局長ヨリ通達有之候條爲參考

右通達ス

(別紙)

乙號

臺中州知事照會 (大正一五年五月中官稅第二二七九號)

法人犯刑ノ場合ニ於ケル被告ハ明治三十三年法律第五二號法人ニ於テ租稅及菓煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル件第二條ニ依リ法人ノ代表者トスヘキヤ刑事訴訟法第三十六條ニ依リ法人自體トスヘキヤ處理上疑義相生シ候條御指示相成度
右稟申ス

甲號

財務局長回答 (大正一五年六月財稅問第一三四號)

五月一日附中間稅第二二七九號ヲ以テ御照會首題ノ件ハ刑事訴訟法第三十六條ニ依リ法人自體ヲ被告トシテ處分相成度
右輕伺回答ス

●犯罪搜查ニ關スル件

昭和六年五月
花警保第二一七七號警務課長依命通達

司法警察官ハ原因ノ如何ヲ問ハス苟モ犯罪アリト思料スルトキハ直ニ搜查ニ著手シ而モ敏捷ニシテ機宜ヲ失セサルコトハ司法警察職務規程ニ依リ命シアル處ナルカ從來提出セラルル民情報告中犯罪事件ノ容疑アリ又ハ其伏在ヲ想像セラルルモノニシテ全然搜查ニ著手シ居ラサルモノ相當アリ之等ハ本廳ノ通牒ニ依リ始メテ搜查ニ著手セラルルモ時既ニ機ヲ失シ諸般ノ證據ノ擱滅、散佚等ヲ來シ爲ニ捜査上重大ナル不都合ヲ生スルニ至ルコト往々有之誠ニ遺憾ニ堪ヘス之レ事實ヲ認知シタル警察官吏ニ

〔花運警〕

於テ一片ノ高等報告ヲ以テ能事畢レリトシ事實ノ真相ニツキ更ニ一段ト突込ミタル搜查ヲ爲スノ熱心ヲ缺キ又刑事特務其他各方面トノ連絡ニ缺カル處アリ且之等ニ對スル監督者ノ指揮充分ナラサルニ因ル結果ニアラサルナキカト思料セラレ候條今後犯罪ノ容疑アル事由ニツイテハ敏捷ニ司法上ノ搜查ヲ爲スハ勿論犯罪ノ伏在ヲ想像セラルル諸般ノ聞込ミ、出版物ノ記事、無名ノ申告、落書、風説等アリタル際ハ刑事特務其他關係方面トノ聯絡ヲ緊密ニシ周密ナル用意ノ下ニ迅速ナル活動ヲ爲シ事實ノ眞偽ヲ究メ相當ノ根據アルコトヲ發見シタル際ハ直チニ司法捜査ニ著手シ證據擱滅等ノ違ナカラシムル標特ニ留意相成度
右依命通達ス

●犯罪報告勵行方ニ關スル件

昭和四年六月
花警保第二五〇二號警務課長依命通達

犯罪事件報告ニツイテハ大正十三年十二月二十七日警保第四九四六號犯罪搜查事務取扱ニ關スル件通達其ノ他ニヨリ夫々報告セラレ居リ候處最近右報告ニシテ著シク遲延スル傾向アリ尙同通達第三條第十一號公衆ノ耳目ヲ惹ク罪ノ報告ノ範圍狹キニ失シ殆ント報告ナキモノ多ク僅カニ新聞記事等ニヨリ其ノ一部ヲ窺知スルニ止マリ而カモ新聞記事タルヤ往々虛構又ハ誇大ノ點多ク記事其ノモノニ因リ反ツテ民心ヲ惑亂動搖セシムル等ノ虞アリテ新聞檢閲上不都合アルノミナラス犯罪搜查ノ統一ヲ期シ又ハ指揮監督上支障渺カラス候條尙今犯罪ノ性質、手段方法、犯罪者ノ身分、地位又ハ犯罪ノ結果等苟モ公衆ノ耳目ヲ惹クト認メラルル事件ハ

〔花運警〕

告訴事件タルト認知事件タルト將又事件ノ大小輕重トヲ問ハス洩レ無ク迅速ニ報告相成度
右依命通達ス

●犯罪事件取調ニ關スル件

明治三九年三月
警第四一八號警務課長依命通達

犯罪事件取調ニ際シテハ再犯以上ノ犯人ニシテ或ハ住所ヲ偽ハリ前科ヲ隱蔽シ刑ノ加重ヲ免カレントスル徒無之ヲ必シ難ク故ニ是等ノ點ニ付テハ深ク注意可被致等ニ有之候處今回別紙ノ通牒警察本署長ヨリ通牒ノ次第モ有之候條犯人取調ニ際シテハ一面犯罪人名簿ニモ留意シ還算ナキヤ期セラルヘク右依命此段及通達候也

(別紙)

警察署本署長通達 (明治三九年三月本保司乙第九六號)

犯罪事件取調ニ際シ犯罪人名簿ヲ参照セサル向モ有之此項報告ノ犯罪票ニ出生地不詳ト記入シアルモノニシテ犯罪人名簿ニ現然登記シアルモノアリ是等出生地ハ治罪上格別ノ影響ナキモノトスルモ再犯以上ノ犯人ニシテ前科ヲ隱蔽シ刑ノ加重ヲ免カレントスル徒無之ニ限ラサレハ犯罪人名簿ヲシテ一層活用セシムル標主務者ニ御注意相成度此段及通達候也

●恩赦ヲ受ケタル者再犯防止ニ關スル件

昭和二年七月
花警保第三三五號一警務課長依命通達

第三編 保安 第五章 司法 犯罪部 決

首題ニ關シ別記ノ通り總務長官ヨリ通達有之候條貴管内ニ於テ恩赦ノ御沙汰ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來再犯ニ陥ルカ如キコトナキ標平素嚴重ナル注意相成度
右依命通達ス

恩赦ヲ受ケタル者再犯防止ニ關スル件
昭和二年七月
官法第三八六號總務長官ヨリ廳長宛
聖旨ヲ體シ現ニ刑執行中ノ者及刑ノ執行ヲ了ハリ又ハ了ハラシテ釋放ニ改後ノ情顯著ナル者千餘名ヲ嚴選シ特別特赦ヲ上奏中ナル處其ノ御沙汰ニ預リタル者ニシテ將來萬一再犯ニ陥ルカ如キコトアリテハ寔ニ恐懼措ク所ヲ知ラサル次第ニ候凡ソ累犯防止ニ付テハ平素當ニ御留意相成居候儀ナルモ特ニ之等ノ者ニ關シテハ毫末遺憾ナキヤ期シタキニ付此際適當御配意相成度
右依命通達ス

●小兒同伴被告人送致取扱ニ關スル件

大正四年九月
宜檢發第一三九號宜關法院出張所檢察官代理通牒

貴廳送致ニ保ル姦通罪被告人ニシテ滿一年以上ノ小兒同伴ノモノ近頃兩度有之然ルニ之等被告ヲ勾留セントスルニ當リ監獄法ハ一年未滿ノ小兒攜帶ニ對シテテスラ收監許可ノ權ヲ監獄長ニ與ヘアリ仍テ當局ニ於テハ已ムヲ得ズ被告ヲ放還セントスルモ幾何ノ所持金モ無ク、且ツ直ニ浮浪ト

警察課長宛

斷スルコト能ハサルモノハ其處分ニ不審苦慮致候ニ付今後身柄送致ノ場
合ニ於テ右様ノモノ有之候節ハ事件ノ輕重等ヲ圖リ相當御配慮相成候様
致度候

犯人取調等ニ關スル件

大正一四年三月
花警保第九六五號ノ一警務課長依命通達
警察官吏ノ犯人取調並ニ職務執行ニ關シ別紙ノ通り臺中州知事ニ通牒致
置候趣其ノ筋ヨリ通牒相成候條監督上充分御注意相成度
右依命通達ス

犯人取調等ニ關スル件 (警務局長ヨリ臺中州知事へ)
三月五日大屯郡警察課ニ於テ刑事巡査極政策カ賭博犯人林井ヲ取調フ
ルニ方リ其取扱當ヲ失シ同人ヲシテ卒倒絶息スルニ至ラシメ爲メニ其
筋ノ取調ヲ受クルニ至リタルハ甚タ遺憾ニ堪ヘサル次第有之候犯人
取調ニ際シテハ最慎重ノ態度ヲ持シ苟モ其措置ヲ誤ルカ如キコトナキ
標度々訓達セラレアルヲ以テ從來此點ニ關シ監督上充分御留意ノコト
ト思料スルモ今回ノ如キ事案ヲ惹起スルニ至リタルハ畢竟下級警察官
吏カ訓達ノ趣旨ニ徹底セサルニ基因スルモノト被存候條此際更ニ警察
官吏ヲ戒飭シ斯カル失態ヲ再セサル様致度
右經伺ノ上通牒ス

追テ今回ノ事件ニ關シ一部ノ本島人ハ種々ノ手段ヲ講シテ警察ヲ批
議シ又ハ殊更ニ誹謗ヲ加ヘントスル如キモ警察官吏ニシテ是等外議
議シ又ハ殊更ニ誹謗ヲ加ヘントスル如キモ警察官吏ニシテ是等外議

ニ制セラレ公正ナル職務ノ執行ヲ遲延スルカ如キコトナキ様充分御
配慮相成度申添候

官公吏等ノ犯罪ニ關スル件

大正一三年四月
花警保第一一三號ノ一警務課長通牒
本件ニ關シ左記ノ通牒有之候條相當取締相成度
右通牒ス

警務局長通牒 (大正一三年三月警保第三七三號)
官公吏又ハ組合書記等ニシテ其職務ニ關シ犯罪ヲナスモノ尙抄カラス
而カモ犯人ノ多クハ内地、對岸等ニ逃走シ檢擧不可能ノ儘漫然捜査續
行中ニ屬スルノミナラス猶モ是カ續出ノ徴アルハ甚タ遺憾ニ不堪次第ニ
有之候是等犯罪ハ主トシテ綱紀ノ不振、財界ノ不況等ニ原由スヘキモ
一面豫防警察ノ實擧ヲサレニ因ルモノアルハ否定スヘカラサル事實ニ
シテ官公吏カ長期ニ涉リ料理屋ニ豪遊シ又ハ組合書記カ遊蕩ニ耽ルヲ
知ラス逃走又ハ新聞記事等ニヨリ始メテ公金又ハ集金等ヲ横領セラレ
タルヲ知り周章カ力手配ヲ爲スカ如キ事例皆然リ是等ハ臨檢視察又ハ
戸口實查ノ徹底ニ依リ事ヲ未然ニ防キ又ハ被害未タ大ナラサルニ艾除
スルヲ得ヘク假令犯人ヲ出スニ於テモ之カ檢擧ニ容易ナルヘキモノト
思料セラレ候將來部下警察官吏ヲ督勵シ視察ノ徹底ト捜査ノ嚴密トヲ
期セラレ度
右經伺ノ上通牒ス

犯罪搜查ニ關スル件

大正一四年二月
花警保第四六二八號ノ一警務課長通牒
本件ニ關シ左記ノ筋ヨリ通牒相成候條自今右ニ依リ部下職員ニ對
シ監督上御注意相成度
右通牒ス

警務局長通牒 (大正一四年二月警保第三〇五號)
犯罪ノ捜査ニ方リテハ秘密ヲ嚴守シ捜査上障害ヲ醸スカ如キコトナキ
様嚴ニ戒メサルヘカラサルニ不拘捜査從事者ニシテ動モスレハ捜査ノ
狀況ヲ局外者ニ口外シ又ハ手配書類ヲ披見セシメ捜査ノ經緯等委細新
聞紙ニ報導セラレ手配上甚シキ障害ヲ來ス虞アルコト往々有之候斯ノ
如キハ捜査秘密ノ原則ニ悖ルノミナラス職責上遺憾ノ次第ニ付將來斯
如コトナキ様監督上御注意相成度
右通牒ス

警察補助機關運用ニ關スル件

大正一五年二月
花警保第六六四號警務課長依命通牒
消防組、保甲壯丁團員等ヲ警察補助機關トシテ運用スルコトハ警察活動
上必要ト認メ候モ訓練未熟ナル此種ノ機關ヲ直チニ司法警察補助トシテ
犯罪捜査其他ニ單獨行動セシムルハ却テ問題ヲ惹起シ危險ノ伴フ虞モ有
之候ニ付特ニ指導上慎重考慮可相成
右依命通達ス

[花連警]

[花連警]

犯罪搜查手配ニ關スル件

昭和二年一月
花警保第五〇五四號警務課長依命通牒
犯罪搜查手配ノ遲延ハ檢擧ノ實績ニ至大ノ關係ヲ有シ特ニ敏速取扱ヲ要
スヘキニ往々其機ヲ逸シ且共助連絡ヲ缺ク嫌ナシトセス故ニ捜査手配ニ
關シテハ最モ迅速ニ部下一般警察官ニ告知スルハ勿論特ニ支廳所在地ニ
在リテハ内外勤全員ニ對シ指示セシムルハ一層效果アリト被認ニ付目今
犯罪其ノ他ノ捜査ニ關シテハ特ニ規定アルモノノ外左記ニ依リ手配相成
度
右依命通牒ス

- 左記
- 一 廳下ニ發生シタル事件及他官廳ヨリ通報照會ニ係ルモノニシテ重
要又ハ參考ト認ムル事件ハ點檢後監督者ニ於テ捜査ノ要領ヲ指示
シ受調者ノ手帳ニ筆記セシムルコト
 - 二 支廳ニ在リテハ調授録中口座ヲ設ケ左記様式ニ依リ前項調授ヲ爲
シタル都度記載整理スルコト

様式

月	日	件名	犯罪日 時場所	被害者又ハ被疑者ノ 本籍住所氏名年齢	摘要	調授者 氏名
---	---	----	------------	-----------------------	----	-----------

警察事報規程

大正一一年七月
應訓令第六號
大正 大正一二年應訓令第一二號、一三年訓令第四號、昭和七年訓令第七號

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

- 第一條 警察事報ハ警務課ニ於テ之ヲ調製シ支廳、警察官吏派出所及別ニ指定シタル警察官吏駐在所ニ配付スヘシ
- 第二條 警察事報ニ登載スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 行政及司法警察上ノ捜査注意並其ノ解除ニ關スル事項
 - 二 警察取締諸營業ニ關スル事項
 - 三 銃砲火藥類ニ關スル事項
 - 四 阿片吸食特許者ニ關スル事項
 - 五 傳染病ニ關スル事項
 - 六 刑法上ノ犯罪件數
 - 七 即決官取扱犯罪件數
 - 八 保甲ノ懲罰及過意處分
 - 九 外動巡查取扱ノ警察事故
 - 十 其ノ他警察上ノ參考事項
- 第三條 警務課及支廳ニ警察事報主任ヲ置キ警務課長又ハ支廳長之ヲ命ズ
- 警察事報主任ハ事報登載材料ノ蒐集原稿ノ作製其ノ他事報ニ關スル庶務ニ從事ス
- 事報主任ノ下ニ補助者ヲ置クコトヲ得
- 第四條 警務課長又ハ支廳長警察事報主任若ハ補助者ヲ命ズシタルトキハ相互通報スヘシ
- 第五條 警察事報及警察事報原稿ハ別記様式ニ依ルヘシ但シ第二條第十號ノ事項ニ付テハ適宜様式ヲ用フヘシ
- 第六條 支廳警察事報主任ハ第二條第一號乃至第五號ニ該ル事項ニ付テ

〔花蓮管〕

ハ毎日之ヲ取纏テ原稿ヲ作成シ翌日中ニ警務課ニ送付スヘシ
 第二條第六號乃至第十號ニ該ル事項ニ付テハ一月分ヲ取纏翌月十日迄ニ警務課ニ送付スヘシ

第七條 警務課警察事報主任ハ支廳ヨリ送付ノ原稿及他州廳ヨリ照會又ハ通知ニ依ル事報ニ登載スヘキ事項ヲ取纏速ニ調製配付ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 警察事報ハ警察職員以外ノ者ニ閱覽セシムルコトヲ得ス

附則
 本令ハ大正十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

警察事報第 號 大正 年 月 日 花 蓮 港 廳

別記様式

第一、行政及司法警察上ノ捜査注意並其ノ解除

種別	摘要	本籍(居)所	氏名	年齢
年月日	許可	營業名	屋號	姓名
番號	營業名	又ハ別名	摘要	住所
				氏名
				年齢

第二、警察取締諸營業ノ異動

年月日	許可	種類	製造	又ハ	摘要	住所	氏名	年齢
年月日	鑑札下付	鑑札番號	摘要	住所	氏名	年齢		
年月日	鑑札番號	摘要	住所	氏名	年齢			

〔花蓮管〕

事記

合	計	其	他	横	領	恐	喝	詐	欺	強	盜	強	盜	傷	害

作成例

- 一 本表ハ毎年更新スルモノトス
- 二 罪名ハ明治四十二年覆檢發第二百八十七號覆審法院檢察官長訓令刑法上ノ犯罪名稱例ニ依ル
- 三 件數ハ罪名個數トス但シ刑法第五十四條及同第五十五條ノ場合ニアリテハ罪名ノ個數又ハ行爲ノ個數ニ依ル
- 四 檢舉關ハ其月ニ於テ事件ヲ檢察局ニ送致シ又ハ微罪處分ヲ爲シ或ハ他官署ニ送致シタル事件ノ件數ヲ記入スルモノニシテ概ネ左記ニ依リ取扱フヘシ
 - (イ) 起訴中止意見ニテ檢察局ニ送致シタルモノハ未檢舉トス
 - (ロ) 前項ノ事件ハ犯人判明及犯人ノ所在判明又ハ眞犯人ト認メラルル

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

年月日	許可	種類	製造	又ハ	摘要	住所	氏名	年齢
年月日	鑑札下付	鑑札番號	摘要	住所	氏名	年齢		
年月日	鑑札番號	摘要	住所	氏名	年齢			

第三、銃砲火藥類所持許可者ノ異動

第四、阿片吸食特許者ノ異動

第五、傳染病

發生年月日	病名	治療場所	轉歸	住所	氏名	年齢

第六、刑法上ノ犯罪件數

支廳	罪名	受理	檢舉	一月	ヨリ	累計
殺	賭	博	人			
				受理	檢舉	未檢舉

- (ロ) 共犯者ノ一部ヲ檢舉シ一部尙未檢舉ノトキハ檢舉トシテ取扱フヘシ但シ之カ爲中止事件トシテ取扱ヒタルトキハ前號ニ依リ取扱フモノトス
- (ハ) 前年以前ノ受理ニ係ルモノヲ檢舉シタルトキハ檢舉欄ニ朱書別記スヘシ
- (ニ) 檢舉件數ト未檢舉件數トノ計(朱書ヲ除ク)ハ受理件數ト一致スルモノトス

第七、即決官取扱犯罪件數

大正 年 月

總計	合計	違警例違反	行政諸規則違反	暴行	賭博	支應罪名	本月			中			果						
							受理	處	有罪送致	其ノ他	計分	受理	處	有罪送致	其ノ他	計分			
																	計	分	計

(花蓮管)

- 六 受理當時ノ罪名、件數ニ相違アルコト判明シタルトキハ判明ノ月ニ於テ相當整理シ記事欄ニ左ノ例ニヨリ記入スヘシ
- (イ) 何月分受理積領中一件ハ詐欺一件ナルコト判明ニ付本月分ニ於テ整理済
- (ロ) 何月分受理窃盜中一件ハ虚偽ノ届出ナルコト判明ニ付本月分ニ於テ整理済
- (ハ) 何月分受理其他中一件ハ三件ノ誤記ニ付本月分ニ於テ整理済

第八、保甲ノ懲罰及過意處分

(花蓮管)

大正 年 月

支應保名	事由	件數	人員	金額	摘要
合計					

第九、外勤巡查取扱ノ警察事故

大正 年 月

說	種別	花 蓮 支 廳		玉 里 支 廳		研 海 支 廳		計	
		内地人 本島人	外國人	内地人 本島人	外國人	内地人 本島人	外國人	内地人 本島人	外國人
衛生上ニ係ル	衛生上ニ係ル								
風俗上ニ係ル	風俗上ニ係ル								
交通上ニ係ル	交通上ニ係ル								
營業上ニ係ル	營業上ニ係ル								
亂 醉 者	亂 醉 者								
爭 論 者	爭 論 者								
危險ノ所爲	危險ノ所爲								

無頼ノ徒																				
乞食ノ徒																				
其ノ他																				
計																				

注 意 種 別 所 轄 別	花	玉	研	計
	蓮	里	海	
衛生上ニ係ル (第九表ニ同シ)	花	玉	研	計
	支	里	海	
(第九表ニ同シ)				

救護又ハ保護 シ ラ ム ト セ	家			船			種 族	官 警 察 =	人 民 =	官 民 =	計
	内地人	本島人	外国人	内地人	本島人	外国人					
救護又ハ保護							花				
							蓮				
							支				
							應				
							玉				
							里				
							支				
							應				
							研				
							海				
							支				
							應				
							計				

〔花蓮管〕

〔花蓮管〕

殺サレムトセ シ人	人			傷セラレシ人	傷セシ人			自殺セムトセ シ人	失火、放火、不 審火、雷火等 ヲ消止メシ家
	内地人	本島人	外国人		内地人	本島人	外国人		
殺サレムトセ									

延焼ヲ消止シ			瘋癲者			途上ニ發病セシ人			迷兒			棄兒		
外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人

〔花蓮警〕

計										其ノ他			發狂者	
人		船			家					外國人	本島人	内地人	外國人	本島人
外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	内地人	外國人	本島人	

〔花蓮警〕

警察事報資料ニ關スル件

昭和五年七月 花警保第二七一〇號警務課長依命通達

從來各支廳ヨリ送付ニ係ル警察事報資料中盜難事件ニ關スルモノハ其ノ一部ニ過キス搜查上遺憾アリシヲ以テ各支廳搜查上ノ相互連絡ニ資スル爲メ盜難事件ハ總テ警察事報ニ登載スルコトニ相成候條自今盜難事件發見ノ實況見分ヲ了シ犯人就捕ニ至ラサル際ハ事件ノ大小輕重ニ係ラス別

紙様式ニ依リ書面又ハ電話ニ依リ迅速ニ警務課へ通報相成度
右依命通達ス
尙事件ノ性質其ノ他ニヨリ捜査上警察事報ニ登載セサルヲ相當ト認メ
タルトキハ其ノ旨附記相成度
別紙様式

種別		要	
盗	難	被	害
日	時	所	業
被害金品ノ種類、 形状、數量、價格	被害状況、手口	被疑者	参考事項
場所	日時	職業	住所
被害金品ノ種類、 形状、數量、價格	被害状況、手口	被疑者	参考事項
場所	日時	職業	住所
被害金品ノ種類、 形状、數量、價格	被害状況、手口	被疑者	参考事項
場所	日時	職業	住所
被害金品ノ種類、 形状、數量、價格	被害状況、手口	被疑者	参考事項
場所	日時	職業	住所

〔花蓮警〕

警察事報資料ニ關スル件

大正一四年一月
花警保第四一八號警務課長依命通達
各支廳ヨリ提出セラル、警察事報資料中捜査及解除ノ事由簡略ニ失スル
モノ有之處理上支障候條今捜査ニ關シテハ加被害又ハ巡走年月日、場
所、人相、著衣、盜難遺失品ノ見積價格其他捜査ヲ要スル事由ヲ解除ニ
關シテハ發見年月日、場所、檢舉者職氏名其他解除ノ事由ヲ記載送付相
成度
右依命通達ス

警察事報ニ關スル件

昭和五年七月
花警第二八六三號警務課長通牒
警察事報ハ事件ノ處理ヲ迅速ニシ經費其ノ他ノ關係上追テ一部改正セラ
ルベキ筈ナルモ當分左記ニ依リ調製配付候條
右通達ス

左記

- 一 從來ノ印刷ヲ全廢シ之レヲ謄寫ト爲ス
- 二 事報ヲ甲乙號ノ二種ニ分チ
甲號ハ廳下ニ於ケル發生事項ノ全部ヲ登載シ之レヲ各州廳及管内
各支廳へ各々所要部數配付ス（本號ハ從來ノ警察事報ニ編綴ス
ベシ）
乙號ハ他州廳ノ事項ヲ登載シ之レヲ各支廳へ所要部數配付ス（本

〔花蓮警〕

號ハ從來ノ警察事報以外ニ別ニ編綴スベシ

警察事報ニ關スル件

昭和六年一〇月
花警第四二五三號警務課長通牒
他州廳ヨリ照會、通報ニ係ハル行政及司法警察上ノ要調査、注意事項ニ
關シテハ其ノ都度警察事報乙號へ登載セラレ居候處之カ處理上必要有之
候ニ付爾今同號登載ノ分中實支廳ニ於テ檢舉、發見ヲ爲シタル場合ハ左
記様式ニ依リ其ノ都度報告相成度
右通達ス

左記

種別	事報登載 年月日 及番號	檢舉又ハ 發見年月日	被檢舉者及被發見者ノ 住所氏名年齢

火災事件司法捜査ニ關スル件

昭和五年二月
花警保第七五〇號警務課長依命通達
建造物、汽車、船舶、其ノ他ノ物件及森林、原野、山岳等ノ火災事件ハ
大正九年十一月花保第九八一六號火災即報及詳報ニ關スル件、大正九年
二月花保第八三〇號森林原野及山岳ニ於ケル被害報告方ノ件通達ニ依リ

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

中止事件取扱ニ關スル件

大正八年四月
檢發第一三五七號臺北地方法院檢察官長通達
中止事件ノ被告人ヲ發見シタル場合及同事件ノ證據物件ノ取扱區々ニ涉
ルノ據ヒアルヲ以テ自今左記ニ依リ取扱可相成此段及通達候也

記

- 一 中止事件ノ被告人ヲ發見シタル場合ニハ其旨速ニ檢察官ニ報告シ事
件急速ヲ要シ且ツ被告人逃走ノ虞アル時ニ限り直ニ令狀ヲ請求シ又ハ
身柄同行スヘシト雖（中止事件取扱規程第七條）若シ司法警察官カ犯罪
事實ヲ熟知シ居リ進シテ事件ノ内容ニ付取調ヲ爲シ證據ヲ蒐集スルヲ
便宜ナリト思料シタル時ハ捜査著手ノ旨ヲ檢察官ニ報告シ直ニ捜査ヲ
進行スヘシ此場合ニ於テハ更ラニ犯罪事件簿ニ登錄シ新ナル事件トシ

テ送致ノ手續ヲ爲スヘシ尙此場合ノ送致書ニハ其備考欄ニ「中止事件再送致」ノ旨ヲ記入セラルヘシ

二 中止意見ヲ以テ事件ヲ送致スル場合ニ證據物件ヲ屬、支廳ニ保管シ又ハ假下還付ヲ爲ス向アルモ右ハ必要ナル證據品ニ限り可成檢察局ニ送致スルノ方針ヲ採ルヘシ

●未檢舉重要犯罪處理規程

大正十一年七月
廳訓令第七號

- 第一條 本令ニ於テ未檢舉重要犯罪ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該ル事件ニシテ其ノ發生當時ヨリ一月内ニ檢舉シ能ハサル犯罪ヲ謂フ
- 一 放火ノ罪
 - 二 通貨偽造ノ罪
 - 三 殺人ノ罪
 - 四 強盜ノ罪
 - 五 被害額百圓以上ノ竊盜詐欺及恐喝ノ罪
 - 六 其ノ他社會ノ耳目ヲ惹クヘキ重要犯罪
- 第二條 支廳ニ於テハ別記第一號様式ノ未檢舉重要犯罪捜査簿（以下單ニ簿）ヲ調製シ事件ニ付キ其ノ都度記載整理スヘシ
- 第三條 支廳ニ於テ新ニ捜査簿ニ登録シタル事件アリタルトキハ其ノ副本ニ通テ作成シ一通ハ警務課ニ送付シ一通ハ受持巡査又ハ刑事巡査ニ交付スヘシ
- 第四條 受持巡査又ハ刑事巡査捜査簿副本ノ交付ヲ受ケタルトキハ交付

〔花蓮警〕

ヲ受ケタル順序ニ依リ編綴シ捜査ノ都度其ノ要領ヲ記入シ且ツ毎月別記第二號様式ニ依リ捜査ノ經過ヲ翌月五日迄ニ支廳ニ報告シ支廳ハ捜査簿ヲ整理ノ上同様式ニ依リ十日迄ニ警務課ニ通報スヘシ

第五條 警務課ニ於テ支廳ヨリ捜査簿副本ノ送付ヲ受ケタルトキハ受理ノ順序ニ依リ之ヲ編綴シ爾後支廳ヨリ捜査ノ經過ニ付通報アリタル都度記載整理スヘシ

第六條 捜査簿登録ノ事件ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ速ニ捜査簿及其ノ副本ニ記入整理ノ上之ヲ警務課ニ通報スヘシ

- 一 檢舉シタルトキ
- 二 公訴權消滅シタルトキ
- 三 公訴ノ時效中斷シタルトキ
- 四 捜査上參考トナルヘキモノヲ發見シタルトキ

第七條 (削除)

第八條 監視區監督ノ警部、警部補及巡査部長ハ隨時受持巡査ヲシテ捜査簿副本ヲ提出セシメ捜査ノ方法手段ヲ指示スル等之カ檢舉ニ努ムヘシ

第九條 支廳長其ノ所轄外ニ於ケル第一條記載ノ犯罪ニシテ捜査ノ指揮囑託照會又ハ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ本規程ニ準シ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ニ於ケル第一條記載ノ犯罪事件ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ二箇月内ニ捜査簿及副本ヲ作成シ同時ニ其ノ副本ヲ警務課ニ送付スヘシ
大正十三年十月花蓮港訓令第三十五號ハ之ヲ廢止ス

第一號様式 (用紙半紙)

年月日	檢印	搜	査	要	領	實事罪犯		官臨 氏名	臨檢年月日	犯罪日時	犯罪場所	被害者住所 氏名職業 年 齡	被害者姓名 格犯人又ハ 被疑者ノ住 所氏名年齡 相	證據品	時效年月日	結 終		
						結	中									其ノ他		

〔花蓮警〕

第二號様式 (用紙半紙)

罪 名	被害者氏名
犯罪年月日	犯人又ハ被 疑者ノ氏名
搜	査
要	領

●未檢舉犯罪捜査續行ニ關スル件

大正一四年二月
花警保第六六六號警務課長依命通達

警察官吏派出所(駐在所)又ハ刑事巡査ハ大正十一年七月六日廳訓令第七號未檢舉重要犯罪處理規程ニ依ルノ外自今同規程ニ準據シ其ノ部内ニ發生シタル被害額百圓未滿ノ竊盜詐欺事件ノ捜査續行簿ヲ備ヘ事件別ニ登録シ捜査ヲ續行セシメ之等未檢舉犯罪ニ對スル捜査ノ綿密ヲ期シ檢舉ノ實ヲ擧クルコトニ努メラルヘク右依命通達ス

●事件ヲ不起訴處分ニ附スル場合ニ關スル件

昭和六年七月
宜檢發第 號臺北地方法院宜蘭支部檢察官通牒

爾今事件ヲ不起訴處分ニ附スル場合ハ左記ノ意見ヲ附シ送致相成度及通

詳候也

左記

- 一 起訴猶豫 繼續觀察ノ要アルモノハ此旨附記スルコト
- 二 微罪
- 三 嫌疑不充分
- 四 刑事未成年者
- 五 時効完成
- 六 親告罪ノ告訴取消、同缺如、同無效
- 七 被疑者死亡
- 八 確定判決アルモノ
- 九 中止
- 一〇 其他(刑ノ廢止、大赦、免刑、處罰不要)

●逮捕狀執行ニ關スル件

昭和六年九月
檢發第七〇六九號臺北地方法院檢察官長通牒

從來勞役場留置ノ爲檢察官ノ發シタル逮捕狀ハ往々等閑ニ付セラルル向有之爲ニ空シク執行ノ時期ヲ逸シテ遂ニ逮捕困難ニ陥リ或ハ漫然時効完成ニ至ラシムルカ如キ事例乏シカラス候處斯クテハ刑罰本來ノ目的ニ反スルハ勿論事務ノ進捗、整理ニ甚ダシキ支障ヲ來シ候ニ付今後之カ執行方ニ關シ特段ノ御留意相成度尙今後毎月五日迄ニ別紙様式ニ依リ逮捕狀發付應ニ對シ逮捕狀受理後ノ經過報告相成度此段及通牒候也
追テ現在未報執行ノ逮捕狀ニ對シテハ本月二十五日迄ニ一應其經過報

〔花蓮警〕

告相成爾後本文ニ依リ毎月報告相成度申添候
別紙様式 (用紙美濃紙)

昭和 年 月 日

官 氏 名

宛 名 (臺北地方法院檢察官長又ハ新竹支部上席檢察官又ハ官
關支部檢察官)

逮捕狀受理後ノ經過報告

罪名	裁判確定時効完成年月日	被告人氏名	逮捕年月日	經過

●在郷軍人犯罪事件ニ關スル件

大正一四年四月
花警保第一三二二號警務課長依命通達

在郷軍人ノ犯罪事件ニ付テハ自今取扱ノ都度左記様式ニ依リ報告可相成
追テ大正四年十二月二十日花警保第九一四七號通達在郷軍人犯罪取扱ノ場合花警港憲兵分隊長宛通報ノ件ハ廢止ス
左記

〔花蓮警〕

●即決以外ノ犯罪檢舉成績ニ關スル件

大正一四年六月
花警保第二〇二五號警務課長依命通達

調査上必要有之候條即決以外犯罪檢舉成績ヲ自今別記様式ニ依リ調査翌月五日迄ニ報告相成度
右依命通達ス
別記様式

犯罪種別	犯罪ノ月日	檢舉月日	被害高	檢舉者氏名	年月分

●司法事件處理ニ關スル件

大正一四年六月
花警保第二〇二九號警務課長依命通達

調査上必要有之候條司法事件ヲ受理シ送致ニ至ル期間ヲ左記様式ニ依リ調査翌月五日迄ニ報告相成度右依命通達ス
(様式)

犯罪種別	取調日數	取扱官氏名	年月分

備考 三ヶ月以上經過シタル事件ニ關シテハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スヘシ

罪名及刑期又ハ金額	原籍	現住所	役種官等	氏名	摘要

注意

- 一 在郷軍人ニハ陸海軍未教育補充兵ヲ含ム
- 二 犯罪事件ニハ拘留科料ヲ含ム
- 三 摘要欄ニハ前科罪名刑期又ハ金額ヲ記載スルコト

●精神病患者ニ關スル犯罪通報方ノ件

大正一五年
花警保第二三二三號一警務課長依命通達
精神病患者保護取締上ノ資料ニ供シ度候趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ通牒(大正十五年五月十日警務局長通達)有之候條自今精神病患者ニ對スル犯罪ハ總テ其ノ處分完了ヲ俟テ左記事項報告相成度
右依命通達ス
追テ本年一月以降現在ニ至ル間該當事犯ハ此ノ際取獲メ本月末日迄ニ報告相煩度
記

- 一 被疑者又ハ被害者タル精神病患者ノ本居、住所、職業、氏名、生年月日
- 二 犯罪原因
- 三 犯罪ノ内容詳細
- 四 處分ノ結果
- 五 當該精神病患者ノ病狀
- 六 當該精神病患者ニ對スル平素監護ノ狀況

● 指紋取扱手續

大正一五年八月 花警保第四三八二號通達

昭和三年花保第七五六號

- 第一條 指紋取扱ハ大正十三年總督府訓令第十一號指紋取扱規程（以下單ニ規程ト稱ス）ニ依ルノ外本手續ニ依ルヘシ
- 第二條 左ニ掲クル者ニ對シテハ別記第一號様式ノ指紋原紙ニ指紋ヲ押捺セシムヘシ
 - 一 收容シタル刑事被告人又ハ被疑者ニシテ有罪意見ヲ附シ事件ヲ法院ニ送致スヘキ者
 - 二 罰金以上ノ刑ノ即決言渡ヲ受ケタル者
 - 三 拘留又ハ科料ノ即決言渡ヲ受ケタル者ニシテ罰金以上ノ前科ヲ有スル者
 - 四 拘留囚ニシテ一定ノ住所生業ナキ者
 - 五 不良少年ニシテ犯罪嫌疑ノ爲取調ヲ受ケタル者
 - 六 其ノ他必要ト認ムル者
- 第三條 指紋ハ支廳ニ於テ之ヲ押捺セシメ其ノ都度別記第二號様式ノ指紋名簿ニ記載スヘシ
- 第四條 前條ニ依ル指紋原紙ハ警務課ニ於テ之ヲ整理シ保存スヘシ
- 第五條 警務課ニ於テハ指紋原紙ニ基キ別記第三號様式ノ氏名索引簿ヲ調製シ整理スヘシ
- 第六條 指紋ヲ押捺セシメタル者ニシテ曩ニ押捺セシメタル者ナルトキハ左ノ區別ニ從ヒ處理スヘシ
 - 一 創傷其ノ他ノ事由ニ依リ曩ニ押捺セシメタル印象ト差異アルトキハ後ノ指紋原紙ニ所要ノ記載事項ヲ轉記シタル上前ノ指紋原紙ハ之ヲ廢棄スヘシ
 - 二 曩ニ押捺セシメタル印象ト差異ナキトキハ前ノ指紋原紙ニ新ナル犯罪ニ對スル受刑事項ヲ追記シタル上後ノ指紋原紙ハ之ヲ廢棄スヘシ
- 第七條 指紋ヲ押捺セシメタル者死亡シタル確證ヲ得タルトキハ其指紋原紙ヲ廢棄スヘシ
- 第八條 第二條第一號ノ指紋原紙ニシテ警務課ニ送付後處斷通知アリタルトキハ指紋名簿ヲ整理シ別記第四號様式ニ依リ警務課ニ通報スヘシ
- 第九條 規程第七條ニ依リ支廳ニ於テ指紋原紙及氏名索引ヲ法務課ニ送付スルトキハ警務課ヲ經由スヘシ
- 第十條 規程第七條ニ依リ支廳ニ於テ保管スヘキ指紋原紙及氏名索引ハ當分ノ内警務課ニ於テ保管スヘシ
- 第十一條 規程第十條及第十二條ニ依リ支廳ニ於テ前科又ハ偽名發見ノ通知ヲ受ケタルトキハ警務課ニ通報スヘシ
- 第十二條 第八條及前條ノ通報事項ハ警務課ニ於テ當該指紋原紙ニ記入スヘシ
- 第十三條 指紋ノ評價ハ當分ノ内警務課ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 第十四條 指紋番號ハ第五號様式ニ依リ支廳ニ通報スヘシ
- 第十五條 支廳ニ於テハ前項ノ通報ニ依リ指紋名簿及犯罪人名簿ニ記入スヘシ
- 第十六條 規程第十四條ニ依リ支廳ニ於テ法務課ニ指紋ノ對照ヲ求ムル場合ハ警務課ヲ經由スヘシ
- 第十七條 規程第十六條第二項ニ依リ支廳ニ於テ法務課ニ通知スヘキ事項ハ其ノ事實ノ有無ニ拘ラス毎月分ヲ翌月五日迄警務課ニ通報スヘシ

〔花選警〕

別記第一號様式（用紙 洋紙橫六寸五分 整七寸八分）

〔花選警〕

氏名		男	年	生 日			指紋番號	左	右		
假名		女	齡	年	月	日	示	中	環	小	拇
左	手	示	中	環	小	拇	示	中	環	小	拇
		示									
左 手						右 手					
指紋特徵											
作成官廳及年月日										檢 印	
										作成者印	

裏面

左手示指	自	本地籍	住所	職業	種族	備考	判決ヲ受ケタル氏名	罪名	刑名刑期	言渡年月日	刑起算日	言渡官廳	執行官廳	釋放年月日及事由
		住出生地	備考				備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	
		備考	備考				備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	
		備考	備考				備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	

受

刑

事

項

〔花蓮警〕

第二號樣式 (用紙美濃紙)

通行	指紋採取	指紋番號	罪名	及處斷	官廳	住	所	氏	名	年齡	備考
番號	年月日			年月日結果	廳渡						

〔花蓮警〕

第三號樣式 (用紙美濃紙)

氏名	指紋番號	備考

第四號様式 (用紙美濃紙)

大正 年 月 日		支廳	
花連港廳警務課御中			
指紋原紙記入罪刑通報			
氏名	指紋原紙送付年月日番號	罪名	刑名
			刑期
			言渡年月日
			官廳

第五號様式

花連港廳 號
大正 年 月 日
支廳御中

花連港廳警務課
(月分)

氏名	番號	氏名	番號
	左		左
	右		右
	左		左
	右		右
	左		左
	右		右

指紋原紙取扱心得及記載例

大正一一年六月
花警保第二三三六號廳長通達

- 指紋原紙ハ編綴スヘカラス
- 一回轉押捺ハ出來得ル限リ指頭ヲ回轉シテ押捺セシムルモノトス
- 印象不鮮明ナキトキハ更ニ上部ノ餘白ニ押捺セシムヘシ
- 平面押捺ハ指ヲ除キ他ノ四指ヲ同時ニ押捺セシムルモノトス
- 原紙裏面左手示指ノ欄ハ回轉押捺セシムルモノトス
- 指紋押捺ノ順序ハ原紙表面左手回轉押捺、右手回轉押捺、右手平面押捺、左手平面押捺ヲ經テ裏面左手示指ノ回轉押捺ニ終ルヲ例トス
- 回轉押捺ハ左手右手ヲ間ハス示指ヨリ始マリ中指、環指、小指ヲ經テ指ニ終ルモノトス
- 指紋ヲ押捺セシメタルトキハ裏面自署氏名欄ニ氏名ヲ自署セシムヘシ若自署スルコト能ハサルトキハ之ヲ代署シ其ノ旨ヲ附記スヘシ
- 原紙表面氏名欄ニハ令狀、送致書又ハ言渡書ノ氏名ヲ記入スヘシ緯名又ハ異名ヲ有スルトキハ裏面別名欄ニ記載スヘシ
- 氏名ニハ片假名ヲ以テ假名欄ニ傍訓ヲ附スヘシ
- 男女欄ニハ不用ノ一字ヲ抹消スヘシ
- 一番號欄ハ指紋原紙ノ番號ヲ記載スヘシ
- 二種ノ微證トナルヘキ指紋ハ指紋特微欄ニ記載スヘシ
- 三指紋原紙ノ作成終リタルトキハ相當欄ニ作成ノ年月日及其ノ場所ヲ記入シ作成者自署又ハ認印スヘシ
- 四指紋ヲ分類シタルトキハ其ノ年月日ヲ記入シ検査欄ニ検査者自署

〔花連警〕

〔花連警〕

又ハ認印スヘシ

- 本居地欄ニハ本居又ハ本籍ヲ記入スヘシ例之花連港廳平野區軍威五番戸ト記入スルカ如シ
- 住所欄ニハ現在地ヲ出生地欄ニハ出生地ヲ記入スヘシ
- 職掌欄ニハ逮捕當時ノ職掌名ヲ記入スヘシ若職掌數種アルトキハ其ノ主ナルモノヨリ順次ニ記入スヘシ
- 種族欄ニハ内地人、福建人、廣東人等其ノ種族ヲ記入スヘシ
- 受刑事項欄ニハ判決ヲ受ケタル當時ノ氏名、罪名、刑名、刑期、言渡年月日及言渡官廳名ヲ記載スヘシ現犯欄ニハ現犯ニ就テ之ヲ記載スヘシ
- 備考欄ニハ指紋ノ缺損、不具又ハ疾病若ハ負傷ノ爲指紋ヲ押捺セシムルコト能ハサル場合又ハ此等ノ事故ニ依リ不整ノ印象ヲ生セシ場合或死亡ノ場合等ニ付其ノ事實ヲ記載スヘシ前科又ハ司法警察事項ニ付キ參考トナルヘキ事項亦同シ

指紋事務ニ關スル件

昭和三年六月
花警保第二七五五號ノ一警務課長通達

首題ニ關シ別記ノ通照會有之候條大正十五年八月十六日付花警保第四三八二號通達指紋取扱手續第九條參照施行相成度
右通達ス

(別記)

指紋事務ニ關スル件 昭和三年六月
法第一七七七號法務課長ヨリ照會

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

指紋原紙取扱心得及記載例

大正一一年六月
花警保第二三三六號廳長通達

- 左記各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ自今無漏指紋原紙及氏名索引各一通ヲ直ニ當課ニ送付スル機體管內ノ警察官署ヘ其ノ勵行方御配慮相煩度此段及照會候也
- 臺灣監獄令第三條及監獄法第一條第三項ノ規定ニ依リ懲役ノ刑ヲ執行スル場合
- 臺灣阿片令第十七條ノ規定ニ依リ懲役ヲ換金シタル場合、但シ刑務所ニ於テ懲役ノ執行中其ノ幾分ノ換金ニ依リ釋放セラレタル者ハ之ヲ除ク

犯罪捜査上指紋利用ニ關スル件

大正一三年七月
花警保第二四三九號ノ一警務課長通達

犯罪捜査上指紋ノ利用方ニ關シテハ相當御配慮相成居候コトト思料候得共今般別紙ノ通達ニ次第モ有之候條將來一層之カ利用方督勵相成度
右通達ス

(別紙)

警務局長通達 (大正一三年六月警保第五九四號ノ三)
大正七年以降指紋ニ依リ犯罪ヲ檢舉シタルモノ及包藏前科又ハ偽名ヲ發見シタルモノ別表ノ通ニシテ臺北州ヲ除キテハ成績未タ充分ト認め難ク捜査上遺憾ノ次第ニ有之候科學ヲ犯罪捜査ニ利用スルコトノ殊效アルハ一般ノ認ムル處殊ニ指紋ノ利用ノ如キハ其ノ最モ特殊ナルモノニシテ之カ利用ノ巧拙ハ犯人檢舉上致大ノ影響ヲ及ホスモノニ有之從

來犯人檢擧ノ數極メテ寡少ナルハ其利用充分ナラサルニ因ルモノニシテ捜査上注意ヲ要スヘキモノト思料ス然レトモ指紋ノ利用ハ臨檢ノ巧拙及犯罪現場ノ保全ト雖ルヘカヲサレ關係ヲ有スルモノニ有之其ノ現場完全ニ保存サレ臨檢時機ヲ失セス周到ナル觀察ト緻密ナル檢索トヲ遂ケ得ラルルニ於テハ探證上得ル處大ニ現場指紋ノ採取等亦容易ナルヘク檢擧成績ニ及ホス影響蓋シ大ナルモノアルヘシト思料候餘是等ニ關シ將來捜査上充分ノ督勵ヲナシ事ニ臨ミテ運算ナキ様御手配相成度
右通牒ス
(別表省略)

指紋對照ニ關スル件

昭和三年九月
花警保第四六七八號警務課長依命通牒
首題ニ關シ別紙寫ノ通司法省刑事及行刑兩局長ヨリ照會アリタル趣ヲ以テ警務局長ヨリ通牒有之候條爾今右ニ依リ取扱相成度
右依命通牒ス
(別紙)

指紋對照ニ關スル件

昭和三年九月
行甲第一五二九號司法省刑、行兩局長ヨリ警務局長宛
犯人前科ノ有無調査ノ爲貴管下各廳ヨリ當省指紋部ニ對シ指紋對照方照會アリタルモノニ對シテハ從來釋放後十年以上經過原紙ニ付テモ其

(花運警)

對照ヲ爲シ居リ候處指紋事務能率増進上今後ノ指紋對照ハ特ニ必要アル場合ヲ除クノ外釋放後十年以上經過原紙ニ付テハ行ハサルコトニ決定候條其貴管下各當局ヘ御達相成度此段及御依頼候
追テ釋放後十年以上經過原紙ニ付テモ其對照ヲ求メラルル場合ニハ其旨該原紙ニ明記相成様致度爲念申添候

傳染病者ニ對スル指紋原紙消毒ニ關スル件

昭和三年五月
花警保第二四四三號警務課長通牒
首題ニ關シ別記ノ通り其筋ヨリ通牒有之候條取扱上相當注意相成度
右通牒ス
(別記)

傳染病者ニ對スル指紋原紙消毒ニ關スル件

昭和三年五月
警保第一一九三號一警務局長ヨリ廳長宛
標記ノ件ニ關シ司法省行刑局長ヨリ別紙寫ノ通協議相成候處本件ニ就テハ從來共司法省ニ送致スルモノト否トヲ不問夫々勵行セラレ居ルモノト思料スルモ將來一層注意方取扱者ニ御示達相成度
右通牒ス
(別紙)

傳染病者ニ對スル指紋原紙消毒ニ關シ協議ノ件

昭和三年五月
行甲第八六一號司法行刑局長ヨリ警務局長宛
標記ノ件ニ關シテハ從來相當御考慮ノコトト存候處貴管各警察官署ヨリ當局指紋原紙ト對照ノ爲送致ノ被疑者、受刑者又ハ變死者等ノ指

(花運警)

警察寫眞取扱規程

昭和六年四月
廳訓令第九號

- 改正 昭和六年廳訓令第二四號
- 第一條 警察寫眞ハ左記各號ニ該當スル場合ニ於テ之ヲ撮影シ又ハ原寫眞ヲ複寫スヘシ
 - 一 檢察局ニ送致スル事件ノ被疑者ニシテ再犯ノ虞アル者
 - 二 犯罪即決例ニ依リ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ再犯ノ虞アリ且一定ノ住居ナキ者
 - 三 犯罪現場又ハ證據物件其ノ他犯罪捜査上必要ト認ムルモノ
 - 四 變死傷人ニシテ犯罪ニ基因スル疑アル者又ハ死因不明若ハ身元不明ノ者
 - 五 司法捜査並行政捜査上必要ト認ムルモノ
 - 六 其ノ他警察事務上必要ト認ムルモノ
- 前項各號以外ノ寫眞ヲ撮影セントストキハ警務課長ノ承認ヲ經ヘシ
- 第二條 寫眞ハ警務課及支廳ニ於テ之ヲ撮影又ハ複寫スヘシ
 - 第三條 寫眞機ノ配付ナキ支廳ニ於テ第一條第一項第一號、第二號ニ該當スル者ニシテ其ノ身柄ヲ檢察局又ハ刑務所ニ送致スルトキハ豫メ罪名、氏名、押送月日時ヲ警務課ニ通報シ寫眞撮影ノ爲メ警務課ヲ經由スヘシ
 - 第四條 寫眞機ノ配付ナキ支廳ニ於テ現場其ノ他警務課技術員ノ出張撮影又ハ複寫ヲ要スルトキハ警務課ニ技術員ノ派遣ヲ請求スヘシ但シ事態急遽ヲ要シ警務課ニ技術員ノ到着ヲ待ツ邊ナキトキハ便宜最寄ノ營業者其ノ他經驗アル者ニ依頼シ速ニ警務課ニ通報スヘシ

受刑者死亡通報方ノ件

大正十三年一月訓令第十一號指紋取扱規程第十六條第二項ニ依リ受刑者ノ死亡通報ハ本廳ニ於テ取置ノ必要有之候條爾今該當者ノ有無ニ不拘翌月十日限月報可相成
右依命通達ス
追テ本年一月以降ノ死亡者ニ就キ未通報ノ分ハ六月十日迄ニ報告可相成申添候

指紋事務打合ノ件

昭和二年一月
法第二八號法務課長照會
臺灣總督府指紋取扱規程第十六條第二項ノ死亡者アリタル場合ノ通知方法ハ自今死亡者ノ分トシテ當該指紋原紙ヲ當課ニ送致スルコトニ御取扱相煩度
右照會ス

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

第五條 寫真機ノ配付ナキ支廳ニ於テ鑑識又ハ捜査ノ爲メ撮影セントスル物ハ現物ヲ添ヘ警務課ニ送附スヘシ但シ毀損其ノ他ノ事由ニヨリ送附シ難キ場合ハ前條ノ手續ニ依ルヘシ

第六條 人物寫真ハ正面及側面ノ三種トシ(特徴ハ別ニ之ヲ撮影ス)其ノ他ノモノハ適宜撮影スヘシ

第七條 人物寫真ニシテ曩ニ撮影シタル者ナルトキハ年齢又ハ負傷其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ容貌、特徴等ニ變化アリト認ムル場合ニ限り更ニ之ヲ撮影スヘシ

第八條 第一條第一號、第二號ノ寫真ハ別記第一號様式ノ索引票ニ依リイ、ロ、ハ別ニ區分シ其ノ他ノ寫真ハ別記第二號様式ノ臺帳ヲ備附ケ之ヲ整理保存スヘシ但シ臺帳、視察簿等ニ貼付シ又ハ貼付スヘキ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 支廳ニ於テ作成シタル索引票及寫真臺帳ノ各一部ハ一月分ヲ取替メ翌月五日迄ニ警務課ニ進達スヘシ

第十條 支廳ニ於テ撮影又ハ複寫シタル寫真原板ハ其ノ都度警務課ニ送附スヘシ

第十一條 警務課ニ於テハ別記第三號様式ノ臺帳ヲ備附ケ寫真原板ヲ整理シ十五年間之ヲ保存スヘシ

第十二條 警察官吏派出所及駐在所ニ配付セラレタル寫真ハ第八條ニ準シ之ヲ整理保管スヘシ

第一號様式

〔花蓮警〕

面 表

氏名		No.							
別名		年齢							
職業	語訛	種族			特徴	顔色	體格	身長	
本籍(居)地		住所							

面 裏

犯 罪 名	刑 名 刑 期	言 渡 官 廳	言 渡 年 月 日	備 考
1			• • •	
2			• • •	
3			• • •	
4			• • •	
5			• • •	
6			• • •	
7			• • •	
8			• • •	
9			• • •	
10			• • •	

〔花蓮警〕

第二號様式(甲)

考 備	現 場 概 況	現 本 住 籍 所 地	現 職 業 所 地	現 年 齡	事件簿番 號		其ノ				
					位 攝	明 說 眞 寫	物 氏	場 所	年 撮	年 發	事 罪
					置 影	件 名	所	日 影	日 生	名 又	名
					現場寫真臺帳						
					花蓮港廳						

備考

- 一 主トシテ第一條第三、第四、第六該當寫眞ヲ貼付ス
- 二 事件類番號ハ犯罪事件簿、即決事件簿、收發事件名簿等ノ番號ヲ記載ス
- 三 寫眞説明欄ニハ印畫ニ表現シ得サル方向、位置、身長、體格、特徵、種族、著衣色、人品、品質、重量等ヲ記載ス
- 四 攝影位置欄ニハ被寫體ト寫眞機ノ方向、距離ヲ記載ス
- 五 現場概況欄ニハ現場ノ位置(方向、距離、高低等)附近ノ狀況遺留等ヲ記載ス

第三號樣式 (乙)

備考

- 一 手配官署關ニハ原官署名又ハ捜査關人等ヲ記載ス
- 二 捜査解除アリタルモノハ本籍住所氏名欄ヲ朱ヲ以テ斜線ヲ引キ捜査狀況欄ニ其ノ事由ヲ記載ス

寫眞貼付						寫眞貼付					
本籍	(居)地	住所	種族	氏名	受理年月日	本籍	(居)地	住所	種族	氏名	受理年月日
事件	概要	搜查	狀況	備考		事件	概要	搜查	狀況	備考	

〔花蓮警〕

第三號樣式 (甲) 半紙型

寫眞貼付						寫眞貼付					
本籍	(居)地	住所	種族	氏名	受理年月日	本籍	(居)地	住所	種族	氏名	受理年月日
事件	概要	搜查	狀況	備考		事件	概要	搜查	狀況	備考	

寫眞貼付
 犯罪者名
 被疑者名
 其他氏名
 年齢
 乾板數
 備考

〔花蓮警〕

原板臺帳						花蓮港廳					

備考 本簿ニハ規程第一條第一項第一、二、四號其ノ他人物寫眞ノ原板ヲ登載ス

第三號樣式 (乙) 半紙型

攝影番號	攝影年月日	事件名	攝影ノ場所	乾板數	備考

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

原板臺帳						花蓮港廳					

備考 本簿ニハ甲號以外ノ寫眞原板ヲ登載ス

警察寫眞撮影ニ關スル件

昭和二年四月
 花警保第一七五〇號ノ一警務課長依命通達

首題ニ關シ別記ノ通達有之候條右ニ依リ取扱可相成
 (別記)

警務局長通達 (昭和二年四月警保第九五四號)
 犯罪搜查又ハ個人識別ノタメ撮影スル犯人ノ寫眞ハ撮影ノ時期ニヨリ相違特微等ニ變化ヲ生スルコトアリテ捜査實施上往々錯誤ヲ來ス處アルヲ以テ爾今印畫上ニハ撮影年月日(例昭和〇〇年〇月〇日)ノ如シヲ表示スルコトニ致度
 右通達ス
 例示



●被疑者ノ寫眞撮影ニ關スル件

昭和五年五月
花警保第一六六三號警務課長依命通達
從來鳳林、玉里、研海支廳ヨリ所轄檢察局ニ傳送押送スル被疑者ノ寫眞ハ花警支廳ニ身柄ヲ交付シタル後撮影スル場合有之候處今同花警支廳ニ舍ノ移轉ノ結果從來ノ如キ便宜ノ取扱ヲ爲スハ事務上支障有之候ニ付自今被疑者ノ押送ハ可成日没前警務課ニ到着シ寫眞撮影後身柄授受可相成

●要視察人名簿作製及異動報告ニ關スル件

大正九年一月〇月
花警保第九五三四號警務課長依命通達
要視察人名簿調製ノ必要有之候條警管下内ニ於ケル要視察人名簿左記ニ依リ作製ノ上十一月二十五日迄ニ報告相成度高異動編入其他必要ト認メ

タル事項ハ遲滞ナク報告可相成

右依命通達ス

- 左記
- 一 累犯豫防者名簿
- 一 賭博常習者名簿

右ハ大正三年九月民警第二三二九號民政長官通達累犯者並ニ賭博常習者視察方ニ關スル件(大正三年十月八日)第一號様式ニ依ル事

一 起訴猶豫者名簿
様式ハ明治四十二年四月覆檢第三〇六號覆審法院檢察官長通達微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程乙號様式ニ依ル事但シ住所欄ニ本籍(本居)地ヲ併記スルコト

一 執行猶豫者名簿
様式ハ明治四十一年九月訓令第四百四十七號刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程第一號様式ニ依ルコト
注意 編入報告ノ場合ハ各様式ヲ用ユルコト

●犯罪常習者ノ編入又ハ異動アリタル場合報告方ノ件

大正一四年三月
花警保第九七一號ノ一警務課長依命通達
大正十四年二月二十八日付花保第七六八號ノ一依命通達(大正十四年二月二十八日)第一號様式ニ依リ犯罪常習者ノ編入又ハ異動アリタル場合ハ左記様式ニ依リ其ノ都度報告可相成

●微罪起訴猶豫通知ニ關スル件

昭和五年七月
花警保第二四二二號ノ一警務課長通達
首題ニ關シ今般別紙ノ通臺北地方法院檢察官長ヨリ通達有之候條自今右ニ依リ處理相成度
右通達ス
(別紙)

臺北地方法院檢察官長ヨリ通達 (昭和五年七月)
(臺北地方法院檢察官長ヨリ通達第三〇三〇號)

微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程第一條第一項末段「事件ヲ送致セシ司法警察官署及被告人(被疑者)在籍地(原籍及寄留地ヲ含ム)司法警察官署ヘ通知スヘシ」トノ規程ニ基キ從來處斷通知ノ外更ニ本規程ニ依リ通知ヲ發シ居リ候ヘ共爾今事務簡捷ノ趣旨ニ則リ事件送致官署ト被疑者在籍地同一ノ場合ニ限り起訴猶豫處分ヲ處斷通知ニ明示通知アリタル時ハ本規程第一條ノ通知アリタルモノトシテ司法事件處理ノ外微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程ノ處理相成度
右通達ス

●起訴猶豫者視察ニ關スル件

昭和五年八月
花警保第二五九八號ノ三警務課長依命通達
昭和五年七月七日付高檢發第八四六號高等法院檢察官長訓令ヲ以テ改正相成候微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程ニツキ左記(一)ノ通り照會中ノ處今般(二)ノ通回答有之候條自今右ニ依リ取扱ヒ視察ノ效果ヲ收ムルト共ニ

右依命通達ス

追テ各州、廳及廳下各支廳間ニ於ケル犯罪常習者ノ編入異動等ハ右様式ニ依リ警察事務ニ登載シ通報ニ代フルコト致シ候條御了知相成度申添候

犯罪常習者編入		犯罪常習者異動	
本籍(居)姓名	生年月日	主ナル犯罪地	手口
住所職業(別姓)	主ナル犯罪地	前科ノ數	人相
			指紋
犯罪口座別	氏名	異動種別	事由
		異動年月日	
	年月日生		

●微罪起訴猶豫者取扱ニ關スル件

明治四五年四月
檢發第三三〇八號臺北地方法院檢察官長通達
微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程第一條第二項ニ據リ被告人ヲ呼出シ告知ヲ爲ス際ニハ被告人ノ屬スル保正ヲモ同時ニ呼出シ同人ノ面前ニ於テ嚴重戒告ヲ加ヘ保正ニ對シテハ被告人ヲシテ再ヒ犯行無カラシムル様注意スヘク訓達シ且被告人ヨリ將來改悛スヘキ旨ノ請書ヲ徵シ之レニ右保正ヲシテ連署セシメ直ニ當局ヘ送致可相成此段及通達候也

面之カ爲視察料略ニ陷ルコトナキ様御注意相成度
右依命通牒ス

追テ大正元年十月五日花保第一一六二號起訴猶豫者視察ニ關スル件通
達ハ本通牒ニ依リ自然消滅ニ歸シタル儀ト御承知相成度
左記

廳長照會 (昭和五年七月花警保第二五九八號)

本年七月七日付微罪起訴猶豫ニ關スル取扱規程改正相成候處左記ノ點
ニ付キ疑義相生シ候條何分ノ御回示相煩度
右照會ス

記

一 本規程改正ノ趣旨ハ起訴猶豫者ノ犯情、個性其他ノ事情ニ應シ視
察者ヲ局限シ視察ノ實際ノ效果ヲ收ムルト共ニ視察目録ニ因ル弊害
ヲ防止スル等ノ趣旨ニ出テタルモノノ如ク從テテ視察回数ノ如キモ
之ヲ劃一セズ各人別ニ隨時視察スヘキモノト解シ從來當廳ニテ實施
シ來リタル月一回ノ視察ナル標準ヲ廢シ差支ナキヤ

二 省略

高等法院檢察官長回答 (昭和五年七月高檢發第八八八號)

昭和五年七月二十一日附花警保第二五九八號ヲ以テ御照會相成候首題
ノ件ハ「一、二」共貴見ノ通ニ候條右及回答候也

● 拇印押捺方法ノ件

昭和五年五月
花警保第一六四九號警務課長通牒

〔花蓮警〕

從來警察官署取扱ニ係ル文書ニシテ一般民衆カ拇印ヲ押捺スルニ當リ其
押捺方法區々ニ涉リ居リ候處目今左記ニヨリ取扱相成度
右通牒ス

- 一 拇印ハ左手拇指ヲ用ヒ指紋ノ印象スル様明瞭ニ押捺セシムルコト
- 二 左手拇指缺損等ノ事由ニ因リ指紋ヲ印象シ難キトキハ左手示指、
中指、環指、小指ノ順ニ用ヒシムルコト
- 三 左手指全部缺損等ノ事由ニ因リ指紋ヲ印象シ難キトキハ前二號ニ
準シ右手指ヲ用ヒシムルコト

● 臺灣刑事例施行規則第二條改正ニ關 シ滯納處分ヲ行フ者ニ關スル件

大正二年九月
民法第一八五號ノ一民政長官依命通達

大正二年五月六日府令第四十九號ヲ以テ臺灣刑事例施行規則第二條改正
相成候處即決官署ニ於テ言渡シタル罰金科料及追徴金ノ滯納處分ニ關シ
テハ收人官吏タル廳屬警部又ハ警部補ヲシテ之ヲ行ハシメラレ度
右依命通達ス

● 即決官ノ署名ニ關スル件

大正七年九月
花警保第七四五三號ノ一廳長通達

別紙寫ノ通其ノ筋ヨリ通牒有之候ニ付自今右ニ依リ取扱可相成
右通達ス

〔花蓮警〕

(別紙)

警察本署長通牒 (大正七年九月本保第一五〇七號)

即決官及其代理官ノ作製スヘキ書類ノ署名ニ關シテハ大正六年六月民
警第四二三號民政長官通達即決官ノ心得ヘキ執務要項第四項ニ規定セ
ラレアルニ不拘或ハ即決官及代理官自ラ署名ヲ爲サス甚シキニ至リテ
ハ其氏名ヲ隱寫版ヲ以テ印刷ニ付シ置キ之ヲ使用シ又ハ其官氏名ヲ型
ヲ用ヒ紫色「インキ」ヲ以テ押捺シタルモノ等アリ如此ハ通達違反ノ取
扱ナルノミナラス其書類ノ信憑力ニ多大ノ影響ヲ及ホスヘキ義ニ付爾
今如此不都合ノ取扱ヲ爲サシメサル様監督上特ニ御注意相成度
右通牒ス

● 犯罪即決書類索引様式ノ件

大正四年四月
花警保第二七三一號廳長通牒

別紙寫ノ通其筋ヨリ通牒有之候ニ付爾今右ニ依リ取扱ハルヘシ
(別紙)

警察本署長通牒 (大正四年四月本保第三六八號)

懲役罰金即決事件言渡書綴、同記録、拘留科料即決事件記録及言渡書
綴ニ左記様式ノ索引ヲ付スルコトニ御取扱相成度
右通牒ス

左記

丁 數	罪 名	刑 名	刑 期	被 告 人 姓 名	備 考
-----	-----	-----	-----	-----------	-----

懲役罰金即決事件記録ノ索引ハ刑名刑期間ヲ省クコトヲ得

● 無罪免訴又ハ處分不必要ノ記録送致 方ノ件

大正七年三月
花警保第二五〇五號警務課長依命通達

別紙寫ノ通其筋ヨリ通牒有之候ニ付爾今右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス

(別紙)

臺北地方法院檢察官長通達 (大正七年三月檢發第七九二號)

即決官ニ於テ無罪免訴又ハ處分ノ必要ナシト認メ司法警察官ヨリ記録
ヲ檢察局ニ送致スルニハ(大正六年民政警第四二三號)拘留科料ニ該ル事件ニ
限リ事件送致ノ手續ニ依ルニ及ハス一ヶ月分ヲ取贖メ翌月五日迄ニ書
類ノ送付ヲ爲スヘシ
右及通達候也

● 併合罪ニ於ケル即決事件記録作製方 ニ關スル件

明治四十五年三月
本保第五五一號警察本署長通牒

明治四十四年五月六日附内警司第三七二號及同年七月十五日附内警第二

廳長宛

四〇八號ヲ以テ併合罪ニ關スル刑事犯人票作成並其取扱方ニ付通牒致置候處尙如上ノ場合ニ於ケル告發書及即決事件記録ノ作成方ニ就テハ各廳其取扱區々ニ相成居候ニ付今同ノカ統一ヲ期スル爲併合罪其ノ他ノ場合ニ於テ刑事犯人票一葉ヲ作成スル事件ニ關シテハ告發書ハ常ニ一通ヲ作成シ即決事件記録(數枚又ハ罰金ト拘留料科料ヲ科スル犯罪ト併發シタル場合)ニ編綴シ拘留料科料即決事件準備考關ニ其旨記入シ置クコトニ取扱相成度此段及通牒候也

●指紋事務ニ關スル件

昭和四年八月
花警保第三一〇四號警務課長通牒
前科通知ノ遺漏又ハ重複ナカラシムル爲犯罪即決例ニ依リ職役ノ確定判決ヲ受ケタル者ヲ刑務所ニ送致シタル場合三日以内ニ別記様式ノ前科調書ヲ其ノ刑務所ニ送付方總督府官房法務課長ヨリ照會有之候條爾今右ニ依リ取扱相成度
右通牒ス
別記様式(用紙美濃野紙)

刑罰受ケタル氏名	罪名	刑名刑期	年月日	官廳官職	備考

備考欄ニハ執行官職上ノ他必要ト認ムル事項ヲ記入スルコト

〔花警署〕

●犯罪事件處分ノ結果通知方ノ件

大正五年六月
花警分署第五八號花連港憲兵分隊長照會
犯罪事件整理上必要ニ付當分餘ヨリ移送ニ係ル犯罪事件費廳ニ於テ御處分相成候節ハ其結果御通報相煩度及照會候也
追テ費廳ヨリ法院へ御送致相成候事件ハ判決通知アリシ次第御通報相煩度申添候

●即決事務ニ關スル件

大正五年一月
花警保第二八四號廳長通牒
虛偽ノ届出ヲ爲シ戸口調査簿ニ不實ヲ記載セシメタルモノノ處分方ニ關シ左記ノ通其筋ヨリ通牒有之候條爾今右ニ依リ取扱ハルベシ
即決事務ニ關スル件

大正五年一月
本保第一二三三號ノ三警察本署長通牒
虛偽ノ届出ヲ爲シ戸口調査簿ニ不實ヲ記載セシメタル行爲ヲ戸口規則第十六條第三號ニ依リ即決處分ニ付シ居ル向有之候處右ハ刑法第五百十七條第一項ニ其ノ未遂ニ係ルトキハ同第三項ニ該當スル罪ニシテ即決處分ニ付スヘキモノニ非ラスト認メラレ候條此旨即決代理官ニ御注意相成度
右通牒ス

●即決事務ニ關スル件

大正五年一月二日
花警保第九一〇二號警務課長依命通達
別紙寫ノ通其筋ヨリ通牒有之候條爾今右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス
(別紙)

〔花連署〕

ノ通達ニ接シ候條爾今右ニ依リ取扱相成度
右依命通達ス
(別紙)

●骨牌稅法違反事件處分方ニ關スル件

大正九年七月
總財第四一二九號總務長官代理ヨリ廳長宛
免許ヲ受ケスシテ無印紙骨牌ヲ販賣シタルモノハ殘除ノ骨牌ヲ所持シタル場合其ノ所持犯ニ付テハ從來別個ノ一罪トシテ處分セラレタルモ爾今右所持犯ニ付テモ刑法第五十四條ヲ適用處分相成度
右依命通達ス

●骨牌稅法第十六條適用方ニ關スル件

大正一〇年六月
花警保第二一六〇號警務課長依命通達
本件ニ關シ別紙寫ノ通り其筋ヨリ通達有之候條爾今右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス
(別紙)

●骨牌稅法違反事件處分方ニ關スル件

大正九年八月
花警保第八四〇〇號警務課長依命通達
骨牌稅法違反事件ノ處分方ニ關スル件ニ付キ今般總務長官代理ヨリ別紙
第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

爲ス者ト謂フヲ得サルニ付同法第十五條ノ適用ニ依リ單ニ其ノ骨牌ノ
沒收處分ニ止メラレ度
右依命通達ス

臺灣煙草專賣規則中疑義ニ關スル件

昭和五年九月
花警保第三五八〇號警務課長通牒

首題ニ關シ別紙ノ通警務局長ヨリ通牒有之候條自今右ニ依リ取扱相成度
右通牒ス

(別紙)

臺灣煙草專賣規則中疑義ニ關スル件

昭和五年九月
警々乙第二三九七號警務局長ヨリ各州知事廳長宛

審人ノ耕作又ハ試作セル葉煙草ヲ平地人カ交換又ハ讓受ケ所持セル場
合ハ臺灣煙草專賣規則第二十條第六號違反ニ非スシテ同第十四條ニ依
リ處置スヘキモノナル旨專賣局長ノ意見ヲモテ大正三年一
月八日付本保第一一六七號ヲ以テ及通牒置候處其ノ後專賣局ニ於テハ
近來同種犯則頻發シ專賣權ヲ脅威スルコト不尠ノミナラス規則解釋上
ニ付テモ聊カ疑義アルヲ以テ本件ニ關シ高等法院檢察官長ノ意見ヲ求
メタル處右ハ同規則第二十條第六號ニ該當スル旨ノ回答アリタル趣同
局長ヨリ通知有之候ニ付テハ爾今即決處分ニ關シテハ右ノ趣旨ニ依リ
御取扱相成様致別紙專賣局長ト高等法院檢察官長トノ照復文書寫相
添

〔花連警〕

右通牒ス
(別紙)

煙草專賣規則適用上疑義ニ關スル件

昭和五年六月
專煙第一七九二號專賣局長照會

審人カ蕃地ニ於テ耕作シタル葉煙草ヲ行政區域内ニ於テ本島人カ讓受
ケ所持シ居タル事實ニ付之カ處罰上左記三說アリ聊カ疑義ニ互リ候條
貴局ノ御意見承知致度此段及照會候也

記

甲說 規則第十四條第二項ニ依リ當該葉煙草ヲ政府ニ於テ適宜處分ス
ルノ外制裁ヲ加フルノ途ナシ

理由 本件ハ一見規則第二十條第六號ノ所謂「許可ヲ受ケサル者ノ耕
作若ハ試作シタル葉煙草ヲ所持スル者」ニ該當スル如キモ右規程
ハ許可ヲ受ケサレハ耕作若ハ試作スルコトヲ得サル者カ許可ヲ得
スシテ耕作ヲ爲シタル場合即チ密耕作ノ場合ヲ規定シタルモノ
ナリ從テ蕃人カ蕃地ニ於テ煙草ヲ耕作スル如キハ自カラ專賣規則
ヲ以テ拘束スル範圍外ノ所爲ニ屬スルカ故通常許可ヲ受ケヘキヲ
受ケシテ耕作シタル者ト同一視スルヲ得ス故ニ本事犯ハ結局規
則第十四條第二項ニ依リ當該葉煙草ヲ政府ニ於テ處分スルノ外制
裁ヲ加フルノ餘地ナシ

乙說 規則第二十條第六號ノ許可ヲ受ケサル者ノ耕作シタル葉煙草ヲ
所持スルモノトシテ處分スヘシ

理由 法ハ原則トシテ其ノ全領土ノ人及物ヲ支配スルモノナリ現行專
賣規則ハ蕃人蕃地ニ之カ適用ヲ除外シタル規定存セサルハ勿論特
別法令ヲ以テ之カ適用ヲ除外シタル規定モ無之モノノ如シ從テ法
ノ原則ニ還リ本事犯ハ規則第二十條第六號ヲ以テ處置スヘキモノ
トス

〔花連警〕

乙說ヲ相當ト思考致候
右及回答候也

腦丁カ樟樹ヲ製腦以外ノ目的ニ使用
スル行爲ト其處分ニ關スル件

昭和三年八月
花警保第三七七七號警務課長依命通牒

昭和三年八月二日付研警第六七〇二號何ニ係ル首題ノ件右ハ何第一案ニ
依リ處理スヘキモノト思料セラレ候條
右依命通牒ス

腦丁カ樟樹ヲ製腦以外ノ目的ニ使用スル行爲ト其處分ニ關スル
件 昭和三年八月
研警第六七〇二號研海支廳長ヨリ廳長宛何出

製腦業者ノ使用人タル腦丁カ樟樹採取作業中樟木ヲ製腦ニ使用セスシ
テ自家用機掛等調製ノ目的ヲ以テ他ニ搬出シ製腦以外ノ目的ニ供用
シタル事件ニ關シ

一 案スルニ該腦丁ノ履主タル製腦業者ハ粗製樟腦樟腦油專賣法第二
十二條第二十三條ニ依リ明治三十六年府令第六十六號粗製樟
腦、樟腦油原料樟樹取締方違反ニシテ腦丁ハ刑法第二百五十三條
ニ依リ業務上ノ横領罪トシテ刑事訴追ニ付スヘキモノナルヤニ思
料セラル

二 又一面ヨリ案スルニ本件ノ如キ業者ト雇人トノ區別ナク直接關係
者ノ違反ニシテ即チ腦丁ハ明治三十六年府令第六十六號違反トシ

賣規則ハ蕃人蕃地ニ之カ適用ヲ除外シタル規定存セサルハ勿論特
別法令ヲ以テ之カ適用ヲ除外シタル規定モ無之モノノ如シ從テ法
ノ原則ニ還リ本事犯ハ規則第二十條第六號ヲ以テ處置スヘキモノ
トス

丙說 規則第二十條第六號ノ權利者不明ノ葉煙草ヲ所持スル者トシテ
處分スヘシ

理由 乙說ノ如ク臺灣煙草專賣規則ハ之ヲ蕃人ニ適用セサル法規ノ根
據ナキヲ以テ當然專賣規則ノ拘束ヲ受ケヘキモノトスルハ一應ハ
首肯シ得ヘキ理論ナリト雖蕃人ノ人情風俗、習慣更ニ文化ノ程度
等ヨリ觀察スルニ立法當時果シテ之等ノ者ヲモ規則ノ對照トナシ
タルヤ頗ル疑義ノ存スル處ニシテ寧ロ甲說ノ如ク規定ノ範圍外ニ
置クヲ事實ニ適合セル解釋ニアラサルカ然レトモ本事犯ハ甲說ノ
如ク規則第十四條第二項ニ依リ處置スヘキニ非ス本件ハ恰モ密輸
入葉煙草ヲ讓渡シ讓受人カ之ヲ所持中發覺シタルトキ其ノ所持者
ヲ法ニ問フ場合ニ酷似ス而シテ内地專賣局ニ於ケル實際ノ取扱ヲ
見ルニ右ノ場合讓渡人(密輸入者)讓受人ハ共ニ葉煙草所持ニ付合
法の權利者ニアラサルヲ以テ規則第二十條第六號ノ所謂權利者不
明ナル葉煙草ヲ所持スル者トシテ處分シツアルヲ以テ臺灣煙草
專賣規則ニ於テモ同一ニ解釋處置スルヲ適當ナリト思料ス

煙草專賣規則適用上疑義ニ關スル件

昭和五年七月
高檢發第八三三號高等法院檢察官長回答

昭和五年六月九日附專煙第一七九二號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ハ

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

テ處分スヘキモノナルヤニ思料セラレ

右一案ヲ正當ナリトセハ業者ハ即決可能ナルモ腦丁ハ即決不能ニシテ一腦丁ノ一行爲ニシテ責任者二人ヲ出シ事件ノ關係上遂致スルヲ適當ト思料セラレ

二案ニ從ヘハ腦丁ハ即決可能ニシテ事件捜査ノ狀況竝ニ犯情ニ鑑ミ取扱官ノ意見ニテ即決シ或ハ送致スルヲ得ラルヘク思料セラレ取扱官上疑義有之候條一案ニ依ルヘキカニ依ルヘキカ何分ノ御指示相仰度及御伺候也

臺灣公共埤圳規則違犯者處斷ニ關スル件

ル件

昭和六年五月 警々乙第六五五號警務局長通牒

各州知事廳長宛

今般臺南州知事ヨリ左記申號ノ通り照會越シ候ニ付乙號ノ通回答致置キ候條參考ノ爲此段及通牒候也

左記

甲號

臺灣公共埤圳規則違犯及臺灣水利組合令違犯處斷上ニ關スル疑義ノ件

首題ノ違犯行爲ヲ處斷スルニ當リ左ノ二説アリ何レニ依リ處理スヘキモノナルヤ疑義相生シ候條何分ノ御回答相煩シ度

右照會候也

左記

〔花蓮警〕

甲說

臺灣公共埤圳規則ニヨリ公共ノ利害ニ關係アルモノトシ認定セラレタル公共埤圳組合ノ埤圳ニ對スル犯罪ハ勿論該規則ニ依リ處斷スヘキモノナルモ臺灣水利組合令ニヨリ設置セラレタル水利組合(臺灣公共埤圳規則ニヨリ認定セラレタル公共埤圳組合カ臺灣水利組合令附則ニヨリ水利組合トナリタルモノヲモ含ム)及臺灣公共埤圳規則第三條後段ニヨリ新設シタル埤圳ニ對スル犯罪ハ刑法ニ依ルヘキモノナリ

乙說

最初臺灣公共埤圳規則ニヨリ認定セラレタル公共埤圳組合カ臺灣水利組合令ノ附則ニ依リ水利組合トナシタル場合ハ公共埤圳組合ナルモノハ消滅スルト雖モ埤圳其ノモノ消滅スヘキモノニアラス隨テ水利組合トナリタル後ト雖モ該埤圳ニ對スル犯罪ハ公共埤圳規則ニヨリ處斷スヘキモノナリ

乙號

臺灣公共埤圳規則違犯者處斷上ニ關スル疑義ノ件

昭和六年五月 警々乙第六五五號警務局長回答

昭和六年三月十六日付臺灣警保第二六一八號ノ一ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ハ臺灣公共埤圳規則施行規則第二條ノ告示消滅ニ至ル迄乙號ヲ相當ト被認

右回答ス

〔花蓮警〕

法規解釋ニ關スル件

大正元年十一月 花警保第二一六二號廳長通達

講會取締規則第一條ノ解釋ノ件ニ付別紙ノ通牒有之候條此段及通達候也

(別紙)

法規解釋ニ關スル件 大正元年十一月 本保第二七三號ノ二警察本署長通牒

講會取締規則第一條中講會ヲ組織スル者ノ意義ニ付各廳區々ノ解釋致シ居ルヤニ聞及候處本條ニ所謂講會ヲ組織スル者トハ發起者ノミナラス講員並管理人ヲモ包含スル儀ニ付右様御承相成度 右通牒ス

犯罪即決及刑事犯人票ニ關スル件

明治四十四年七月 警司第五四一號內務局警察課長通知

犯罪即決及刑事犯人票記入方ニ關シ別紙申號ノ通嘉廳警務課長ヨリ照會越候ニ付乙號ノ通回答致置候條參考トシテ此段及通知候也

追テ明治四十四年五月六日內務司第三七二號第一項中加重ノ二字ハ誤記ニ付便宜削除相成度此段申添候也

(別紙)

甲號

嘉廳警務課長照會 (明治四十四年七月嘉警保第七二〇六號)

左記疑義ノ事項御取調御回答相成度此段及問合候也

左記

一 刑事犯人票記載例第二號ノ「本票ハ犯人一人ニ付一枚ヲ用フルモノトス故ニ併合罪ノ場合ハ罪名關ニ其罪名ヲ列記シ云々」ト定メラレタル所謂併合罪ハ刑法第四十六、四十七、四十九、五十、五十一、五十二條ニ規定スル併合罪ヲ指稱シタルモノニテ同法第四十八、五十三條ノ規定ニ依リ併科スルモノハ性質上之ヲ併合罪ト稱シ難ク但シ該條カ併合罪ノ章下ニ記載セラレタルハ併合罪ニ關聯シ其實質ハ併合罪ノ除外例タル規定ナルヲ以テ便宜上第九章中ニ排列セラレタルモノニアラスヤト被察候且ツ從來總督府指定ノ即決事件簿整理方モ如上ノ主義ニ出テ罰金ト拘留若ハ科料ヲ併科ノ場合ノ如キモ各刑別ニ記簿スルコトニ相成居リ候處明治四十四年五月六日內務司第三七二號左記第六號ニハ「併科シタル場合ニアリテモ刑事犯人票ハ一人一枚トシ併合罪ト同一ニ製票ヲ爲スヘク」御注意相成候ニ就テハ併科ノ各罪モ又併合罪ト稱スルヤ彼是對照シテ異様ノ感ナキ能ハス尙又罰金ト拘留若ハ科料ヲ併科シタル場合ニハ拘留十日未滿科料二圓未滿ノ行政諸規則違犯例違犯ノモノモ併記スヘキヤ又言渡書ノ作成、事件簿ノ整理、刑事犯人票ノ即決番號ノ調和如何可致哉

乙號

警察課長回答 (明治四十四年七月警司第五四一號)

明治四十四年七月十二日嘉警保第七二〇六號ヲ以テ犯罪即決及刑事犯人票記載方ニ關シ御問合相成候處併合罪トハ同一犯人カ確定裁判ヲ受

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

タル前ニ犯シタル二個以上ノ犯罪ヲ云フモノナルカ故ニ刑法第四十八條第五十三條ノ場合ト雖モ併合罪タルニハ何等妨ケナキ儀ト存ラレ候依テ罰金ト拘留若クハ科料ヲ併科シタル場合ニハ拘留十日未滿科料二圓未滿行政諸規則ハ臺灣遠懲例違犯ノ者ト雖モ勿論併記スヘキ儀ト御承知相成度又言渡書ノ作製其他ノ整理ハ左記ノ通御取扱相成度此段及回答候也

左記

- 一 罰金ト科料ヲ併科シタル場合ニ於ケル即決言渡書ニハ罰金何圓ト記載シ適用法條ニテ其區別ヲ明ニスルヲ要ス
- 二 事件簿ノ整理ハ罰金ト科料ト併科シタル場合ニ在リテハ懲役罰金即決事件簿各相當欄ニ之ヲ併記シ且ツ備考欄ニ拘留科料即決事件簿第何號ト併科ノモノナル旨ヲ記入シ又拘留科料即決事件簿ニハ其科料ニ關スル分ノミヲ更ニ記入シ備考欄ニ懲役罰金即決事件簿第何號ト併科シタルモノナルコトヲ記入シ置クコト
- 三 前項ノ場合ニ於ケル刑事犯人票即決番號ハ重キ方則チ懲役罰金即決事件簿ノ番號ヲ用フル事

●即決事件取扱ニ關スル件

昭和六年五月 花警保第三六一號警務課長通牒

昭和六年三月分即決事件刑事犯人票ヲ査閱シ左記ノ如キ擬律失當ノ取扱ヒアルヲ認メ候條將來取扱上ノ參考ニ資サレ度キ超ヲ以テ警務局長ヨリ通牒有之候條迄參考

〔花蓮警〕

右通牒ス

記

- 一 (省略)
- 一 員林郡役所警部大神維鎮即決懲第四十號犯人張林氏尾ハ相被告張火烈外一名カ州稅通脫、食用ニ供スル目的ヲ以テ豚一頭ヲ屠場外ニ於テ屠殺解體スルニ當リ情ヲ知り場所ヲ供給シテ之ヲ補助シタル事案ニ對シ關係州稅規則、市街庄稅規則ヲ適用シタル外刑法第四十五條、第五十三條第二項、第六十二條第一項、第六十三條、第六十八條第六號ヲ適用シ屠場外ニ於ケル屠殺解體補助ヲ科料九圓五拾錢ニ無申告州稅通脫行爲ノ補助ヲ科料九圓ニ即決シタリ
- 右擬律法條中刑法第六十三條ハ其ノ例ヲ用キサル旨臺灣州稅規則第六十六條並臺灣市街庄稅規則第十九條ノ規定スル所ナリ

●即決事務取扱ニ關スル件

昭和六年七月 花警保第三〇六六號警務課長通牒

首題ノ件ニ關シ甲號ノ通り臺南州知事ヨリ照會有之乙號ノ通り回答候旨警務局長ヨリ通牒有之候條迄參考

五月三十日付警々乙第一四八〇號即決事務取扱ニ關スル件通牒參照) 甲號 即決事務取扱ニ關スル件

〔花蓮警〕

昭和六年六月 南警保第五七五五號

一 臺南州知事ヨリ警務局長宛照會 昭和六年五月二十六日警々乙第一四八〇號ヲ以テ御通牒ニ係ル無申告州稅通脫行爲ノ補助ト屠場外ニ於ケル屠殺解體補助ト併科處罰シタル場合ニ於テ關係州稅規則、市街庄稅規則、屠畜取締規則ヲ適用シタル外刑法第四十五條、同第五十三條第二項、同第六十二條第一項、同第六十三條、同第六十八條第六號ヲ適用シタルトキハ州稅通脫補助行爲ニ對シテハ州稅規則第六十六條市街庄稅規則第十九條ノ規定ニヨリ刑法第六十三條ノ適用ヲ除外セラレアルカ故ニ脫稅高ノ五倍ニ相當スル科料ヲ言渡シアリ隨テ該減輕法條ハ適用上除外規定ナキ屠殺解體補助行爲ニ對シ適用シタルモノナルコトハ明カナル所ニシテ擬律失當ノ取扱ヲ爲シタルモノト認ムルヲ得ス聊カ疑義相生シ候條何分ノ御回答相煩シ度 右照會候也 乙號

即決事務取扱ニ關スル件

昭和六年七月 警々乙第一四八〇號

一 警務局長回答 昭和六年六月二日付南警保第五七五五號ノ一ヲ以テ御照會本年五月二十六日付警々乙第一四八〇號通牒ニ拘ハル件無申告屠殺解體通脫行爲ノ補助ハ科刑ノ金額ニ徴シ減輕ノ點認メ難キヲ以テ適用法條中刑法第六十三條及第六十八條第六號ノ屠畜取締規則違反ニ適用シタルモノト解スルヲ相當ト認メラルルヤニ疑義有之趣キニ候處本案ノ如キ事案ヲ貴見ノ通り處理スルニハ適用法條記載ノ順序ニ於テ屠畜取締規則第三

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

條、第十一條ノ次ニ刑法第六十二條第二項、第六十三條、第六十八條第六號ヲ適用シタル後關係州稅規則並市街庄稅規則及刑法第四十五條、第五十四條、第五十三條第二項適用ト記載スルニ非サレハ貴見ノ如ク解スル能ハサルコトヲ被認前通牒記載ノ順序ヲ以テセハ刑法第七十二條ノ規定ニ照合スルモ其ノ記載順序ヲ誤リタルモノト認メラレ候 右回答ス

●脫稅犯罪ノ時効ニ關スル件

昭和七年四月 花警保第三一六號警務課長依命通達

首題ニ關シ別紙ノ通達有之候條右ニ依リ取扱相成度 右依命通達ス (別紙)

脫稅犯罪ノ時効ニ關スル件

昭和七年一月 警々乙第一七三號警務局長通達

臺灣州稅規則第六十三條、市街庄稅規則第十六條及臺灣地方費稅規則第七十九條ヲ適用スヘキ脫稅犯罪ノ時効ハ脫稅高五倍ノ金額ヲ刑法第十五條又ハ第十七條ノ規定ニ照シ罰金若ハ科料ト法定ニ決定スヘク裁定官ニ刑種選擇ノ自由ヲ從ツテ各刑ノ時効ハ刑事訴訟法第二百八十一條第五號若ハ第七號ニ照シ決定スヘキ處大正四年五月二十八日付民財第三〇七五號通達ニ類似ノ事案ニ屬スル時効ノ解釋存スル爲誤解ヲ招キタル事例モ有之候ニ付キ此ノ際部下一同ニ對シ訓示誤解ナキ

標致度

右通達ス

(參考)

二個以上ノ撰擇刑アル場合ノ公訴時効期間ニ關スル件

大正四年五月 民財第三〇七五號民政官依命通達

大正四年五月二十日附臺南第四四六號ノ一江再生賣藥印紙規則違犯事件通告報告書摘要ニハ大正三年八月二十六日賣藥營業者楊興降カ江再生ニ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル賣藥ヲ販賣シタル事實ハ審査ノ結果賣藥稅法第十三條第一項ノ科料ニ相當スル罪ト認メ時効完成ニ付キ處分セサル旨ノ記事アルモ本條項違反ノ如キ二個以上ノ撰擇刑ノ規定アル罪ノ公訴時効期間ノ算定ハ處分官ノ認定ニ依ル刑名ニ依ルヘキモノニアラスシテ其ノ重キ刑ニ付キ定メタルモノニ依據スヘキ筋合ニ有之本件ハ未タ罰金刑ニ依ル時効期間ヲ經過セス然ルニ之ヲ時効完成ト認メ處分セサリシハ失當ニ付相當處分相成且將來處分上注意可相成右依命通達ス

● 指定量以上ノ烟膏ヲ所持シ居タル者 ニ對シ之カ沒收ヲ爲ス場合ニ於ケル 取扱上參考ノ件

明治四四年六月 內務第一六五三號內務局長通達

指定量以上ノ烟膏ヲ所持シ居リタル者ニ對シ之カ沒收ヲ爲ス場合ニ於ケ

〔花蓮馨〕

ル取扱方ニ關シ別紙甲號ノ通臺東廳長ヨリ照會相成候ニ付乙號ノ通回答候條爲參考此段及通達候也

(別紙)

甲號

- 一 臺灣阿片令施行規則第三條ノ二違反シ指定量以上ヲ所持シタル阿片烟膏ハ當然犯罪ヲ組成シタル物件ナルモ之ヲ沒收スルハ酷ニ失スルヲ以テ沒收處分ヲナス指定量以上ノ阿片烟膏ハ之カ所持ノ承認ヲ與ヘ取締ヲナスヘシトノ説
 - 二 前項ノ阿片烟膏當然沒收ヲナスヘシトノ説
 - 三 沒收ヲナスニ就テハ指定量ヲ超過シタル量ノミヲ沒收スヘシトノ説
 - 四 指定量超過量ノミヲ沒收ニ止メス所持シ居タル阿片全量ヲ沒收ストノ説
- 乙號
明治四十四年五月五日臺南警保第九五六號ヲ以テ指定量以上ノ烟膏ヲ所持シタル者ニ對スル取扱方疑義ノ件照會相成候處右ハ指定量ヲ超過シタル數量ノミヲ沒收スヘキ義ト御承知相成度此段及回答候也

● 即決事務ニ關スル件

昭和六年八月 花警保第三八六一號警務課長通達

今回新竹州知事ヨリ甲號ノ通阿片令違反事件ノ解釋適用ニ關シ照會有之乙號ノ通回答候旨警務局長ヨリ通報有之候條參考ノ爲

〔花蓮馨〕

見ノ通ト思料候條

右回答ス

● 犯罪即決處分ニ關スル件

大正八年四月 花警保第二六三〇號警務課長依命通達

本件ニ關シ別紙ノ通り警察本署長ヨリ通達有之候條自今右ニ依リ取扱可相成

右依命通達ス

(別紙)

犯罪即決處分ニ關スル件

大正八年四月 本保第二八八號警察本署長ヨリ廳長宛

阿片烟膏吸食特許者死亡又ハ失踪ノ場合ニ於テ現存スル阿片烟膏又ハ吸食器具ヲ相續シタル者ニシテ吸食特許者ナルトキハ臺灣阿片令施行規則第三十八條及第四十三條ヲ適用シテ處罰スヘキモノニアラサル儀ト御承知相成度

追テ右ノ場合ト雖規則第三十八條ノ義務ヲ免ルルモノニ無之候條申添候

● 犯罪人名票犯數欄ノ記載方ニ關スル件

明治四年八月 警第一一六四號警務課長依命通達

犯罪人名票犯數欄ノ記載ハ再犯加重原因トナルヘキ前科度數ヲ記載ス可

右通報ス

甲號

即決事務疑義ノ件照會

昭和六年五月 新警保第二九七七號新竹州知事ヨリ警務局長宛

即決事務ニ關シ臺灣阿片令ノ適用解釋上左記聊カ疑義相生シ候條何分ノ御指示相煩度候也

記

- 一 阿片吸食特許者ニシテ自己ノ指定吸食量ヲ毎日吸食シ盡サスシテ三日分以上貯留シ之ヲ許可ヲ得ス所持シ居タル場合ハ臺灣阿片令第五條第十三條第三號(又ハ第五條、第十八條第二號)臺灣阿片令施行規則第四條違反ト思料セラルルヲ以テ從來當州ニ於テハ此見解ニ基キ即決事務ヲ處理シ來リシ處今回事案ニ付罰金九拾圓ノ即決言渡ヲ受ケタルモノノ正式裁判ヲ申立テ臺北地方法院新竹支部ニ於テ審理ノ結果無罪ノ判決ヲ受ケタル事例アリ
- 右事案ハ臺灣阿片令ヲ如何ニ解釋適用スヘキモノナリヤ

乙號

即決事務ニ關スル件

昭和六年八月 警々乙第一三三四號警務局長回答

昭和六年五月十六日付新警保第二九七七號照會即決事務ニ關スル件阿片令施行規則第四條ノ規程ニ違背シテ阿片烟膏ヲ所持シタルモノニ對シ阿片令第五條ノ規定ニ違反シタル者トシテ同令第十三條第三號(懲利ノ目的ニ出テサルトキハ第十八條第二號)ヲ適用スヘキコトハ貴

キ管ナルモ刑法改正後仍従來罰金刑ノ如キヲ算入シタルニ慣レ再犯トナラサル刑ノ前科ヲ算入スヘキヤ否ヤ懷疑アル向モ有之候處右ハ再犯トナルヘキ刑ノ前科度數ヲ記シ罰金刑ノ如キハ掲記スヘキモノニ無之旨其筋ヨリ通牒有之候處爲念依命此段及通牒候也

刑事犯人票記事解釋ノ件

大正元年二月
花警保第二一八三號廳長通達

刑事犯人票犯時住所ノ儀ニ付別紙ノ通牒有之候處此段及通達候也
(別紙)

刑事犯人票記事解釋ノ件

大正元年一月
民警第六五一號民政長官代理通達

刑事犯人票第五項犯時住所ノ儀ニ付各廳區々ノ解釋致居ルヤニ及聞候處本項ニ所謂犯時住所トハ本居タルト寄留タルト將其ノ他ノ場所タルトヲ問ハス犯人カ犯罪ノ當時現ニ生活ノ本據トシテ居住スル場所ヲ指稱スル儀ニ候條右様了承相成度
右通達ス

留置人看守及被疑者等ノ押送ニ關スル件

昭和七年九月
花警第四一四六號ノ一警務課長依命通達

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通牒務局長ヨリ通牒有之候條貴部下一同ニ對シ本通牒ノ趣旨ヲ徹底セシメ將來過誤ナキ様向一層ノ指導督勵ヲ加ヘ萬遺憾

ナキヲ期セラレ度
右依命通達ス

(別紙)

留置人看守及被疑者等ノ押送方ニ關スル件

留置人及被疑者囚人ノ押送方ニ關シテハ從來屢々通牒ノ次第モ有之相當留意セラレツ、アルコト、思料候モ昭和三年以降ニ於ケル留置人及被押送者ノ逃走及自殺等別表ノ通シテ毎年十名ヲ降ラサル狀況ニ有之候條ニ最近某州ニ於テ留置人カ看守ノ巡查ニ對シ疳瘡ノ塗布藥ナリト稱シ留置中ノ留置人所持品中ニアル粉末トシタル藥品ノ交付方ヲ要求シタルニ看守ノ巡查ハ漫然之ヲ交付シタル處雖テ該留置人ハ之ヲ吞服シ終ニ死亡シタル事件アリ後ニ該粉末藥ヲ調査シタルニ「カルモチン」含有藥ナリシコト判明シタルカ如キ事實モ有之如斯ハ總テ看守巡查ノ不注意ニ基クモノニシテ甚ダ遺憾トスル所ニ有之候條自今一層部下ヲ督勵シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度
右依命通達ス

追テ從來留置人ノ逃走ニ付テハ通牒ニ基キ其ノ都度報告有之候モ留置人ノ死亡、押送中ノ被疑者又ハ囚人ノ逃走其ノ他ノ重要事故ヲ報告セサル向モ有之候處自今之等モ留置人ノ逃走ト同様報告相成度申添候

留置人及被押送者事故調

州廳名	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年
逃走	死亡	逃走	死亡	逃走	死亡
					九月十日迄

〔花警〕

〔花警〕

別記

留置者執行停止ニ關スル件

昭和三年四月
法第七九七號ノ二官房法務課長ヨリ廳長宛

首題ニ付テノ見解ニ付高等法院檢察官長ニ對シ別紙甲號ノ通牒會候處乙號及丙號ノ通牒有之爲御參考及移牒候也

(別紙)

甲號

官房法務課長照會 (昭和三年三月法第七九七號)

勞役場留置執行ニ當リ刑事訴訟法第五百四十四條又ハ第五百四十六條各號ニ掲クル事由アルトキハ同法第五百六十五條ニ依リ其執行ヲ當然停止シ又ハ之ヲ爲シ得ラルル哉ニ解セラレ候處本件ニ關スル貴局ノ御意見拜承致度此段及照會候也

追而阿片令違反ノ獄舍留置ニ關シテモ同様ノ疑義有之様思料致サレ候間併テ御意見拜承致度候

乙號

高等法院檢察官長回答 (昭和三年三月高檢發第七三二號)

勞役場留置執行中刑事訴訟法第五百四十四條又ハ同第五百四十六條各號ニ掲クル事由アルトキハ同法第五百六十五條ニ依リ其執行ヲ停止シ得ルヤ否ノ件ハ御見解ノ通ト思考致候

右回答ス

追テ本文ニ背スル明治四十三年三月檢察官長會同決議二九八自然消滅シタルモノト御承知相成度候

計	未逮自殺		逮捕		澎湖	花蓮港	臺東	高雄	臺南	臺中	新竹	臺北
	未逮	逮捕	未逮	逮捕								
未逮自殺一	四	四	三	三								
逮捕	六	二一〇	三	七								
未逮自殺一	四	四	四	九								
逮捕	四	三	三	三								
未逮自殺一	四	三	三	三								
逮捕	四	三	三	三								

備考

逃走中、右書ハ逮捕數、左書ハ未逮捕ヲ記ス
死亡中、右書ハ死亡數、左書ハ自殺數ヲ記ス

留置者執行停止ニ關スル件

昭和三年四月
花警保第一五三八號警務課長依命通達

首題ノ件ニ關シ別記ノ通り其筋ヨリ移牒有之候自今右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス

丙號

高等法院檢察官長回答 (昭和三年三月高檢發第七六四號)
本月二十日勞役場留置執行停止ノ件及同報置候處同時御照會ニ係ル阿片令違反ノ獄舎留置ニ付テハ左ノ通御了承相成度候
臺灣阿片令ニ規定セラルル獄舎留置ノ執行ニ關スル規定ハ刑事訴訟法上存セサルモ獄舎留置ハ刑法ノ勞役場留置ト其ノ性質相同シキモノナルヲ以テ之カ執行ニ付テハ刑事訴訟法第五百六十五條勞役場留置執行ニ關スル規定ニ準據スルヲ相當トシ隨テ獄舎留置ノ執行停止ニ付テモ刑事訴訟法第五百四十四條以下ノ規定ニ準シ其ノ執行ヲ停止シ得ルモノト思考致候
右回答ス

沒收煙草引繼ニ關スル件

大正一二年九月
花警保第三三六五號ノ一警務課長通牒
本件ニ關シ左記ノ通其ノ筋ヨリ照會有之候條御了知ノ上自今右ニ依リ引繼相成度
右通牒ス
專賣局照會 (大正十二年九月專煙第二四八三號)
犯罪ニ因ル沒收煙草ノ引繼方往々遲延スル向有之レカ爲全ク變敗シ品質鑑定上困難ノ場合相生シ處理上支障不勝候ニ付自今犯罪確定シタル時ハ直ニ御引繼相成ル様致度此段及照會候也

刑事被告人押送方ニ注意ノ件

明治四二年九月
警第一一五二三號廳長通達
刑事被告人押送方ニ關シテハ曩ニ通達ノ次第モ有之充分注意相成居候事トハ思料候得共今回某廳ヨリノ報告ニ依レハ竊盜犯被告人ヲ本年七月二十八日某廳ヨリ某法院出張所ニ送致シタル事件アリ當時被告人親戚某ハ辯護士ノ手先某ト氣脈ヲ通シ無根ノ事實ヲ構造シ被告人無罪ヲラシメント謀リ法廷ニ於ケル被告人申立要領ヲ豫メ通知セントスルモ被告人ハ入監中ニテ不可能ニ屬シ且ツ被告人ノ通達途中ニ於テモ相對シテ談話スルヲ得サルヨリ狡ニ巧ナル手段ヲ考ヘ二人共謀シテ被告人監獄ヨリ出門シ法院ニ至ル間ニ互ニ被告ニ目配セテ爲シ被告事件ノ事實ヲ話シ暗ニ申立要領ヲ告ケタルモ被告ハ之ヲ覺ラズシテ眞事實ヲ申立テタル爲メ有罪ノ宣告ヲ受ケタル事候アリ右ハ被告人カ其合圖ヲ覺知セザリシ爲メ其目的ヲ達スルヲ得ザリシ義ニ候得トモ近來如斯手段ヲ以テ互ニ通達シ證據湮滅及不實ノ申立ヲ爲サシメ通達者ハ相當ノ報酬ヲ受ケ居ルヤノ聞込有之候是等ノ手段ハ特ニ汽車中ニ於テ多ク行ハルル趣ニ付押送官吏ヲシテ押送途中精密ナル注意ヲ拂ハシムルト共ニ土語ニ精通シタル警察官吏ヲシテ押送セシメラルル様致度官警本署長ヨリ通達有之候條充分注意相成度此段及通達候也

假出獄ニ關スル件

明治四三年四月
民内第一一八七號民政長官代理通牒

〔花邊警〕

假出獄ヲ取消シ得ヘキ期間ニ付往々解釋ヲ異ニスル向有之候處假出獄ノ取消ハ其假出獄期間中ニ於テ爲スヘキモノニ有之候條刑法第二十九條第一項ニ該當スル者アルトキハ臺灣假出獄取締細則第十六條ニ依リ速ニ申報ヲ要スヘキ義ニ付爲念此段及通達候也

大祭祀日其ノ他ノ祭日ニ關スル件

大正六年四月
花警保第二六八六號警務課長依命通達
別紙寫ノ通り其筋ヨリ通達有之候條爾今右ニ依リ取扱可相成
右依命通達ス
(別紙)

民政長官依命通達 (大正六年四月民法第一〇四號)

監獄法及罰金及答刑處分例施行細則中大祭祀日トハ大正元年九月勅令第十九號及明治四十一年皇室令第一號皇室祭祀令第九條ニ依ルモノトス其ノ期日ハ曆及官報ニ依リ承知セラルヘシ尙作業及答刑ニ關シテハ臺灣始政記念日、臺灣神社祭典當日モ前項大祭祀日ニ準シ取扱ハルヘシ
右依命通達ス

出獄者通知ニ關スル件

大正一二年七月
花警保第二三三〇號ノ一警務課長通牒
本件ニ關シ別紙ノ通其ノ筋ヨリ通達有之候條御了知相成度

第三編 保安 第五章 司法 犯罪即決

右依命通達ス
(別紙)
總務長官通達 (大正十二年七月總法第五一〇號)
釋放スヘキ受刑者ニシテ累犯ノ虞アル者ハ司法警察ノ必要上其ノ都度當該監獄長ヨリ居住地ノ廳長、郡守、支廳長又ハ警察官者ノ長宛通報致來リ候處自今州知事又ハ廳長宛トシ通知書様式ハ別紙ノ通相定メ候條爲念
右通達ス
(別紙様式)

Table with columns for release date, name, residence, and official name. Includes a sub-table for '前' (previous) with columns for name, crime, and release date.

科	在	監	中	備	考
	行	習	業	及	
	性	得	程	及	
	質	作	度	度	
	狀				

記載例
一、在監中ノ行狀ハ犯罪事犯及懲罰ノ種類程度度數其ノ他參考ト爲ルヘキ事項ヲ詳細ニ記入スヘシ

●出獄者互報ニ關スル件

大正一二年
花警保第二四三三號警務課長通達
釋放スヘキ受刑者ニシテ累犯ノ虞アルモノノ取扱ニ關シテハ大正十二年七月十六日花保第二三一〇號ノ一ヲ以テ變更相成リタル旨通達致置候處右出獄者ハ今回各州廳ヘ互報スルコトトシ既ニ互報協調濟ノ州廳モ有之候ニ付テハ當廳ニ於テハ是等出獄者ノ通知ヲ受ケタルトキハ警察事報ニ

〔花警保〕

登載シ一般通報スルコトニ相成候條犯罪豫防又ハ保護取締上遺憾ナキ様注意相成度
右通達ス

●少年刑務所收容區分ノ件

昭和三年一月
花警保第二九〇號ノ一警務課長通達
首題ノ件ニ關シ別記ノ通其筋ヨリ通達有之候條御了知相成度
右通達ス

追テ大正十三年十月七日付官法第三一五號ハ前通達無之候條申添候別記

總務長官通達（昭和三年一月官法第四九七號）

少年刑務所收容區分ニ付別紙ノ通各刑務所長ニ通達候條爲念
右通達ス

追テ即決官廳ニ於テ二十歳未満ノ男子ニ對シ懲役二月以上ヲ言渡シ且ツ確定シタル者ヲ刑務所ニ送致スル場合ニ於テハ少年刑務所ニ直送候條費管下即決官ヘ通達相成度
（別紙）

少年刑務所ニ於テ少年處遇（監獄法第二條、第十六條、第二十四條、第三十條等所定）ヲ爲スヘキ者ノ範圍及少年刑務所ニ收容スヘキ者ノ範圍ヲ左記ノ通ニ定メラレ候條
右依命通達ス

追テ大正十五年十月七日付官法第三一三號及同日付第三一五號通達

ハ之ヲ廢止ス

記

- 一 少年刑務所ニ於テ少年處遇（監獄法第二條、第十六條、第二十四條、第三十條等所定）ヲ爲スヘキモノ左ノ如シ
 - (一) 二十歳未満ノ男受刑者但シ心身發育ノ狀況ニ因リ特ニ除外スルコトヲ得
 - (二) 二十歳以上ノ男受刑者中心身發育ノ狀況ニ因リ特ニ少年處遇ヲ爲スノ必要アリト認メラル者
- 二 少年刑務所ニ收容スヘキ者左ノ如シ
 - (一) 少年處遇ヲ爲スヘキ者
 - (二) 收容指定ヲ受ケタル刑期三月以下ノ受刑者、期間百日以下ノ留置者及刑事被告人（之ニ準スル者ヲ含ム）
 - (三) 特ニ少年刑務所ノ作業ニ就カシムヘキ必要アル前號以外ノ受刑者又ハ留置者
- 三 少年刑務所收容者中前項ニ該當セサルニ至リタルトキハ本人ノ歸住地、釋放後ノ生計、其ノ他ノ事情ヲ參酌シ其ノ處遇ニ適當ナル他ノ刑務所（少年刑務所以外ノ刑務所ヲ指稱ス以下同シ）ニ移送スヘシ
- 四 前項該當者ト雖移送準備ニ必要ナル期間ハ少年刑務所ニ收容スルコトヲ得
- 五 他ノ刑務所ニ收容シタル二十歳未満ノ男受刑者ハ左ニ掲クル者ヲ除キ特別ノ事情ナキ限り一箇月以内ニ之ヲ少年刑務所ニ移送スヘシ
 - (一) 前ニ成年處遇ヲ受ケタルコトアル者

〔花警保〕

- (二) 移送後少年刑務所ニ收容スヘキ期間二月ニ滿タサル者
- (三) 心身發育ノ狀況ニ因リ少年處遇ノ必要ナシト認メラル者
- 六 前項第一號若ハ第二號ニ該當シ又ハ滿二十歳以上ノ男受刑者ト雖モ特ニ少年刑務所ニ於テ少年處遇ヲ爲スヘキ必要アリト認トラル者ハ之ヲ少年刑務所ニ移送スルコトヲ得

第六章 外事 支那労働者

●支那人退去ニ關スル件

大正六年三月
花警保第二〇四一號廳長通達

本件ニ關シ別紙寫ノ通警察本署長ヨリ通牒有之候條右ニ依リ取締ノ上該當者ハ詳細事實ヲ具シ報告セラルヘシ
右相達ス

(別紙寫)

支那人退去ニ關スル件

大正六年三月
本保第一四六號ノ一三警察本署長ヨリ廳長宛

各廳下ニ於ケル支那人犯罪者現在人員ヲ調査シタル處別表ノ通ニ有之候然ルニ貴廳ヨリ提出セラレタル支那人退去報告書ヲ見ルニ退去ノ處分ヲ受ケタル者ハ賣卜者、書房教師、賣藥行商者等ニシテ受刑者ニ對シテハ未ダ退去處分ヲ行ハレサルカ如ク甚シキハ是等ノ者ニ對シ要視察人トシテ取扱ハルアリテ保安規則第四條及清國労働者取締規則第十二條ヲ勵行セラレサル傾向有之遺憾不勝候條將來受刑者ニシテ本島ノ公安又ハ風俗ヲ亂ス者ト認定セラレタルトキハ必ス退去處分相成様致度
右通牒ス

(別表略)

●諭示又ハ命令ニ依ル退去支那人取扱

方ノ件

大正一四年七月
花警保第二七八九號警務課長依命通牒

第三編 保安 第六章 外事 支那労働者

〔花連警〕

本件ニ關シ別紙ノ通其筋ヨリ通牒相成候條右ニ依リ取計相成度
右依命通牒ス

(別紙)

諭示又ハ命令ニ依ル退去支那人取扱方ノ件

大正一四年七月警保
第一二九二號警務局長ヨリ知事廳長宛

諭示又ハ命令ニ依リ本島ヲ退去セシムル支那人ヲ送還スルニ當リ出港便船ノ有無等ニ顧慮セス所轄警察官署ニ護送引繼ヲ爲ス向アリ是カ爲所轄警察官署ハ次ノ便船迄數日間ヲ留メ置カサルヘカラス取扱上遺憾不勝候條今送還者護送ノ際ハ豫メ便船ノ日取等ヲ調査出發セシメ其出港ヲ監視セシムル様致度
右通牒ス

●外國旅券取扱心得

大正一一年七月
廳訓令第八號

第一條 支應ニ於テ外國旅券規則(以下略ス)第一條又ハ第一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル願書ヲ受理シタルトキハ別記第一號様式ニ依リ各事項ヲ調査シ意見ヲ附シ進達スヘシ
規則第一條第一項但シ書ノ規定ニ依リ戶籍謄本又ハ其ノ他ノ文書ノ添付ヲ省略シ差支ナシト認メタルトキハ其ノ理由ヲ副申スヘシ
第二條 規則第一條ノ二第二項ノ規定ニ依ル旅券下附請求書ニハ規則第一條第一項各號ノ事項ヲ記載セシムヘシ

第三編 保安 第六章 外事 支那労働者

第三條 警務課又ハ支廳ニ於テ願人ノ身元調査ニ付キ他官廳ニ照會ヲ要スル場合急ヲ要スルトキハ願人ノ申出ニ依リ其ノ費用ヲ以テ電報照會ヲ爲スコトヲ得

第四條 警務課、支廳ニ於テハ別記第二號様式ニ依リ外國旅券下附原簿ヲ備ヘ下附又ハ返納ノ都度記載整理スヘシ

第五條 旅券又ハ旅券下附承認證ヲ願人ニ交付シタルトキハ別記第三號様式ノ領收證ヲ徴シ且ツ必要ナル事項ヲ指示シ貼付ノ收入印紙ニ消印ヲ施シ進達スヘシ

規則第一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ下付シタルモノニ在リテハ領收證ハ之ヲ關係書類ニ一括シテ保存スヘシ

第六條 受持調査ハ其ノ區域内ニ於テ旅券又ハ旅券下付承認證ノ下付ヲ受ケタル者アルトキハ別記第二號様式ノ外國旅券下付者名簿ニ記入シ其ノ出發又ハ歸還ノ都度直ニ支廳長ニ報告シ支廳長ハ之ヲ廳長ニ報告スヘシ

第七條 警務課、支廳ニ於テハ別記第四號様式ノ外國旅券下付人名簿ヲ備ヘ旅券、旅券下付承認證ノ下付又ハ其ノ解除ヲ爲シタルトキ並他ノ官廳ヨリ其ノ通報ヲ受ケタル都度記載整理スヘシ

警務課ニ於テ旅券、旅券下付承認證ノ下付又ハ其ノ解除ノ取扱ヲ爲シタルトキハ各支廳並各州及廳ニ通報ノ手續ヲ爲スヘシ

第一號様式 (美濃紙)

外國旅券下付願者身元調査報告書

願書記載事項ハ事實相違ナキト否

〔花蓮管〕

第八條 旅券下付承認證又ハ三年間通用ノ旅券ヲ下付セラレタル者規則第八條各號ノ一ニ該當スルコトヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ報告スヘシ

第九條 支廳ニ於テ旅券用紙ノ配布ヲ受ケタルトキハ即日受領ノ旨ヲ回報シ別記第五號様式ニ依リ毎月末ニ於ケル現在數ヲ翌月五日迄ニ報告スヘシ

第十條 支廳ニ於テ書損其ノ他ノ事由ニ因リ不用ニ歸シタル旅券用紙ハ總テ券面ノ各認印ヲ抹消シ其ノ都度別記第六號様式ノ報告書ニ添付送付スヘシ

第十一條 旅券又ハ旅券下付承認證ノ返納ヲ受ケタルトキハ關係簿冊整理ノ上其ノ都度之ヲ送付スヘシ

第十二條 旅券又ハ旅券下付承認證ノ遺失紛失盜難又ハ發見ノ届出ヲ受理シタルトキハ速ニ報告スヘシ

警務課ニ於テハ前項ノ報告ニ依リ各州及廳ニ通報ノ手續ヲ爲スヘシ

附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔花蓮管〕

寫眞ハ願人ト相違ナキヤ否	規則第八條ニ該當スルモノニ非サルヤ否	前科ノ有無及要(視察人ニ非サルヤ)否	素行及經歷	資産(家族ナルトキハ戸主ノ分共)	旅費其ノ他携帶金額及其ノ用途	國籍取得年月日(本島人ニ限ル)	出發及歸國ノ豫定年月日	發航地、上陸地及目的地ニ於ケル滞在豫定所	曾テ旅券ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ最近ノ年月日及返納年月日	其ノ他警察上參考トナル可キ事項	右ノ通ニ付此段及報告候也	年	月	日	派 出 所	巡 査 何	某
--------------	--------------------	--------------------	-------	------------------	----------------	-----------------	-------------	----------------------	--------------------------------	-----------------	--------------	---	---	---	-------------	-------------	---

第二號様式 (美濃紙)

第三編 保安 第六章 外事 支那労働者

考 備	旅券番號	下付年月日	出年月日	返年月日	歸年月日	旅日	旅行日	同行家名	同行氏名	同族ノ氏名	生年月日	身 分	住 所	居又本	本籍地

第三號樣式

領收證

一、外國旅券 壹葉
但旅券番號第 日下付
右正ニ領收候也

年 月 日 殿

廳 街、庄、區 番 戶 氏

名 印

第四號樣式 (美濃紙)

事 由	下付年月日	旅 行 目 的	旅 行 地	本 籍 又 居 地	住 所	所 族 稱 身 分	氏 名 年 齡	備 考

〔花蓮管〕

第五號樣式

〔花蓮管〕

大正 年 月 日				大正 年 月 日				大正 年 月 日		大正 年 月 日	
前 月 繰 越	受 入	本 月 受 入	計	本 月 繰 越	中 間	現 在 旅 券	備 考	番 號 枚 數	番 號 枚 數	番 號 枚 數	備 考

第六號樣式 (用紙半紙半載)

大正 年 月 日		大正 年 月 日	
旅 券 番 號	書 損	其 他	事 由

●密渡航者取締ニ關スル件

大正一一年八月
警保第一〇九一號ノ一警務局長通牒

廳長宛

從來本島人ニシテ對岸へ密渡航スルモノノ經路ハ内地ヲ經由スルカ然ラサレハ島内諸港ヨリ直接密航スルノ途ニ過キサリシモ最近東洋汽船會社ノ天洋丸及「コレヤ」丸ノ諸船カ基隆ヨリ上海經由内地行航路開始以來基隆ヨリ長崎若ハ門司迄ノ乘船切符ヲ購ヒ途中上海へ寄港スルヲ奇貨トシ同地ニ上陸シ便船ヲ待テ更ニ福州以南へ廻航スル者増加ノ傾向有之哉ニテ相當取締方關係領事ヨリ照會ノ次第モ有之候處内地經由又ハ長崎若ハ門司迄ノ切符ヲ購ヒ上海ニ上陸シ更ニ福州以南へ密航スルトキハ旅券ノ下付ヲ受ケ渡航スル者ニ比シ三倍以上ノ經費ヲ要スヘキヲ以テ無旅券渡航ノ原因ハ當ニ手續ノ煩ヲ厭フノ結果ノミト見ルヲ得ス寧ロ旅券ノ下付ヲ受ケ得サルモノカ窮餘此ノ如キ手段ニ出ツルモノニハアラズヤト思料セラレ候ニ付テハ其邊充分調査ノ上一層ノ御注意相成度尙對岸在留民ニシテ登錄ヲ願出タルモノ又ハ其他ノモノニシテ密渡航者ナルコト分明セル場合ハ所轄領事ヨリ本人ノ本居地、寄留地及氏名、職業等貴官宛通報スル様打合置候條彼此相俟テ取締上遺憾ナキヲ期セラレ度
右經伺ノ上通牒ス

〔花蓮警〕

第七章 雜

●保安事項報告方ノ件

昭和六年一月
花警保第五四九七號警務課長依命通達

臺灣總督府報告例其ノ他特ニ規定アルモノ以外ノ保安係主管ニ屬スル事項ハ別紙報告例ニ依リ調査報告相成度
右依命通達ス

(別紙)

保安事項報告例

- 一 本例ハ臺灣總督府報告例其ノ他特ニ規定アルモノノ外保安事項ニ關シ支廳ヨリ本廳ニ報告スヘキ事項、順序、様式ヲ示スモノトス
- 二 報告期限ハ各様式ニ指定ス
- 三 調査ノ屬スル時期ハ表名ノ下部ニ記入スヘシ
- 四 報告ハ美濃形料紙ヲ用ヒ左例ノ如ク一報告毎ニ末尾ニ年月日、官氏名、宛名ヲ記シ捺印スヘシ

例

右報告ス

年 月 日	支廳長	官 氏	名
廳 長 宛			

五 報告例目申報告スヘキ事實ナキトキハ其ノ旨ヲ、調査ヲ爲シ難キ事故アルトキハ其ノ事由ヲ附シ前項ノ規定ニ依リ報告スヘシ

第三編 保安 第七章 雜

〔花蓮警〕

- 六 調査未済其ノ他事故ノ爲報告期限内ニ報告ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由及豫定期日ヲ附シ延期ノ申請ヲ爲スベシ
 - 七 記表ハ日本數字ヲ使用スベシ
 - 八 數位ハ單位ヲ指定セザルモノハ金位ニ在リテハ錢位迄其ノ他ハ單位以下二位迄ヲ掲ゲ單位ニ、ヲ附シ其ノ傍ニ圓、立、噸等單位ノ名稱ヲ記入シ千位、百萬位等三位毎ニ、ヲ附スベシ尙計算々特ニ定ムルモノノ外四捨五入法ニ依ルベシ
 - 九 計數未済ノ欄ニハ「？」ヲ計數ナキ欄ニハ「—」ヲ記入シ脱漏ニアラザルコトヲ示スベシ
 - 十 備考ニハ特ニ指定シタルモノノ外前報告ノ事實ニ比シ著シキ増減アリタルトキ又ハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スルトキ其ノ他特ニ必要アリト認ムル事項ニ付其ノ要旨ヲ記入スベシ
 - 十一 報告例目 (様式別紙)
- | | |
|-----|------------|
| 第一表 | 檢束者調 |
| 第二表 | 假領置物件調 |
| 第三表 | 火藥類使用又ハ消費調 |
| 第四表 | 鳥獸驅除成績調 |
| 第五表 | 原動機工場調 |
| 第六表 | 遺失物調 |
| 第七表 | 講 會 |
| 第八表 | 質屋 (其ノ一) |
| 第九表 | 質屋 (其ノ二) |
| 第十表 | 貸座敷 |

- 第十一表 料理店
- 第十二表 飲食店
- 第十三表 宿 屋
- 第十四表 諸興行調
- 第十五表 諸營業其ノ他行政處分
- 第十六表 戒告浮浪者調
- 第十七表 無賴漢調
- 第十八表 精神病者調
- 第十九表 變死傷者調
- 第二十表 交通事故
- 第二十一表 自動車事故
- 第二十二表 營業自動車乘客貨物貨金
- 第二十三表 異種族雜事調
- 第二十四表 アミ族戸主相續調
- 第二十五表 アミ族姓名變更調
- 第二十六表 保甲負擔夫役調
- 第二十七表 壯丁團ノ出動及救護
- 第二十八表 保甲及消防組員ノ褒賞
- 第二十九表 保甲及審社會議 (其ノ一)
- 第三十表 保甲及審社會議 (其ノ二)
- 第三十一表 保甲過慮處分
- 第三十二表 行旅病死者及乞食調
- 第三十三表 留置人員日數調

〔花蓮警〕

- 第三十四表 罰金科料收納調
 - 第三十五表 沒收金品調
 - 第三十六表 未檢舉重要犯罪件數
 - 第三十七表 刑事要視察人
 - 第三十八表 外國旅券下付人員
 - 第三十九表 支那勞働者調
 - 第四十表 非勞働支那人職業調
 - 第四十一表 設論顯件數人員
 - 第四十二表 設論及注意件數
 - 第四十三表 行政搜查件數
 - 第四十四表 收入印紙貼用額調
 - 第四十五表 偽造變造模造ノ貨紙幣銀行券證券發見數
 - 第四十六表 勞働者調
 - 第四十七表 勞銀調
 - 第四十八表 アミ族義務出役人員
 - 第四十九表 アミ族懲罰
 - 第五十表 アミ族犯罪件數人員
- (別紙様式省略)

保安警察關係事項報告方ノ件

昭和四年六月
花警第二五二一號警務課長依命通達
首題事項ニ關スル民情等ハ從來高等報告トシテ相當報告セラレ居候處之

〔花蓮警〕

右依命通達ス

●身元調査ニ關スル件

昭和二年一月
花警保第二一六號警務課長依命通達
出入者ノ取締ニ關シテハ常ニ相當配意セラレツツアル處ナルモ近來轉入者ノ増加ニ伴ヒ諸種ノ警察事故頻發ノ狀況ニ鑑ミ之カ豫防上保甲其他ノ機關ヲ督勵シ特ニ轉入者ノ取締ヲ嚴ニスルト共ニ身元判明セサル者ニ對シテハ前住地所轄警察官署ニ就キ調査ヲ遂ケ犯罪其他警察事故ノ豫防排除ニ努メラルヘシ
右依命通達ス
追テ身元調査シタル人員ヲ當分左記様式ニ依リ月報可相成申添候
記

年 月 中

種	族	人員	同		上		内		備	考
			前	科	者	身元不良ノ者	身元不良ニアラサルモノ			

右報告ス

年 月 日

支 廳 長 名

(註、人員ハ照會先ヨリ回答ヲ受ケタル人員トス)

第三編 保安 第七章 雜

等報告ハ單ニ民情察知ノ資料タルニ止マラス警察下命、警察處分等警察權發動ノ端緒トナリ又ハ保安行政上ノ施設計劃ノ資料參考トナルハ勿論一面犯罪豫防又ハ捜査上有力ナル資料タルモノ尠カラス然ルニ近來之等ノ報告一般ニ少ナク僅カニ新聞記事又ハ投書等ニ依リテ其ノ一部ヲ窺知スルノ狀態ニシテ行政警察上不都合不都合候條特ニ法令、令達等ニ依リ報告スヘキモノノ外保安、風俗、交通、産業、警察上ノ個々ノ事件及一般ノ趨勢、傾向並參考トナルヘキ萬般ノ事象ハ勿論警察下命、警察處分等ニ對スル本人又ハ一般人ノ感想批判等ニ付テハ豫テ部下職員ヲ督勵シ常ニ周密ナル査察ヲ行ハシメ苟モ新聞記事等ニ先セラレ警察ノ威信ヲ失墜スルカ如キコトナキ様努メラレ度尙探知シタル事項ニ付テハ其ノ概要ヲ即報シ一面其ノ真相ヲ調査シ相當處置シタルモノハ其ノ願末ヲ又處置ヲ要スルモノハ其ノ意見ヲ附シ迅速ニ詳報シ以テ機宜ノ措置ヲ講スル等行政警察上遺漏ナキヲ期セラレ度

身元調査人員

甘蔗盜食取締ニ關スル件

大正一二年一月
花警保第一七一號警務課長依命通達

甘蔗ノ盜食ハ廣汎ナル地域中不時ニ行ハレ取締最モ困難ニシテ又一事一件トシテハ多ク輕微ナル事項ニ屬スルヲ以テ取締稍懈却セラレ居ルカ如キ傾アリ今當局ノ調査ニ依レハ前製糖期中ニ於ケル盜食ノ數量實ニ三、五八四・二四〇斤總製糖原料ニ對スル被害歩合一割五分八厘ニ相當スト謂フ之レ人爲ニノミ依ル被害ニアラスト雖產業上看過スベカラザル現象ナリ

元來甘蔗ノ盜食一事一件トシテハ輕微ナリト雖之ヲ數次反覆政行スルニ於テハ所謂習性トナリ公安ヲ害シ風俗ヲ紊ル禍根トナルモノニ付些々タリト雖嚴重取締ヲ要スル次第ニシテ警察ハ常ニ之ヲ防遏シ又芽萌ノ間ニ之ヲ剪除スルノ注意ナカルヘカラス

然シテ本件ノ如キハ廣汎ノ地域中不時ニ行ハレ取締最モ困難ナリト雖注意ノ如何ニ依リテハ不可能ト曰フヘカラス即チ反則者ニ對シテハ違警例ニ依リ處罰スルハ勿論保甲、蕃社老番會議其他機會ヲ利用シ注意反覆各自ノ覺醒ヲ促シ保甲ニ於テハ協約ノ上過意金制裁ヲ付シ蕃社ニ於テハ舊慣蕃社刑事項トナス等取締ヲ勵行シ惡風矯正ニ努メラルヘク右依命通達ス

森林原野火入取締規則

大正一五年七月
廳令第四號

〔花蓮警〕

第一條 森林原野又ハ山岳ノ火入ハ臺灣森林令同附屬法令ノ規定ニ據ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 開墾又ハ造林地帯ノ目的ヲ以テ本令ニ依リ火入ヲ爲サムトスル者ハ口頭又ハ別記様式ニ依リ火入箇所所轄森林主事又ハ警察官吏ヲ經テ出願シ許可ヲ受クヘシ

第三條 火入ニ付テハ森林主事又ハ警察官吏ノ指揮ニ從フヘシ

第四條 前條指示ノ設備完成シタルトキハ其ノ旨届出テ檢査ヲ受ケ點火スヘシ

第五條 火入ノ時刻ハ日出ヨリ日没迄トシ無風、軟風又ハ和風ノ日ニ非サレハ著手スルコトヲ得ス

第六條 火入ノ爲延燒其ノ他危害ノ虞アリト認メタルトキハ直チニ森林主事若クハ警察官吏ニ急報スヘシ

第七條 林野又ハ山岳ニ接近スル耕地ノ火入ハ前各條ノ例ニ依ル

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 本規則第二條乃至第六條ノ規定ニ違反シタル者

一 火ヲ失シテ原野山岳ヲ燒毀シタルモノ

一 原野山岳ニ放火シタルモノ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式

火入願

左記ノ通火入致度候ニ付御許可相成度此段相願候也

年 月 日

〔花蓮警〕

住所

氏 名

廳長宛

記

一、接近保安林又ハ接近森林及原野何區何、何々保安林又ハ何々山或ハ何々原野

二、火入地

何區何土名何

地番

地目

面積

接近森林原野ニ對スル火入地ノ位置

三、火入ノ目的

四、防火ノ方法及設備

五、點火ノ時刻

森林原野火入取締規則施行手續

大正一五年七月
廳訓令第八號

第一條 森林原野火入取締規則施行手續ニ關シテハ森林原野火入取締規則(以下單ニ規則ト稱ス)ニ據ルノ外本令ニ依ルヘシ

第二條 取締規則第二條ノ願出アリタルトキハ左記事項ヲ實地ニ調査ノ上支廳長ニ報告スヘシ願書アル場合ハ同時ニ進達スルコト

第三編 保安 第七章 雜

一 接近保安林又ハ接近森林原野何區何々、何々保安林又ハ何々山或ハ何々原野

二 火入地

何區何土名何

地番

地目

面積

接近森林原野ニ對スル火入地ノ位置

三 火入ノ目的

四 防火ノ方法及設備

五 點火ノ時刻

六 火入ノ期間

七 許可支障ノ有無

第三條 規則第三條ノ指揮第四條ノ點火ニ就テハ大約左記事項ヲ參酌シ實地ニ適應スル防火ノ設備ヲナサシメ檢査ノ上差支ナシト認メタル上點火セシムヘシ

一 防火線ノ位置及幅員

二 警戒員ノ人員

三 警戒員配置箇所ノ適否ト其ノ數

四 携行消火器具

第四條 警察官吏規則第六條ノ報告ヲ受ケ又ハ森林主事ノ通報ヲ受ケタルトキハ即報スルト共ニ保甲或ハ消防組等部落民ヲシテ消防又ハ危害ノ防止ニ努ムヘシ森林主事同條ノ通告ヲ受ケタルトキハ即報スルト共

ニ最寄警察官吏ニ急報シ協力消防又ハ危害ノ防止ニ努ムヘシ
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

林野其他火入取締ニ關スル件

大正一四年二月
花警保第六六五號警務課長依命通牒
本件ニ關シ別紙甲號ノ通花連支廳長ノ上申ニ對シ乙號ノ通通牒相成候條
右ニ依リ取締相成度
右依命通牒ス
(別紙)
甲號

林野其他火入取締ニ關スル件

大正一四年二月
花警保第三四九五號花連支廳長照會
從來管内番人ノ茅野火入又ハ一般蕪園火入ノ際延焼防止施設ノ不完全
ヨリ隣接林野蕪園等ニ延焼シ時ニハ人家ニ延焼シ又ハ危險ヲ及ホシタ
ル事例尠ラス之カ取締ニ付テハ尠ラズ困難ヲ感シ居タル次第ナルカ今
後左記方針ニ依リ取締致度候條何分ノ御指示相仰度
右ニ上申ス
左記

- 一 (削除)
- 二 (削除)

〔花連警〕

三 蕪園ハ害蟲驅除ノ爲メ刈取り後火入ヲ爲スヲ常トスルヲ以テ前
項ニ依リ難キ事情アリ又其地域カ森林ニ接近セサル場合ハ森林令
ノ適用ヲ受ケサルカ故ニ蕪園火入ハ受持派出所駐在所ニ届出テ受
持員ハ前項ニ準シ適否ヲ調査シ之ヲ許シ其旨第一監視區内ハ支廳
ニ其他ハ各監視區監督ニ報告スルコト但花連港市街地及人家ニ近
接スル場所ハ火入ヲ許ササルコト

- 四 (削除)
- 五 (削除)
- 六 (削除)
- 七 (削除)

(本件一、二、四、五、六、七號ハ昭和四年二月十九日花警保第八一
〇號及大正十五年廳令第四號森林原野火入取締規則ニ依リ消滅)

林野其他火入取締ニ關スル件

大正一四年二月
花警保第六六五號警務課長依命通牒
本件ニ關シ大正十四年二月二十日花支警第三四九五號ヲ以テ上申相成
候處森林及森林ニ接近スル土地ノ火入ニ關シテハ森林令及同施行規則
ニ依リ取締可相成其他ノ場所ニ於ケル火入ハ上申ノ各項ニ依リ災害ヲ
未然ニ防止スル様取締相成度
右依命通牒ス

林野其他ニ於ケル火入取締ノ件

〔花連警〕

關稅警察ニ關スル件

大正十四年四月
本保第三四八號警察本署長通牒
關稅警察上輸入ノ意義ニ關シ各廳其ノ解釋區々ニ涉ルヤノ聞ヘ有之候處
右ハ今般左ノ通り府議決定相成候條御了承相成度
右通牒ス
左記

一 貨物ノ輸入トハ貨物ヲ船舶ヨリ我國内ニ陸揚スルヲ謂ヒ貨物ヲ積
載シタル船舶カ我港内ニ入ルモ未タ陸揚ヲ爲ササルトキハ之ヲ以
テ貨物ノ輸入アリタルモノト云フヲ得ス

金ノ密輸出取締ニ關スル件

昭和七年九月
花警保第四三一四號警務課長依命通牒
首題ニ關シ別記ノ通警務局長ヨリ通牒有之候條右ニ依リ嚴重取締相成度
右依命通牒ス
(別記)

金ノ密輸出取締ニ關スル件
昭和七年九月
警々乙第二六一七號警務局長ヨリ各州知事廳長宛
昨年十二月金輸出再禁止後地金ノ暴騰ニ因リ之ヲ對岸地方ニ密輸出ス
ルモノ不尠ヤニ聞及居候處最近銀行等ニ於ケル本島人ノ預金急ニ増加
シツ、アル事實アリ此ノ財界不況ノ際如斯奇現象ヲ呈スルハ利ニ敏キ
本島人カ裝身具其ノ他ノ金製品ヲ賣却シ之ヲ預金ニ替ヘ或ハ金採取事

昭和四年二月
花警保第八一〇號警務課長依命通牒
首題ニ關シ大正十四年二月二十三日花警保第六六五號ノ一及同年七月十
七日花警保第二、六六六號ヲ以テ依命通達ノ次第有之候處大正十五年
七月二十九日廳令第四號ヲ以テ森林原野火入取締規則制定セラレ候ニ就
テハ該規則ニ依リ取締ヲ施行スルハ勿論ニシテ前記通達ハ自然消滅シタ
ルモノニ有之候條爲念
右依命通達ス
追而大正十四年二月二十日花支警第三、四九五號花連支廳長上申第三
項ニ就テハ從來ノ如ク嚴重取締施行相成度申添候

野火取締ニ關スル件

昭和七年七月
花警保第三四八五號警務課長依命通牒
近來廳下各所ニ頻々トシテ野火發生シ保護林等ノ燒失セルモノ有之候處
之等ノ原因ハ從來殆ント判明シタルモノナク取締上困難トスル處ナルモ
其ノ多クハ通行人ノ喫煙、出獵者ノ焚火或ハ田畑火入ノ延焼其ノ他牧草
ヲ繁茂セシメンカ爲故意ニ放火スルニ原因スルモノ多カルヘク捜査上ノ
手配モ概ネ之等ノ見込ニテ實施セラレツ、アル狀態ニシテ取締ノ如何ニ
依リ豫防シ得ラル、事項ト思料セラレ候條保甲及番社等一般ニ對シ豫防
警戒上ノ心得ヲ懇諭スルト共ニ一朝事故發生ノ場合ハ急速消防機能ヲ充
分ニ發揮シ得ル様各消防組員ハ勿論其ノ他警察補助機關ノ訓練ニ努メ災
害豫防上遺憾ナキヲ期セラレ度
右依命通牒ス

業ニ關與セル本島人等ニシテ不正ニ之ヲ領得處分シタル結果ト想像スヘク之等ノ點ヨリ地金ノ對岸輸出ハ豫想外ニ多額ニ上ルニアラサルヤト思料セラレ候如斯ハ金貨幣又ハ金地金輸出取締ニ關スル府令ノ規定ニ違反スルノミナラス國策ノ大方針ニ背反シ強イテハ我國富力ニモ影響ヲ及ホスヘキ事實ニ有之候條左記事項ヲ參酌シ嚴重取締相成度右依命通牒ス

追テ船舶、旅客、輸出貨物等ノ取締ニ付テハ稅關官吏ト聯絡ヲ保チ取締上遺憾ナキヲ期セラレ度尙自今密輸出ヲ檢査シタルトキハ其ノ事件ノ大小ヲ問ハス其ノ都度報告相成度申添候

記

- 一 對岸ニ往復スル船舶ニ對シテハ臨檢ヲ嚴重ニシ且ツ船員ノ陸上ニ於ケル動靜等ハ特ニ注意ヲ拂ヒ密輸出ノ餘地ナカラシムルコト
- 二 對岸ニ旅行スルモノ、用向等ヲ考慮シ其ノ所持品、貨物等ニ付テハ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ密輸出ノ餘地ナカラシムルコト
- 三 密貿易ヲ爲ス處レアルモノニ對シテハ觀察ヲ嚴重ニシ密輸出ノ餘地ナカラシムルコト
- 四 金銀細工業者、古物商、兩替業者等ノ觀察ヲ嚴重ニシ常ニ地金ノ取引高ヲ明ニシ置キ密輸出者ノ乘スル機會ナカラシムルニ努ムルコト
- 五 臺北州ニ於テハ瑞芳金山ノ下諸業者カ採掘シタル金塊ヲ會社ニ納入セス之ヲ地金商ニ賣却スル處レアリ會社ト連絡ヲ保チ取締ヲ要ス

〔花蓮警〕

●寄附金募集取扱方ニ關スル件

大正一四年九月 總警第一九六八號總務長官通牒

大正十一年府令第四十九號團體ノ費用徵收及寄附金募集ニ關スル規則ニ依リ新聞紙、雜誌其他出版物ノ發行者クハ其經營ノ目的ヲ以テ寄附金品募集ノ願出アリタル場合ニ於ケル許可方針ニ就テハ既ニ夫々攻究中ノコトト存シ候得共本件ハ元來寄附募集ノ許可ヲ與ヘテ募集ヲ容易ナラシムルノ意ニ非ラスシテ新聞雜誌社ノ新聞雜誌記者及出版業者等ノ惡徳行爲取締上止ムヲ得サルニ出テタルモノナルヲ以テ之カ許可ニ當リテハ深甚ノ注意ヲ拂ハレ度例之新聞紙雜誌出版物稱スルモ有名無實ニシテ反テ世人ニ迷惑ヲ及ホスカ如キモノニ對シテハ絕對ニ許可ヲ與ヘサルハ勿論相當ノ新聞雜誌社出版業者ト雖年賀廣告又ハ廣告自體ガ何等カノ實價アリ若ハ實益ヲ伴フモノト認メラルル記念廣告ヲ除クノ外濫リニ名目ヲ設ケテ寄附ヲ募集スルカ如キハ許可セサル様御取扱相成度尙當分ノ間本件許否決定ノ際ハ豫メ警務局ヘ稟議相成度右通牒ス

●團體ノ費用徵收及寄附募集ニ關スル件

大正一五年一月 官審第一八號總務長官代理通牒

團體ノ費用徵收及寄附募集ノ許可ニ關シテハ今般大正十一年府令第四十九號ヲ改正シ總テ知事廳長ニ於テ之ヲ行フコトト相成候處費用徵收又ハ寄附募集ニシテ其區域二州、廳以上ニ互ル場合ニ於テハ各州、廳ノ步調

〔花蓮警〕

ヲ一ニスル必要有之候條其許否ニ關シテハ關係各廳間協議ヲ遂ケラレ若シ協議調ハサルトキハ總督ノ指揮ヲ受クル様致度右依命通牒ス

●團體ノ費用徵收及寄附募集ニ關スル件

大正一五年三月 警保第四三三號警務局長通牒

廳長宛

標記ノ件本年一月二十日官審第一八號ヲ以テ依命通牒相成候處尙募集區域二州、廳以上ニ互ル場合ノ取扱ニ關シ疑義ヲ狭マルル向アルヤニ及聞候右ハ募集區域カ二州、廳以上ニ互ル場合ハ關係各州、廳ニ出願セシメ當該州、廳ニ於テ夫々許否スルヲ原則トシ只其間同一事項ニ對スル關係州、廳ノ處分カ甲乙相反スルカ如キ結果ニ於テハ面白カラサルヲ以テ其邊協議ヲ遂ケ步調ヲ一ニスルノ趣旨ニ有之候條誤解無キ様御了知可相成右經伺ノ上通牒ス

●團體ノ費用徵收及寄附金募集ニ關スル件

大正一五年四月 警保第四三三號警務局長通牒

廳長宛

出願ニ係ル團體ノ費用徵收又ハ寄附金募集區域二州、廳以上ニ互ル場合之カ處理方法徒ニ煩雜ニ流ルルヤノ聞ヘ有之事務簡捷上遺憾至極ノ儀ニ有之候ニ付テハ爾今右ノ場合ニ在リテハ左記ニ依リ取扱可相成及通牒候

記

- 一 發議官廳ハ出願者ノ住所又ハ主タル事務所所在地管轄州、廳トシ許否ニ關スル必要事項ヲ調査シ之ニ意見ヲ附記シテ關係州、廳ニ

照會スルコト

- 一 團體ノ費用徵收又ハ寄附金品募集ノ區別
- 二 出願者ノ住所職業及氏名
- 三 許可年月日
- 四 徵收又ハ募集ノ目的
- 五 徵收又ハ募集ノ方法
- 六 徵收又ハ募集スヘキ金品ノ種類、數量
- 七 徵收ノ時期又ハ募集ノ期間

●團體ノ費用徵收又ハ寄附金募集許可ノ場合通報方ノ件

大正一五年六月 警保第一〇七〇號警務局長通牒

廳長宛

爾今貴州(廳)ニ於テ團體ノ費用徵收又ハ寄附金品募集方許可相成候場合ハ其都度左記事項ヲ具シ通報相成度右通牒ス

記

- 一 團體ノ費用徵收又ハ寄附金品募集ノ區別
- 二 出願者ノ住所職業及氏名
- 三 許可年月日
- 四 徵收又ハ募集ノ目的
- 五 徵收又ハ募集ノ方法
- 六 徵收又ハ募集スヘキ金品ノ種類、數量
- 七 徵收ノ時期又ハ募集ノ期間

中華會館寄附金募集取締ニ關スル件

昭和六年一〇月
花警保第四八三七號ノ一警務課長依命通牒

首題ニ關シ別紙ノ通警務局長ヨリ通牒有之候條右ニ依リ嚴重取締相成度
右依命通牒ス

(別紙)

中華會館ノ寄附金募集取締ニ關スル件

昭和六年一〇月
警務乙第三〇八五號警務局長通牒

首題ニ關シ別紙寫ノ通臺北州知事ヨリ通報有之候條該當事實ニ對シテ
ハ嚴重御取締相成度
右依命通牒ス

(別紙)

臺北州知事通牒 (昭和六年十月北警保第一〇六〇八號)

州下中華會館基隆分館及淡水中華會館ニ於テハ其ノ維持費トシテ中華
民國戎克船ニ對シ入港毎ニ石數ニ應ジ三圓若ハ五圓ノ寄附金ヲ強制的
ニ徵收シ來リタルガ如斯ハ港灣發展ヲ阻害スル虞アリ許容スヘカラサ
ルモノト認メ總督府稅關長ニ照會シ其ノ意見ヲ求メタル處別紙寫ノ如
キ回答ニ接シ候ニ就テハ將來之ヲ中止セシメ大正十一年四月府令第四
十九號團體ノ費用徵收及寄附金募集ニ關スル規則ニ依リ取締ヲ勵行ス
ル方針ニ有之候處他州ニモ同様ノモノ有之哉ニ認メラレ候條
右通報ス
別紙寫

〔花運警〕

稅關長回答 (昭和六年九月關第二四二二號ノ一〇)

別紙御照會ノ首題ノ件民國籍戎克船ガ入港毎ニ一率ニ寄附金ヲ課セ
ル點及其ノ名目ニ於テ寄附ト稱スルモ實際上寄附金ヲ強制セラルル
點ヨリ見ルトキハ恰モ噸稅ノ二重課稅ニ異ナラザル結果其ノ強徵セラ
レタル寄附金ハ自然輸出入貨物ニ轉嫁セラレ多少共外國貿易ヲ阻礙ス
ベキヲ以テ關稅行政ノ見地ヨリ此ノ如キ行爲ハ之ヲ禁止スルノ必要有
之殊ニ當關ノ調査ニ依レバ右事實ハ目下ノ處貴州管内ノ外高雄、鹿港、
梧棲ノ三港ニ止メル如キナルモ會館側ノ意見ハ寄附金募集ノ機關タニ
備ハラズ全島ノ之ヲ募集スルノ意向ナルコト察知スルコト難カラ
ズ

然ルニ前顯ノ行爲ヲ取締ルベキ法規ハ差當リ大正十一年四月府令第四
十九號團體ノ費用徵收及寄附金募集ニ關スル規則ニ依ルノ外無之ト被
存候條右ニ依リ全島ノ之嚴重取締相成様御配慮相煩度此段回答旁々及
照會候也

銀行條例違反者取締ニ關スル件

大正一五年
花警保第三五二九號警務課長依命通牒

信託會社又ハ信託公司等種々ナル名稱ノ下ニ銀行條例違反ノ業務ヲ爲ス
者ニ對スル取締方ニ關シ六月二十六日附ヲ以テ別紙寫ノ通當該地方長官
ニ通達致置候趣ヲ以テ其筋ヨリ通牒有之候條貴管内ニ於テモ該當者有之
候ハ右通達ノ趣旨ニ依リ嚴重御取締相成其結果七月二十日迄報告相成
度

〔花運警〕

右依命通達ス

(別紙)

銀行條例違反者取締ニ關スル件

大正一五年六月
總務長官ヨリ各州知事宛

貴管下(臺北州ニ對シテハ)臺灣興業信託株式會社(臺中州ニ對シテハ
「別記各會社公司」高雄州ニ對シテハ「屏東信託株式會社」ト記載スルコ
ト)ノ業務內容調査ノ爲ニ派遣シタル當府員ノ復命ニ依レハ該會社
ハ(臺中州ニ對シテハ)之等ノ會社公司ト記載スルコト)公ニ開キタ
ル店舗ニ於テ營業トシテ金錢ノ貸付ヲ爲スノ外信託金ナル名稱ノ下ニ
(臺中州ニ對シテハ)信託金、保管金、信託保管金等種々ナル名稱ノ下
ニト記載スルコト)公衆ヨリ金錢ノ受入ヲ併セ行ヒ居レルモ右ハ信託
法ニ謂フ所ノ信託ニ非スシテ其實質ニ於テ消費寄託ノ性質ヲ有シ銀行
預金ニ該當スルモノ有之從ツテ當該會社(臺中州ニ對シテハ)當該
會社公司ト記載スルコト)ノ行爲ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケスシテ諸預
リ及貸付ヲ併セ營ムモノニシテ明ニ銀行條例ニ違反スル不都合ノ行爲
ニ有之候而シテ之等違法業者ノ取締ニ關シテハ大正六年九月二十一日
附民財第四六九四號ヲ以テ通達ノ次第モ有之候處未ダニ之カ根絶ヲ見
サルハ誠ニ遺憾ニ被存候然ルニ近來大藏省ニ於テモ嚴重ニ違法不正ノ
金融業者ノ取締ヲ勵行シ且本島ニ於テモ最近農村經濟狀態良化ノ趨勢
ニアリ貸付金ノ回收並受入金ノ拂戻モ比較的容易ナラント認メラルル
ニ付テハ旁此際之等違法營業ノ徹底取締ヲ勵行シ之カ根絶ヲ期シタ
ク候條貴官ニ於テ之等銀行條例違反者ヲ諭示シテ其違法業務ヲ廢止セ

偽造貨幣取締ニ關スル件

昭和六年一二月
花警保第五〇七五號警務課長依命通達

本島ニ於テ發見セララル偽造貨幣ハ大正十三年迄ハ其ノ數比較的少ナク
多クモ三百個ヲ越ユルコトナカリシガ大正十四年中ヨリ俄ニ増加シ年々
概ネ千個以上ニ及ビ其ノ内五十錢銀貨最多ク逐年増加ノ傾向ヲ迎リ昭和
四年中ノ如キハ五十錢銀貨ノミニテ實ニ一千七百二十一個ヲ算スルニ至
レリ其ノ偽造技術モ亦漸次巧妙トナリ材料亦地銀ヲ用フルモノアリテ容

シメ現ニ受入濟ノ金錢ハ成ルヘク速カニ之カ拂戻ヲ完了セシムル様御
取計相成度尙前揭會社(臺中州ニ對シテハ)會社公司ト記載スルコト)
以外ニ同様ノ違法業者有之候ハ右同様ニ嚴重御取締相成其結果報告相
成度
右依命通達ス
(別記)

- 臺中州
- 臺中產業信託株式會社
- 臺中恒產信託株式會社
- 鹿港物產信託株式會社
- 草屯產業信託株式會社
- 中南拓殖株式會社
- 草屯共成信託金融公司
- 利源產業信託株式會社

易ニ其ノ眞偽ヲ鑑別シ能ハザルモノ甚多キヲ見ルニ至リ其ノ出來榮ニ徵シ實際市場ニ流通セラレ居ル偽造貨幣ノ數ハ蓋シ相當巨多ニ上リ居ルベキハ想像ニ難カラザル處ナリ而シテ之ヲ當廳下ニ見ルニ昭和四年迄ハ僅々數個ヲ發見スルニ過ギザリシニ昭和五年ニ至リ俄然五十餘銀貨八十九枚ヲ發見シ其ノ數臺北州ニ次ギ本年ニ入りテハ益々増加ノ傾向ヲ示シ十一月末日迄ニ發見セル數ハ實ニ五十餘銀貨百三十九個十餘白銅貨二十四個同銀貨一個計百六十四個ニシテ近時稍々減少ノ傾向アルモ依然其ノ跡ヲ絶ツニ至ラズ歲末ノ取引混雜時ニ於テハ更ニ多數ノ發見ヲ見ルニ至ラズヤト憂慮セラレル處ナリ今之等偽造貨幣發見ノ經路ヲ探究スルニ從來島内ニ於テ偽造行使セラレタルモノハ概ネ偽造拙劣ニシテ未ダ流通セザル前ニ檢査セラレツツアル狀況ナルヲ以テ現ニ市井ニ於テ發見セラレルモノハ殆ド對岸南支那方面ヨリ輸入セラレタルモノト認メラレ當局ノ通報ニヨレバ對岸ニ於テハ現ニ浙江省温州府平陽縣内及廣東省汕頭府澄海縣内其他數ヶ所ニ於テ極メテ精巧ナル機械ヲ使用シ多量ニ偽造セラレツツアルガ如キモ中國官憲ノ取締殆ド勵行セラレズ偽造銀地ノモノハ邦貨一圓ニテ偽貨二圓乃至二圓五十錢、銅地ニ銀鍍金シタルモノハ三圓位ニテ何人ニテモ入手シ得ル狀況ナルニヨリ中國人就中浙江省温州人及江西省贛州人等ハ之等ヲ購入輸入スル者多キ狀態ニシテ帝國出先官憲ニ於テハ其取締ニ腐心シツツアル處ナルモ中國官憲ニ於テ之ヲ容認シ居ルガ如キ疑アリ從ツテ中國官憲ノ手ヲ借りテ以テ之ヲ檢査スルガ如キハ到底望ミ難ク其他各種ノ事情ヨリ其網減ヲ計ルコトハ誠ニ至難ト認メラレ結局本件ハ關係當局ト協力シ自衛ニ俟ツノ外ナキ狀態ナリ

〔花邊警〕

ルコトトハ思料候モ既往ヲ通ジ之ニ關スル犯罪ヲ檢査シタル事例ナク右ハ其檢取取締ノ困難ニモ因ルベシト雖モ誠ニ遺憾ノ次第ニシテ斯クノ如キハ帝國幣制ノ維持及一般取引ノ安全ヲ期スル上ニ於テ忍諾ニ附スベカラザルモノアリト認メラレ特ニ警務局長通牒ノ次第モ有之候條續今之カ檢取取締ニ付テハ別ニ規定アルモノニ依ルノ外左記各項ニ依リ嚴重取締勵行ノ上其目的ヲ達セラレ度

右依命通達ス

追テ通貨偽造、輸入、行使事件ノ檢舉者及申告者ニ對シテハ可及的警察實與施行ノ管ニツキ其運用上留意相成度申添候

- 記
- 一 偽造貨幣ヲ發見シ又ハ其發見届出ヲ受ケタルトキハ其偽造貨幣ヲ領置シ敏速ニ所持者、發見届出人等ニツキ其入手ノ經路ヲ溯及シ交付者、行使者ヲ嚴密調査スルト共ニ其等ノ者ノ身許及發見、所持、交付、行使ノ狀況ヲ調査シ必要ト認ムルトキハ其承諾ノ下ニ所持金、携帶品其他ノ實況見分ヲ分ツベシ
 - 二 偽造貨幣所持者、發見届出人、交付者、行使者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特ニ調査ヲ精密ナラシムベシ
 - (一) 貨幣偽造ノ技術ヲ有スル者
 - (二) 曾テ通貨又ハ密輸入ニ關スル犯罪ニヨリ處罰ヲ受ケ又ハ其嫌疑ニ因リ捜査ヲ受ケタル者
 - (三) 偽造地、輸入地、移入地、多數ノ偽造貨幣流通地ト目サレル地方ト往來シ又ハ其地方ニ本國、本籍(居)地、住所、親族、友人、取引先等ヲ有スル者

〔花邊警〕

- (四) 中國人又ハ船員
- (五) 前四號ノ者ト豫テ接近關係アル者
- (六) 其他不審ノ點アル者
- 三 偽造貨幣行使、交付、所持狀況ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者
 - (一) 二個以上ノ偽造貨幣ヲ同時ニ行使、交付、所持シタル者
 - (二) 隠匿ノ程度ニハ至ラザルモ故ラニ人目ニ付カザル如キ方法ニテ所持スル者
 - (三) 薄暮、夜間、取引混雜時又ハ祭日、休日等ニテ群衆ノ雜踏スル露店、店舗等ニ於テ行使シタル者
 - (四) 老人、子供等ノ店番スル店舗等ニ於テ行使シタル者
 - (五) 生番人ニ對シ行使シタル者
 - (六) 貨幣ノ額面ニ比シ小額ノ買物等ヲ爲シ比較的多額ノ剩餘ヲ得タル者
 - (七) 行使ニ當リ相手方ヨリ偽造タルコトヲ看破セラレ乍ラ届出ヲ意リ又ハ遅延セル者
 - (八) 著シク粗雑ニシテ一見シテ識別容易ナル偽造貨幣ヲ行使シタル者
 - (九) 其他不審ノ點アル者
- 四 前三項ノ調査ニ當リテハ刑事巡査ト密接ナル連絡ヲ保持シ容疑ノ餘地アリト思料スル者ニ對シテハ刑事巡査ヲシテ調査ニ當ラシムベシ
- 五 偽造貨幣行使者ハ偽造貨幣ヲ正貨中ニ混交シ恰モ情ヲ知ラザルモ

- ノノ如ク裝フコトアリ又二名同道シ一名ガ行使ニ當リ一名ハ他ノ偽造貨幣ヲ携帶シ相當距離ヲ保チテ行使狀況ヲ看視シ若シ行使者ガ逮捕セラレルモ他ニ偽貨ヲ所持セザル爲處罰ヲ免ルル方法ヲ講ズル等ノコトアルヲ以テ調査上注意ヲ要ス
- 六 中國人ハ偽名シテ渡臺シ又ハ密留居ヲ爲サズシテ洋傘修繕、靴直等ノ行商人トシテ各地ヲ轉々シ少額宛行使スルヲ常トスルヲ以テ之等ニ付テハ特ニ注意所持金品等ノ見分ヲ行フ等注意ヲ要ス
- 七 二項該當者及三項該當者ニシテ容疑ノ餘地アル者及六項該當者ニ屬シテハ相當其行動ニ注意觀察スベシ
- 八 出入船舶ノ臨檢ニ當リテハ稅關官吏ト協力シ旅客並船員ノ携帶品ニ對シテハ一層嚴密ナル注意ヲ拂ヒ苟モ不審ト認ムルモノニアリテハ其承諾ヲ得テ見分スル等取締方勵行スベシ
- 九 偽造貨幣ハ官憲ノ取締比較的稀薄ナル戎克船等ヲ使用輸入スルノ傾向アルヲ以テ之等船舶ノ臨檢ニ當リテハ特ニ注意ヲ要ス
- 船舶ニ依リ輸入、移入スル場合ハ船長又ハ船員ト結託シ船艙其他ニ特種ノ裝置ヲ爲シ藏匿スルコト多キニ付注意ヲ要ス
- 携帶上陸スル場合ハ二重底ノ靴、枕ノ抽斗、桐材器具ノ穴、傘ノ柄ノ中等ニ巧ニ隱匿スルコトアルヲ以テ注意ヲ要ス
- 麥麵ノ束ノ中ニ偽造貨幣ヲ紙包トシテ挿入シ之ヲ木製箱中ニ詰メ運送屋ニ託シ普通ノ物件ノ如ク裝ヒ輸入スル等ノ方法ヲ執ルモノアルヲ以テ普通貨物ニ付テモ注意ヲ要ス
- 九 阿片其他ノ密輸移入常習者ハ何レモ偽造貨幣ヲ輪移入スル疑アルモノナルヲ以テ之等ニ付テハ特ニ注意シ其行動ハ嚴密觀察スベシ

一〇 支廳長部内ニ偽造貨幣流通ノ形跡ヲ認メタルトキハ一般ニ對シ保甲會議、審社會議其他各種ノ機關ヲ利用シ其注意ヲ喚起シ其鑑別方法ヲ周知セシメ速ニ届出方ヲ督勵スベシ但シ捜査上必要ト認メタルトキハ之ヲ行ハザルコトヲ得

一一 新規ノ偽造貨幣ヲ發見シタルトキハ回覽等ノ方法ニヨリ警察官吏ニ周知セシメ其鑑別眼ノ養成ヲ計ルベシ

一二 銀行、會社、郵便局、信用組合、役場、停車場、乘車、乘船切符賣場、劇場、活動寫眞館、其他ノ興行場、市場、雜貨屋、煙草屋、飲食店等偽造貨幣ヲ發見シ易キ個所トハ豫メ左記事項等ニツキ連絡ヲ執リ置クベシ

(一) 貨幣ノ取扱ヲ慎重ニシ偽造貨幣ノ發見ニ努ムルコト

(二) 偽造貨幣又ハ其疑アル貨幣ノ持參者アリタルトキハ其ノ立去ラザル前ニ速ニ届出ルコト

(三) 偽造貨幣ノ發見届出ヲ敏速ナラシムルコト

一三 支廳長部内ニ偽造貨幣流通ノ形跡ヲ認メ又ハ偽造貨幣行使ノ疑ヲ認メ必要ト認ムルトキハ日時、區域ヲ定メ區域内ノ必要ナル個所ニ臨ミ所持金、保管金等ヲ見分スル方法ニ依リ偽造貨幣ノ一齊調査ヲ行フベシ

右一齊調査ハ制服着用ノ警察官ヲシテ當ラシメ所有者、管理者等ノ承諾ヲ得テ其立會ノ下ニ行ヒ日没後ハ行ハザル等穩當ナル方法ニ依リ行フヲ要ス

一四 前項ノ一齊調査終了シタルトキハ其狀況ヲ左記事項ヲ具シ三日内ニ廳長ヘ報告スルト共ニ一面各支廳長ヘ通報スベシ

〔花運警〕

(一) 事由、日時
(二) 區域
(三) 人員
(四) 方法
(五) 結果
(六) 參考ナルベキ事項

一五 以上各項ノ調査及觀察ノ結果苟モ犯罪ノ容疑ヲ認メタルトキハ直ニ司法捜査ニ著手シ周密ナル方策ノ下ニ家宅搜索其他ニツキ迅雷耳ヲ蔽フ間ナキ底ノ敏速ナル活動ヲ起シ其ノ檢舉ノ必成ヲ期スヘシ

一六 中國人ニシテ偽造貨幣密輸入行使等ノ罪ヲ犯シ安寧秩序ヲ紊スト認ムル者ハ假借ナク夫々法規ニ照シ退去命令ノ手續ヲ爲スベシ

● 贋造貨幣寫眞臺帳備付ノ件

昭和八年二月
花警保第二九七號警務課長依命通達

贋造貨幣取締資料トシテ爾今廳下ニ於テ新規ノ贋造貨幣ヲ發見シタルトキハ別紙様式ニ依リ寫眞撮影シ送付ノコトニ相成候條支廳及各派出所(支廳直轄ヲ含ム)並ニ必要ト認ムル各駐在所ニ備付セシメ左記ニ依リ整理ノ上之カ活用ヲ期セラレ度

右依命通達ス
追而之カ備付ヲ要スル個所至急報告相成度

記

一 寫眞ハ紙質強靱ナル臺紙ニ貼付シ追次番號順ニ編綴要用スルコト
二 臺紙ハ半紙半裁型トスルコト
(別紙)

昭和	年	第	號
贋貨		眞貨	
裏面	表面	裏面	表面
附ス		光澤其他ニ 關スル簡單 ナル説明ヲ	

〔花運警〕

● 平地蕃頭目ニ辭令交付ノ件

大正七年一月二日
花警保第九六六六號廳長通達

平地蕃頭目、副頭目就職者ニ對シ相當辭令ノ交付ヲ必要ト認メ不日交付ノ旨ニ付テハ現ニ其ノ職ニ在ル頭目副頭目ニシテ未タ辭令ノ交付ヲ受ケ居ラサル者ハ此際至急調査シ左記様式ニ依リ報告可相成

追テ頭目、副頭目名簿整理ノ都合有之候ニ付爾今是レカ異動ニ關シテハ其都度報告可相成

左記

庄社名	頭目住所 氏名 年 齡	副頭目住所 氏名 年 齡	籍	要
何、庄	何社何番戶 何何年月日	何	何	何
何、庄	何	何	何	何
何、庄	何	何	何	何
何、庄	何	何	何	何

● 蕃社共同貯金ニ關スル件

大正一五年五月
花警保第一七五二號警務課長依命通達

本件ニ關シテハ相當考慮セラレツアルコトト思料候ヘ共尙將來共同貯金ヲ獎勵スルト共ニ保管支出等ニ關シテハ左記ニ依リ取扱可相成

右依命通達ス
記
一 共同貯金ハ凡テ各代表者名ニテ銀行又ハ郵便貯金トシテ保管セシムルコト

二 預金拂戻ノ際ハ支廳、警察官吏派出所、同駐在所ヲ經由セシムルコト

三 支出ニ關シテハ事由ヲ申告シ支廳長ノ承認ヲ受ケシムルコト
四 別記様式ノ收支計算簿ヲ調整整理シ毎年六月、十二月末現在ヲ翌
月十日限り報告スルコト

審社共同貯金收支計算簿

年月日	收	入	支	出	現在高	摘	要

備考 審社又ハ團體毎ニ口座ヲ設クルコト
注意 収入ト支出ト同一野内ニ記載スヘカラス

● 蕃人保險加入取締ノ件

昭和二年五月
花警保第二二四九號警務課長依命通達

近來各種生命保險會社ハ競フテ蕃社ニ外交員ヲ派遣シ頻リニ保險加入ヲ
勸誘シ居ルヤノ趣ニ有之候處蕃人ノ生活上ニ伴ヒ有利ナル貯蓄ヲ獎勵
スルハ蕃人啓發上必要ニ有之從テ眞ニ克ク保險ノ内容ヲ理解シ進シテ希
望スル向ヲ加入セシムルハ支障ナカルヘキモ廳下蕃人進化ノ程度ハ未ダ
其域ニ達セス複雑多岐ニシテ而カモ長期ニ亙ル保險契約ヲ單ニ當該外交
員ノ勸誘ノミヲ以テ猥ニ加入セシムルハ累ヲ後ニ遺ス處有之相當考慮ヲ
要スル儀ト思料セラレ候條特ニ蕃人保護上當分生命保險ニ加入セントス
ル場合ハ契約前所轄支廳長ノ承認ヲ受ケシムル方法ヲ講シ教育ノ程度、

〔花運警〕

生活ノ狀態等詳細調査ノ上支障ナキ者ニ限り承認ヲ與フヘク蕃人ヲシテ
後日不利ノ境界ニ陥ラシメサル様嚴重取締ヲ勵行シ其狀況ハ時々報告可
相成

右依命通達ス
追而保險會社代理店及勸誘員等ニ對シテハ承認ヲ受ケサル者ト契約セ
サル様豫メ諭示可相成申添候

● 蕃人ノ保險取締ノ件

昭和五年七月
花警保第二三八一號警務課長依命通達

首題ニ關シ昭和二年五月二十八日附花警保第二二四九號ヲ以テ通達相成
候處右ハ蕃人ニシテ現ニ警察又ハ學校等ニ奉職中ノ者其ノ他相當學識ア
リテ保險ノ内容ニ理解アル者ニ對シテハ加入ノ場合承認ヲ受ケシムルニ
及ハサル儀ニ有之候條

● 蕃人土地賣却ニ關スル件

大正一四年九月
花警保第三三〇五號警務課長依命通達

本島人其他ニシテ蕃人土地ヲ買入レ之ヲ轉賣シ不當ノ利ヲ得居ル者有之
哉ニ聞及候處果シテ然リトセハ蕃人ヲシテ生活ノ基礎ヲ危フスルモノニ
シテ彼等指導上看過スヘカラサル事項ニ有之候條自今蕃人ニシテ土地ヲ
賣却セントスルモノハ豫メ受持警察官吏ニ届出シテ事情調査報告相成
度

〔花運警〕

右依命通達ス

● 蕃人土地賣却ニ關スル件

昭和六年一〇月
花警保第四六五七號警務課長依命通達

蕃人ニシテ土地ヲ賣却セントスルモノハ豫メ受持警察官吏ニ届出シテ事
情調査報告方大正十四年九月四日附花警保第三三〇五號ヲ以テ依命通達
致置候處自今貴官限之ヲ處理シ其ノ承認セサルモノニ對シテハ事情詳細
報告相成度

● 蕃人ニ關スル登記申請ノ件

昭和六年七月
花警保第二九〇一號警務課長依命通達

別紙様式

蕃人ニ關スル登記事項報告

受	理	日	代理人名	登記種類	動産、不動 産ノ別	種類、員數 又ハ面積	價	額	適	否	年		登記者姓名	住居氏名	登記義務者
											月	分			
摘要															

右報告ス

年月日

支廳長名

廳長宛

備考 「アミ」族保護上不適當ト認メタルモノハ適當ナル措置ヲ爲サシメ尙無届登記ニ對シ處分シタルトキハ何レモ摘要欄ニ其ノ要領ヲ記入スルコト

アミ族使役取扱手續ニ關スル件

昭和四年四月 花警保第二二二七號廳長通達

「アミ」族勞力ノ配給ニ關シテハ廳下各種事業ニ要スル勞力ノ爭奪ヲ防止シテ需給ノ均衡ヲ圖リ一面「アミ」族ノ本業タル農耕力ヲ調節シ勤勉ノ風習ヲ醸成シ家庭經濟ヲ緩和スル等保護指導上警察官署ニ於テ掌理シ來リタルカ配給處理上取扱區々ニ涉リ且「アミ」族ノ進化ニ伴ヒ之カ供給使役上改善ノ要アルヲ認メ今般別紙ノ通「アミ」族使役取扱手續相定メ候條將來右ニ依リ處理シ尙各需要者ニ周知シ取締上遺憾ナキヲ期セラレ度右通達ス

アミ族使役取扱手續 (別紙)

- 第一章 人夫供給
 - 第一條 アミ族入夫ノ供給ヲ受ケムトスル者ハ書面ニテ左ノ事項ヲ具シ所轄支廳長ニ申請セシムヘシ
 - 一 申請人ノ住所、職業、身分、氏名、年齢

〔花連警〕

- 二 供給部落、人夫別、人員
- 三 使役目的
- 四 使役場所
- 五 使役期間
- 六 日歸又ハ泊込ミノ別
- 七 人夫供給請負者ノ申請ニ付テハ前各號ノ外使役者ノ住所、職業、身分、氏名、年齢

第二條 支廳長前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ供給スヘシ

- 一 申請事項ノ適否
- 二 申請人又ハ使役者ノ素行、經歷及資産
- 三 賃銀支拂ノ能否
- 四 事業ノ緩急
- 五 農耕ノ繁閑
- 六 人夫供給請負人ノ申請ニ係ルトキハ使役者トノ請負契約ノ適否
- 七 其ノ他必要ト認ムル事項

第三條 人夫ハ之ヲ普通入夫、老者、幼者トシ普通入夫ハ十八歳以上四十五歳以下ノ男子ニシテ官吏、會社員、學校生徒、本島人ノ身分アル者、身體虛弱者、其ノ他出役不能者ヲ除キタルモノヨリ供給スヘシ人夫十人乃至十五人ニ付一人ノ番丁ヲ附シ就業ノ傍ヲ監督ニ當ラシムヘシ但シ十人未滿ノ供出ニハ之ヲ附セサルコトヲ得

〔花連警〕

頭目、甲長ハ人夫ニ供給セサルモノトス
第四條 普通入夫以外ノ者ト雖モ十四歳未滿、五十歳以上ノ者ハ供給スヘカラス但シ五十歳以上ノ者ト雖モ進ムテ出役セムトスルモノハ此ノ限ニ在ラス
第五條 人夫ハ普通十五日毎ニ使役現場ニテ交替セシムルモノトス但シ特別ノ事情アルトキハ期間又ハ場所ヲ變更スルコトヲ得
第六條 交替期間中ハ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ就業不能者ヲ發生スルモ之カ補充ハ爲ササルモノトス但シ特別ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條 寢具、炊爨具、糧食ハ人夫ノ負擔トシ出役ノ際之ヲ携帯セシムヘシ

第二章 就業

第八條 一日ノ就業時間ハ泊込ミ十時間、日歸九時間トシ其ノ間各一時以上ノ休憩ヲ爲サシメ仍自午後十時至午前五時ノ間ハ之ヲ就業セシムヘカラス

第九條 出役先受持警察官吏事業其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ使役者ノ願出ニ依リ前條ノ規定ニ拘ハラズ就業セシムルコトヲ得
第十條 危険ナル業務ニ使役セムトスル者ニ對シテハ豫メ防止ノ方法ヲ講セシメ支障ナシト認ムルモノニ限リ之ヲ許容スルモノトス

第十一條 作業能率ヲ増進スル目的ヲ以テ個人別ニ請負作業ヲ爲サシムヘカラス

第三章 賃銀、給與、扶助

第十二條 人夫ノ賃銀ハ左記賃銀表ニ依ル但シ病氣其ノ他ノ事故ニ因リ

第三編 保安 第七章

就業一日ニ充タサルトキハ時間ニ依リ之ヲ計算ス
第九條ニ依リ規定時間外就業ヲ爲シタルトキハ其ノ時間數ニ應シ左記賃銀表ニ依リ算出シタル賃銀ノ倍額ヲ支給スルモノトス
前二項ノ計算ハ一時間ニ滿タサルトキト雖モ一時間トシ錢位以下ハ四捨五入トス

賃銀表

人夫別	普通作業		特殊作業	
	泊込	日歸	泊込	日歸
普 通	七二	七二		
通 番				
夫 人	六三	五四		
老 者	四五	四〇		
幼 者	四五	四〇		

第十三條 使役者ノ都合ニ依リ休業シタルトキハ前條ノ賃銀ハ其ノ全額ヲ支給スルモノトス

第十四條 出役及解役當日就業セサルトキハ賃銀ヲ支給セサルモノトス但出役ノ往復ニ各二日以上ヲ要スルトキハ到着及出發當日ヲ除キ一日ニ付半日分ノ日當ヲ支給スルモノトス

第十四條ノ一 出役及解役當日就業シタルトキハ時間ヲ論セス一日分ノ賃銀ヲ支給スルモノトス

第十五條 第十二條乃至第十四條ノ賃銀ハ解役當日現金ニテ之ヲ支給スルモノトス

第十六條 出役ニ要シタル汽車賃、自動車賃ハ使役者又ハ人夫供給請負者ノ負擔トシ人夫ノ立替拂ニ係ルモノハ前條賃銀ト共ニ之ヲ支給スルモノトス但シ人夫ノ都合ニ依リ解役シ又ハ出役期間中其ノ住所ニ往復スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 人夫宿泊所ノ設備、炊爨用薪炭其ノ他就業用器具等ハ使役者又ハ供給請負者ノ負擔トス

第十八條 使役者又ハ供給請負者ハ前六條ニ規定スルモノノ外何等ノ名義ヲ以テスルモノ夫ニ金品其ノ他給與ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第十九條 人夫業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ若ハ之ニ基因シテ死亡シタル場合ニ於テハ大正七年十一月勅令第三百八十二號儲人扶助令中第九號ヲ除キタル本則ヲ準用シ使役者又ハ供給請負人ヲシテ支給セシムルコトトシ供給申請ノ際請書ヲ添附セシムヘシ

第四章 職工、徒弟、店員等

第二十條 「アミ」族ヲ職工、徒弟、店員等ニ雇傭セムトスル者ハ書面ニテ左ノ事項ヲ具シ所轄支廳長ニ申請セシムヘシ

- 一 第一條第一號乃至第五號
- 二 被雇傭者ノ住所、職業、氏名、年齢
- 三 指導者ノ氏名、年齢
- 四 就業方法及一日ノ就業時間
- 五 休日及休憩ニ關スル事項
- 六 監督方法

〔花蓮管〕

- 七 待遇(諸給與ヲ含ム)及其ノ方法
- 八 危險ナル業務又ハ衛生上危害ノ虞アル勞務ニ従事セシメムトスル者ニ付テハ其ノ豫防方法
- 九 雇傭契約書寫(前條ノ契約ヲ爲サシメサルコト)
- 十 其他必要ト認ムル事項
- 第二十一條 支廳長前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ許容スヘシ
- 第二十二條 支廳長第一號乃至第三號
- 一 雇主、指導者被雇傭者ノ素行、經歷、信用及指導者ノ資格、技能
- 二 被雇傭者ノ家庭ノ事情及父母、親權者、後見人、戸主又ハ有夫ノ婦ニ在リテハ夫ノ承諾ノ有無
- 三 四 頭目、甲長ノ意圖
- 第二十三條 前條ノ通知ヲ受ケタル警察官吏ハ人夫ノ短期出役ニ在リテハ出役中(出役五日以内ハ省略スルモ差支ナシ)長期出役ニ在リテハ一交替期中一回以上(出役者五名以下隨時)職工、徒弟、店員等ニ在リテハ毎月一回使役現場又ハ雇傭先ニ臨檢シ左記各項ニ付視察シ其ノ結果ヲ通知スヘシ
- 第二十四條 前條ノ通知ヲ受ケタル警察官吏ハ人夫ノ短期出役ニ在リテハ出役中(出役五日以内ハ省略スルモ差支ナシ)長期出役ニ在リテハ一交替期中一回以上(出役者五名以下隨時)職工、徒弟、店員等ニ在リテハ毎月一回使役現場又ハ雇傭先ニ臨檢シ左記各項ニ付視察シ其ノ結果ヲ通知スヘシ

〔花蓮管〕

果ヲ所轄支廳長ニ報告(報告ヲ受ケタル支廳長ハ他支廳供給ニ係ルモノニシテ必要アリト認メタルトキハ供出地所轄支廳長ニ通報)スヘシ但シ急ヲ要スル事項ハ其ノ都度即報スヘシ

- 一 第二章各條ニ規定スル事項ノ狀況
- 二 第三章ニ規定スル賃銀ノ支給及其ノ他給與ノ狀況
- 三 監督ノ適否
- 四 人夫ノ勉否
- 五 衛生狀態
- 六 第二十條第四號乃至第十號ニ規定スル事項ノ狀況
- 七 其ノ他必要ト認ムル事項

第十九條ニ該當スヘキ事項アリタルトキハ左記事項ヲ調査シ前項ノ要領ニ依リ報告又ハ通報スヘシ

- 一 使役者、雇主ノ住所、職業、氏名
- 二 負傷、疾病、死亡者ノ住所、氏名、年齢
- 三 傷病死ノ年月日時
- 四 同場所
- 五 同原因
- 六 傷病ノ程度狀況
- 七 處置
- 八 其ノ他扶助上必要ト認ムル事項

第二十五條 支廳長人夫使役者又ハ供給請負者若ハ雇傭主ニシテ左記各項ニ該當スト認ムルトキハ人夫供出ノ停止職工、徒弟店員等ノ雇傭許容ヲ取消ヲ爲スコトヲ得

- 一 第二章及第三章規定ノ事項ヲ遵守セス又ハ人夫使役上不都合アリタルトキ
- 二 人夫供給上必要アルトキ又ハ供給不能ノ事情發生シタルトキ
- 三 第二十條第四號乃至第十號ノ事項ニ付不都合アリ又ハ解雇スヘキ事項發生シタルトキ

前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ出役先所轄支廳長ニ通報スヘシ

第六章 調査報告

第二十六條 支廳長ハ毎年十二月末現在「アミ」族勞力ヲ別記第一號様式ニ依リ調査シ一月二十日迄ニ報告スヘシ

第二十七條 支廳長ハ毎月初供給現在人員ヲ別記第二號様式ニ依リ毎月五日迄ニ、又出役延人員ヲ別記第三號様式ニ依リ職工、徒弟、店員等調ヲ別記第四號様式ニ依リ翌年一月十日迄ニ報告スヘシ

第二十八條 支廳長第十九條ニ該當スル事故アリタルトキハ其ノ都度概要ヲ即報シ更ニ第二十四條第二項各號及扶助ノ願末ヲ詳報スヘシ

第二十九條 支廳長第二十五條ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ都度左記ニ依リ報告スヘシ

- 一 住所、職業、氏名
- 二 出役又ハ雇傭月日、場所、人員
- 三 作業別又ハ業態別
- 四 處分月日
- 五 處分ノ理由
- 六 諸給與支拂貸借關係ノ狀況

第七章 雜則

第三十條 支廳長本取扱手續施行上必要ナル事項ヲ定メタルトキハ報告スヘシ

第三十一條 官廳ニ於テ直接供給ヲ受ケテ使役履儲スルモノニ付テハ第十九條ヲ除ク外本取扱手續ヲ準用ス

第三十二條 特種ノ事情ニ依リ「アミ」族ノ共同請負ニ附スヘキ作業ニシテ特ニ必要ナシト認ムルモノニハ本取扱手續ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ事情ヲ具シ廳長ノ承認ヲ受ケシムヘシ

附則

本取扱手續ハ昭和四年六月一日ヨリ施行ス
 従前ノ「アミ」族人夫供給ニ關スル諸通達ハ本取扱手續施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
 本取扱手續施行前供出又ハ履儲ニ係ルモノハ本取扱手續ニ依リタルモノト看做ス
 支廳長ハ第二十六條ニ規定スル昭和四年五月末現在努力調ハ同年六月十日迄ニ調査報告スヘシ

別記 第一號様式 (用紙美濃紙)

所 轄	派出 所 名	大 字 名	總 數	勞 働 シ 得 ザ ル 者				昭 和 年 十 二 月 末		
				官公吏	會社員	學 生	本島人 身體 虛弱者	其ノ他	計	勞働シ 得ル者
計										
記載例										
一 總數ハ十八歳以上四十五歳以下ノ男子總人員ヲ記載スルコト										
二 出役不能數ハ自己本業其ノ他止ムヲ得ザル事情ノ爲全然出役不能ナル人員ヲ記載スルコト										

〔花蓮警〕

第二號様式 (用紙美濃紙)

〔花蓮警〕

アミ族勞力供給人員				昭 和 年 月		考
使役者又ハ 供給請負者名	使役場所	工 事 名	出 落 名 役 人 夫 別	泊込ミ又ハ 日歸ノ別	供給人員	
計						
記載例						
一 使役者又ハ供給請負者名欄ニハ第一條ニ依ル申請者ヲ記載スルコト						
二 人夫別欄ニハ普通人夫老、幼、女子、休養ノ別ヲ記載スルコト						
三 備考欄ニハ申請人員及期間等ヲ記載スルコト						

第三號様式 (用紙美濃紙)

アミ族人夫供給延人員		昭 和 年			
出役事業別	派出所別	直	轄	關	何
蘇花道路改修工事					
馬太鞍鐵道復舊工事					
チアカン溪水制工事					
何					
計					

記載例
 本表ハ普通人夫ト其ノ他ノ人夫トハ各別表ニ調査スルコト

第四號様式 (用紙美濃紙)

現 計 在	アミ族職工、徒弟、店員等調						昭和 年 計
	職業別 鹽糖會社機械工 大工職 雜貨商店員 何々	派出所別 直轄 轄 管	田 何 々				

記載例

本表ハ延人員ヲ記載スルコト但シ現在欄ハ年未現在ノ實員ヲ記載スルコト

●蕃人懲戒ニ關スル件

大正六年七月
花警保第五〇五五號廳長通達

〔花警警〕

從來蕃社ノ慣例ニ依リ蕃社ノ舊慣ニ背キ或ハ不正行爲ヲ爲シタル者ハ金
 錢又ハ家畜類ヲ徵收スル等各社任意ノ制裁ヲ加ヘ來リタル處蕃人操縦上
 統一ヲ缺クノ虞有之候條爾今蕃人懲罰ノ場合ハ豫メ頭目ヨリ派出所ニ申

〔花警警〕

左記

様式(用紙美濃紙)削除

大正十年十一月二日花警保第三九八一號ヲ以テ改正様式參照

●蕃人懲罰金收支ニ關スル件

大正一〇年一月
花警保第三九八一號警務課長依命通達

告セシメ派出所ニ於テハ之カ適否ヲ精査報告セシメ之ヲ許否スルコトト
 シ尙徵收シタル金錢物品ハ濫ニ費消セサル様注意ヲ與ヘ保甲過意金同様
 可成貯貯貯金ト爲サシメ蕃社必要ノ事業ニ使用セシムル等從來ノ弊習ヲ
 矯正スルコトニ取給ラルヘシ

別記

追テ派出所ニ於テハ別記様式ノ臺帳ヲ備ヘ懲罰認可ノ都度記入スルコ
 トニ取扱フヘシ

年月日	懲罰金額	物品數量價格	懲罰事由		蕃社名	氏名
			事由	名		
	四					

●蕃人懲戒ニ關スル件

大正八年二月
花警保第一二〇〇號廳長通達

本件ニ關シ大正六年七月五日花警保第五〇五五號ヲ以テ蕃人懲罰ニ依リ
 徵收シタル金錢物品ハ原簿ヲ備ヘ之ニ記入スヘキ様致置候處右臺帳ハ派
 出所而已ニ限ラス課及支廳ヘモ備付ケラルヘク爾左記様式ノ臺帳ヲ作製
 シ同様原簿ニ準シ支出認可ノ都度記入シ收支監督ノ便ニ供セラルヘシ
 追テ廳及支廳ニ備付クヘキ右臺帳ハ各派出所毎ニ口座ヲ設ケ整理セラ
 ルヘシ

別紙 (用紙美濃紙)

蕃人懲罰金收支明細簿

年月日	區分		残 摺 要
	收 入	支 出	
	四	四	四

蕃人懲罰金調査表

大正
上(下)半期分

前 末現在額	處分件數金額	徵收シタル 件數金額	支出額	現在額

四	四	四	四
---	---	---	---

備考 貯金利息ハ徵收シタル金額欄ニ朱書スルコト

年月日 支 廳 長 名 廳 長 殿

●蕃人懲罰金整理ニ關スル件

昭和三年一二月 花警保第三四六四號警務課長依命通達

蕃人懲罰ニ關シテハ大正六年七月五日付花警保第五〇五五號及大正八年二月十五日付花警保第一二〇〇號並大正十年十一月三日付花警保第三九八一號ヲ以テ依命通達致置候處自今懲罰金ニ關シテハ大正十年十一月三日付花警保第三九八一號通達別紙收支明細簿ノミニ依リ整理相成度右依命通達ス

追テ被懲罰者ノ住所氏名其他必要事項ハ凡テ摘要欄ニ記載相成度申添候

(別紙省略)

●蕃人懲戒ニ關スル件

大正一二年五月 花警保第一六六三號警務課長依命通達

從來平地蕃人ノ懲戒ニ關シテハ支廳長限リ處理相成居候處必要有之候條

〔花連警〕

爾今蕃人懲罰及懲罰金支出等ニ關シ認可ヲ與ヘタル時ハ其都度狀況報告相成度 右依命通達ス

●蕃人懲戒ニ關スル件

昭和四年一月 花警保第三九九號警務課長依命通達

首題ニ關シテハ大正十二年五月二十四日花警保第一六六三號ヲ以テ依命通達致置候處自今蕃人懲罰金支出等ニ關シ認可ヲ與ヘタル時ハ其ノ都度左記様式ニ依リ報告相成度 右依命通達ス

懲罰又ハ支出年月日	金額	本居地住所	氏名	生年月日	懲罰又ハ支出事由
-----------	----	-------	----	------	----------

●蕃人懲戒ニ關スル件

昭和六年一〇月 花警保第四八一二號警務課長依命通達

從來施行セラレ來リタルアマミ族懲戒ノ制度ハ彼等ノ社會組織及舊慣ヲ參酌シ自治的ニ善良ナル風習ヲ存續助長セシメ以テ蕃社内ノ秩序ヲ維持セシメントスル一種ノ秩序罰ニ外ナラズ然ルニ從來ノ懲戒實施ノ狀況ヲ見ルニ刑法其ノ他行政諸規則等ノ刑罰法令又ハ行政處分例ニ抵觸セル事案ニ至ル迄懲戒制度ノ適用ニ委ネ刑事處分又ハ行政處分ニ間疑セザル傾向

〔花連警〕

アルガ如シ

思フニ彼等アマミ族モ本島改隸已ニ三十有五年漸次帝國ノ文化ニ浴シ帝國臣民タルノ素質向上セル今日進ンデ彼等ヲシテ法令ノ觀念ヲ涵養シ法治國民トシテ馴致スベキ秋ナリト思料セラレ候條將來懲戒處分認可ニ當リテハ前記ノ旨趣ヲ體シ懲戒事案ニ對シ該當法令規定ノ有無ヲ調査シ適用スベキ法令ナキカ又ハ適用スベカラザル特殊ノ事情アル場合ニ限り本懲戒制度ニ據ラシムル等アマミ族指導上本制度ノ運用上ニ相當注意可相成 右依命通達ス

〔花連警〕

第四編 衛生

傳染病 地方病
娼妓
上水 下水 保健 衛生
飲食物
墓地 埋火葬 獸類死體埋却
醫院 醫師 藥劑師 產婆 按摩 鍼灸術
理髮業及賣藥
阿片
屠畜
雜

第四編 衛生

第一章 傳染病 地方病

- 傳染病豫防費及マラリア防遏費負擔區分及補助ニ關スル件……………六一一 總警一八一號……………六六五
- 街庄傳染病豫防費補助規則……………昭二 廳令三號……………六六六
- 街庄傳染病豫防施設ニ關シ認可申請ニ關スル件……………昭二 花警衛八四九號ノ二……………六六七
- 傳染病豫防ニ關スル件……………大一一 花警衛一二七九號……………六六七
- 傳染病豫防上ニ付街庄團體ノ注意ニ關スル件……………明二九 民總七一二號……………六六八
- 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方(其一)……………明三〇 訓令二八號……………六六八
- 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方(其二)……………明三〇 訓令八二號……………六六八
- 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方(其三)……………明三〇 民政長官通達……………六六八
- 傳染病報告ニ關スル件……………大八 民警三八一號……………六六八
- 傳染病報告ニ關スル件……………大八 花警衛一三七二號……………六六九
- 傳染病報告ニ關スル件……………大八 花警衛一三七二號ノ二……………六六九
- 傳染病通知ニ關スル件……………大八 第三大隊長通牒……………六六九
- 警察日報報告ノ件……………大八 警衛一二九五號……………六六九

○コレラ發生ノ場合報告方ノ件……………大九 警衛四五八號……………六六九

○傳染病新聞記事ニ關スル件……………大九 警衛九〇號……………六七〇

○腸チブス早期診斷ニ關スル件……………昭四 花警衛一〇九六號……………六七〇

○チブス菌株通報方ニ關スル件……………昭六 警衛八四四號……………六七〇

○傳染病豫防保菌調査ニ關スル件……………昭五 花警衛二一〇號……………六七〇

○傳染病豫防注射ニ關スル件……………昭五 花警衛二二一號……………六七一

○傳染病豫防費負擔區分ニ關スル件……………昭五 總警三二五號ノ一……………六七一

○衛生事務擔任者氏名回報ノ件……………昭四 花警衛二二九二號……………六七一

○傳染病通報ニ關スル件……………昭七 警衛一八九號……………六七一

○コレラ保菌者検査ニ關シ取扱上注意方ノ件……………大九 警衛八八〇號……………六七二

○赤痢患者通報方ノ件……………大九 警衛六二四號……………六七二

○傳染病發生届出ニ關スル件……………大九 花警衛三二五三號……………六七二

○傳染病發生ノ場合詳報ニ關スル件……………昭二 花警衛一六四七號……………六七三

○傳染病消毒用藥品使用方ニ關スル件……………昭二 花警衛二六九四號……………六七三

○傳染病報告ニ關スル件……………大九 衛生課長照會……………六七四

○傳染病發生通報方ノ件……………大九 警衛五三九號……………六七五

○腸チブスニ關スル月報調査ノ件……………大九 花警衛一三二三號……………六七五

〔花警衛〕

〔花警衛〕

○腸チブス調査月報ノ件……………大九 一 花警衛八〇九號ノ一……………六七六

○腸チブス豫防注射施行ニ關スル件……………昭三 花警衛七九八號……………六七六

○腸チブス豫防注射成績調……………大九 一 花警衛一〇八三號ノ一……………六七七

○流腦炎豫防ニ關スル件……………大九 一 花警衛二四八七號……………六七八

○種痘施術ノ件……………明四四 民内九五五號……………六七九

○臺灣市制及臺灣街庄制ヲ施行セサル地域ニ種痘施行ノ件……………昭五 廳令一號……………六七九

○種痘法施行規則取扱手續……………昭六 廳調令一三號……………六七九

○痘苗ニ付照會ノ件……………大九 一 臺研庶四〇七號……………六八四

○痘苗ニ關スル件……………大九 一 臺研四五二號……………六八四

○マラリア防遏規則施行細則……………大九 二 廳令一七號……………六八五

○マラリア防遏規則施行規程……………昭六 廳調令一六號……………六八五

○マラリア防遏施行成績月報ニ關スル件……………昭六 花警衛一九九九號……………六八六

○マラリア豫防法視察心得ニ關スル件……………明四五 花警衛五六六號……………六八八

○マラリア防遏成績月報ノ件……………大九 二 本衛六〇一號……………六八八

○マラリア防遏ニ關スル件……………大九 八 民警五六〇號……………六八九

○マラリア防遏ニ關スル件……………大九 八 花警衛四四六九號……………六八九

○マラリア防遏職員記章佩用ノ件……………大九 九 民警一八二九號……………六八九

四

- マラリア防遏ニ關スル件……………大一四 花警衛一五〇二號……………七〇〇
- マラリア防遏ニ關スル件……………昭六 花警衛一六六〇號……………七〇〇
- マラリア防遏ニ關スル件……………大二三 花警衛三九一號……………七〇一
- マラリア病勢調査ノ件……………昭二 花警衛二二九五號……………七〇一
- マラリア防遏ニ關スル件……………昭二 花警衛二六四九號……………七〇一
- 風土病報告ニ關スル件……………大一一 花警衛七八號……………七〇二
- 恙蟲病、黒水熱患者名簿作製方ノ件……………昭二 花警衛二八七一號……………七〇二
- 癩豫防ニ關スル件……………昭六 花警衛四〇七七號ノ一……………七〇三

〔花警衛〕

〔花警衛〕

第二章 娼妓

- 娼妓診断及治療規則……………昭八 廳令一號……………七〇五
- 娼妓診断及治療規則取扱手續……………昭八 廳調令二號……………七〇六
- 婦人病院規程……………昭八 廳調令三號……………七一三
- 娼妓診断及治療規則ニ依ル婦人病院ノ名稱及位置……………昭五 廳告示三七號……………七一四

第三章 上水 下水 保健 衛生

- 保健衛生調查職員職務規定……………昭二 訓令六號……………七二五
- 市街地共同便所取締標準……………明二九 民總四一〇號……………七二五
- 新設停車場附近衛生工事ニ關スル件……………明三三 民衛八九七號……………七二五
- 大清潔法施行細則……………大二 廳令七號……………七二五
- 大清潔法ニ關スル件……………大一三 花警衛四八四號……………七二六
- 大清潔法施行成績報告ニ關スル件……………大一四 花警衛六六五號……………七二六
- 藝妓、酌婦疾病治療ニ關スル件……………大四 民警九八四號……………七二七
- 豚飼養地域制限ノ件……………昭四 廳令三號……………七二七
- 廳地方費所屬簡易水道取扱規程……………昭五 花警衛二二三四號……………七二七
- 便所ノ施設ニ關スル件……………昭五 花警衛二一三六號ノ三……………七二〇
- 臺灣家屋建築規則施行ノ件……………昭六 廳令一二號……………七二一
- 臺灣家屋建築規則第四條ニ依ル步道及檐庇ノ構造、幅員制限ノ件……………昭六 廳令一三號……………七二一
- 家屋建築規則取扱内規……………昭七 花警衛二五一六號……………七二三
- 藝妓酌婦健康診斷ニ關スル件……………大七 花警保七八五六號……………七二八

- 牛乳及乳牛検査ニ關スル件.....大一一 花警衛一四六三號.....七四〇
- 獸肉營業取締規則.....大一一 廳令一〇號.....七四二
- 獸肉營業取締規則取扱手續.....大一一 廳訓令一八號.....七四四
- 創傷死ニ至リタル獸畜ヲ食用ニ供セシメサル件.....明四四 民警三四二號.....七四六

〔花運管〕

第五章 墓地 埋火葬 獸類死體埋却

〔花運管〕

- 臺灣墓地、火葬場及埋火葬取締規則施行細則.....大一一 廳令一九號.....七四七
- 臺灣墓地、火葬場及埋火葬取締規則施行細則取扱手續.....大一一 廳令二六號.....七五〇
- 埋火葬ニ關スル件.....大一一 花警衛一八一八號.....七五四
- 蕃人埋葬ニ關スル件.....大四 花警衛一四〇一號.....七五五
- 埋、火葬許可願證印簿備付方ノ件.....昭四 花警衛二九八七號.....七五五
- 獸類死體埋却場取締規則.....大二 廳令九號.....七五七

第六章 醫院 醫師 藥劑師 產婆 按摩
鍼灸術 理髮業及賣藥

- 葦葉醫院.....大三 廳告示一六號.....七五九
- 葦葉醫院職員職務規程.....大三 廳訓令一七號.....七五九
- 公醫服務規程.....大一 廳訓令一六號.....七五九
- 公醫私事旅行許可ニ關スル件.....大一 花警衛一六五〇號.....七六〇
- 傳染病患者收容取扱ノ件.....大三 廳訓令一八號.....七六〇
- 胎兒死體保存ニ關スル件.....大一 花警衛二二九五號.....七六一
- 公醫受持區域.....昭五 廳告示二四號.....七六一
- 陸軍患者ヲ公醫ニ依託ノ場合ニ於ケル諸料金其ノ他ノ協定方ニ關スル件.....大一 總警一八八八號.....七六二
- 醫師、齒科醫師、藥劑師免許證再下附申請書取扱ニ關スル件.....大一 花警衛一一九五號.....七六二
- 醫師、齒科醫師ノ犯罪其ノ他ニ關スル件.....大一 花警保六〇三二號ノ一.....七六二
- 醫師犯罪處分確定後ニ於ケル取扱方ノ件.....明三四 內訓四號.....七六三
- 醫院出張所等ニシテ無資格ニシテ事務擔當セルモノノ取締方ノ件.....明四五 花警衛五六七號.....七六三

- 醫師(齒科醫師)名簿ニ關スル件.....大七 民警一七九四號.....七六三
- 私立醫院設立許可ニ關スル件.....大七 民警一七九七號.....七六五
- 私立醫院臺帳ニ關スル件.....大七 民警一八七八號.....七六五
- 醫院名稱ニ關スル件.....大七 民警一九一三號.....七六六
- 醫師(齒科醫師)免許證書換申請ニ關スル件.....大二三 警衛二二二二號.....七六六
- 限地開業醫師免許ニ關スル件.....昭四 總警四八七號ノ二.....七六六
- 限地開業醫師、齒科醫師ノ開業地域及分診所設置ニ關スル件.....大一二 警衛九一一號.....七六七
- 內務省ニ進達スル醫師其ノ他ノ申請書ニ關スル件.....昭六 花警衛三一三號.....七六七
- 齒科醫籍訂正方ニ關スル件.....昭六 花警衛一四六六號.....七六七
- 限地開業醫師再免許ニ關スル件.....昭六 花警衛三五九〇號ノ一.....七六七
- 醫師、齒科醫師及私立醫院業務上ノ廣告ニ關スル件.....大七 本衛六一五號.....七六八
- 醫師及齒科醫師業務休止ノ場合届出ニ關スル件.....大七 本衛六一七號.....七六八
- 健康検査ノミヲ以テ業トスル場合ハ醫業ト認メサル件.....大七 民警二二五九號.....七六九
- 醫師免許資格ニ關スル件.....大九 總警三四七號.....七六九
- 蕃人醫療ニ關スル件.....大二三 花警衛六二五號.....七六九
- 臺灣藥劑師、藥種商、製藥者取締規則施行細則.....大二三 廳令四號.....七六九
- 臺灣藥劑師、藥種商、製藥者取締規則施行細則取扱手續.....大二三 廳調令五號.....七七二

〔花運會〕

〔花運會〕

- 臺灣產婆規則取扱手續.....大二三 廳調令七號.....七七四
- 按摩術、鍼術、灸術、看護婦試驗規程.....大二三 廳調令一〇號.....七七五
- 看護婦名簿ニ關スル件.....大二三 花警衛八六九號.....七七六
- 按摩術營業取締規則施行細則.....大二三 廳令五號.....七七六
- 按摩術營業取締規則施行細則取扱手續.....大二三 廳調令六號.....七七七
- 鍼術、灸術營業取締規則施行細則.....大二三 廳令六號.....七七八
- 鍼術、灸術營業取締規則施行細則取扱手續.....大二三 廳調令九號.....七七九
- 柔道整復術受驗資格ニ關スル件.....昭六 花警衛二五〇五號ノ一.....七八一
- 柔道整復術營業者廣告ニ關スル件.....昭三 花警衛一一七三號ノ一.....七八一
- 治療所ノ廣告取締ニ關スル件.....昭二 花警衛一一四二號ノ一.....七八二
- 心靈術其ノ他取締ニ關スル件.....大一五 花警衛二三三號ノ一.....七八二
- 理髮營業取締規則.....昭六 廳令一一號.....七八二
- 理髮營業取締規則取扱手續.....昭六 廳調令二二號.....七八六
- 理髮試驗規程.....昭六 廳調令二三號.....七八八
- 理髮營業許可ニ關スル件.....昭六 花警衛二二七三號.....七八九
- 理髮營業取締上疑義ニ關スル件.....昭六 花警衛二五八四號ノ一.....七八九
- 電氣應用者取締ニ關スル件.....大二三 本衛一六三號.....七九〇

○第四改正日本藥局方實施ニ伴フ封緘ニ關スル件……………七一〇

○賣藥及賣藥類似品許否決定方ノ件……………七九一

○賣藥營業許可處分ヲ支廳長ニ委任セサル件……………七九一

○製造賣藥及移入賣藥通報ノ件……………七九一

○賣藥營業者開廢通知方ノ件……………七九一

○臺灣賣藥營業取締規則施行手續……………七九一

○臺灣賣藥類似品取締規則施行手續……………七九四

○毒劇藥ニ關スル件……………七九四

○賣藥販賣許可效力ニ關スル件……………七九五

○賣藥許可書謄本添附ニ關スル件……………七九五

○酒精販賣ニ關スル件……………七九六

○藥品不適通報ニ關スル件……………七九六

○臺灣癩藥類取締規則施行細則……………七九六

○臺灣癩藥類取締規則施行細則取扱手續……………八〇一

○國際聯盟ニ通報スヘキ癩藥類移出入統計ニ關スル件……………八〇三

○醫師癩藥中毒者診療ニ關スル件……………八〇三

○臺灣癩藥類取締規則疑義ノ件……………八〇三

〔花蓮管〕

第七章 阿片

〔花蓮管〕

○阿片令取締細則……………昭四 廳令一號……………八〇五

○阿片事務取扱手續……………昭四 廳訓令三號……………八一

○阿片營業ヲ未丁年者ニ許可方ノ件……………明三一 新竹縣知事問合……………八一

○金刑ニ處セラレタル阿片令違反前科者視察方ノ件……………明三六 民警二四九八號……………八二〇

○阿片吸食器具密製造所持者取締方ノ件……………明四五 花警衛四四四號……………八二〇

○阿片吸食特許者視察簿ニ關スル件……………明四五 花警衛七九九號……………八二〇

○破罐阿片煙膏取扱方ノ件……………大五 本衛三八一號ノ一……………八二一

○阿片取締ニ關スル件……………大五 民警一四四四號……………八二一

○阿片煙膏取次人へ賣下區域示達ノ件……………大五 花警衛三二四三號……………八二一

○粉末阿片取締ニ關スル件……………大五 本衛五八三號……………八二二

○粉末阿片取締ニ關スル件……………大五 花警衛四九五八號……………八二二

○阿片吸食特許者現在報告ノ件……………大六 花警衛二二四〇號……………八二二

○阿片煙膏吸食器具營業ノ件……………大六 花警衛四四四四號……………八二三

○支那人阿片吸食特許廢止ニ關スル件……………大一一 總警二九〇六號……………八二三

○阿片煙膏請賣人取締方ノ件……………大八 民警五四〇號……………八二三

- 阿片煙膏請賣人取締ニ關スル件.....大八 花警衛二五八七號.....八二三
- 支那人阿片吸食特許廢止ノ件.....大八 民警一〇二六號ノ一.....八二四
- 阿片吸食特許者臺帳整理方ノ件.....大一〇 總警二九一號.....八二四
- 阿片密輸出報告ニ關スル件.....大一二 警衛七六二號.....八二四
- 阿片ニ關スル密輸出入報告ニ關スル件.....大一二 總警二三四五號.....八二四
- 阿片又ハ阿片吸食器具ノ密輸出入犯罪報告ニ關スル件.....昭四 花警衛七八五號.....八二五
- 國際聯盟ニ通報スヘキ阿片犯罪ニ關スル件.....昭六 花警衛六五五號.....八二五
- 國際聯盟常設阿片中央委員會ニ提出スヘキ統計資料ニ關スル件.....昭六 花警衛七七八號.....八二六
- 阿片癮者ニ阿片同效劑郵送ニ關スル件.....大一三 警衛四一〇號ノ三.....八二七
- 阿片吸食特許者行衛不明整理ニ關スル件.....大一四 總警一〇九一號.....八二七
- 藥用阿片買入卸賣高營業者別表及月別表報告方ノ件.....大一三 花警衛一六一〇號.....八二七

〔花蓮警〕

〔花蓮警〕

第八章 屠畜

- 臺灣屠畜取締規則取扱手續.....大一一 應調令四號.....八二九
- 屠畜検査ニ關スル件.....明四四 花警衛四六七號.....八三一
- 屠畜月報ニ關スル件.....大一三 花警衛一一七四號.....八三二
- 獸皮、獸骨營業ニ關スル件.....大八 花警衛一九二六號.....八三二
- 屠畜掃除請負人夫使役ニ關スル件.....昭二 花警衛一二一三號.....八三二

第九章 雜

〔花毒警〕

- 毒蛇咬傷年報蛇名ニ關スル件……………大 八 本衛三六四號……………八三五
- 毒蛇咬傷被害者名簿作製方ノ件……………昭 二 花毒警二八五號……………八三五
- 野犬毒殺ニ關スル件……………大 一五 花毒警六一六號ノ一……………八三五

第四編 衛生

〔花蓮管〕

第一章 傳染病 地方病

●傳染病豫防費及マラリヤ防遏費負擔 區分及補助ニ關スル件

大正一二年二月
總務第一八二號總務長官代理依命通達
今般傳染病豫防費及マラリヤ防遏費負擔區分及補助ニ關シ別紙ノ通府議
決定相成候條當分ノ内右ニ依リ處理相成度
右依命通達ス

追テ第一項第八號ノ地物整理ニハ附屬工事トシテ施行スル排水工事ヲ
モ包含スルモノト御承知相成度申添候
(別紙)

府議決定案

- 傳染病豫防及マラリヤ防遏費負擔區分及補助方法左ノ通り決定ス
- 一 州費支辨ニ屬スヘキモノ
 - 一 檢疫委員設置ニ關スル諸費但港務所長ニ於テ檢疫委員ヲ設置シタル場合ノ諸費ハ此ノ限ニアラス
 - 二 明治二十八年勅令第七一號ニ依リ支給スル手當金
 - 三 船舶、汽車檢疫ニ關スル諸費
 - 四 臺灣傳染病豫防令第二十一條第二號ニ依リ交通遮斷隔離ニ關ス

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

- ル諸費又ハ交通遮斷隔離ノ爲メ自活シ能ハサルモノノ生活費
- 五 ベスト防遏ノ爲メ必要ナル施設ニ關スル諸費
 - 六 ベスト病毒ニ汚染シタル建物其ノ他ノ物件處分ニ關スル諸費
 - 七 種痘ニ關スル諸費
 - 八 傳染病豫防又ハマラリヤ防遏ノ爲ニスル檢診、血液検査、治療服藥、地物整理ニ關スル諸費
 - 九 傳染病又ハマラリヤ防遏ノ爲直接必要ナル下水ノ施設ニ關スル諸費
 - 一〇 其ノ他州ニ於テ施行スル傳染病豫防マラリヤ防遏ニ關スル諸費
 - 二 市又ハ街庄費支辨ニ屬スヘキモノ
 - 一 傳染病豫防ノ爲ニスル清潔方法又ハ消毒方法施行ニ關スル諸費
 - 二 傳染病豫防救治ノ爲雇人タル醫師其ノ他ノ人員並豫防上必要ナル器具、藥品其ノ他ノ物件ニ關スル諸費
 - 三 傳染病院隔離病舎、隔離所、消毒所建設維持其ノ他ニ關スル諸費
 - 四 傳染病豫防救治ニ從事シタル者ニ給スル治療料及其ノ遺族扶助料、弔祭料
 - 五 臺灣傳染病豫防令第八條ニ依レル交通遮斷、隔離ニ關スル諸費及交通遮斷、隔離ノ爲メ又ハ一時營業ヲ失ヒ自活シ能ハサル者ノ生活費
 - 六 市街庄内ニ於テ發見セル貧民ノ傳染病患者並死者ニ關スル諸費
 - 七 臺灣傳染病豫防令第二十一條第七號又ハ第八號ニ依リ市街庄ノ

- 一 全部又ハ一部ニ對シ家用水ノ使用ヲ停止シタル場合市街庄ニ於テ家用水ノ供給ヲ爲シタルトキ之ニ關スル諸費
- 二 第一項第七號ノ事項又ハ第八號ノ地物整理及第九號ノ事項ニシテ市街庄ニ於テ必要ト認メ之ヲ施行シタルトキノ諸費
- 三 其ノ他市又ハ街庄ニ於テ施行スル傳染病豫防及マラリヤ防遏ニ關スル諸費
- 四 廳管内ニ於テハ前二項ノ諸費ハ廳地方費ノ支辨トス
- 五 四州ハ第二項ノ市街庄ノ負擔ニ對シ其ノ支出額ノ三分ノ一ヲ補助スヘシ但シ知事必要ト認ムルトキハ其ノ全額迄ヲ補助スルコトヲ得
- 六 國庫ハ第一項第九號、第二項第三號ノ經費ヲ除キ州ノ負擔ニ對シ其ノ三分ノ一ヲ補助スルモノトス

●街庄傳染病豫防費補助規則

昭和二年四月 廳令第三號

第一條 傳染病豫防法第二十四條ノ規定ニ依ル廳地方費補助ハ左ノ區別ニ依リ街庄ノ支出精算額(支出ニ伴フ收入又ハ寄附金アルトキハ之ヲ控除シタル額)ニ對シ之ヲ爲ス但シ支出精算額三十圓未滿ナルトキハ補助セス

一 「コレラ」及「ベスト」ノ豫防ニ關シ特ニ要シタル費用、全額

一 其ノ他ノ諸費 十分ノ八但シ街庄ノ支出額其ノ負擔ニ堪ヘスト認ムルトキハ全額迄ヲ補助スルコトアルヘシ

〔花蓮管〕

- 第二條 補助ハ現品ヲ以テ之ヲ交付スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ金額ニ換算スルモノトス
- 第三條 支出精算額過當ト認ムルトキハ之ヲ査定シ其ノ査定額ニ對シ補助ス
- 第四條 傳染病豫防ノ爲購入又ハ建築シタル土地、建物ニシテ補助ヲ受ケタル後之カ使用ヲ廢止セムトスルトキハ廳長ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 前項ノ場合ニ於テハ其ノ部分ニ對スル補助金ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 第六條 街庄ハ毎年一月末日迄ノ分ヲ二月末日迄ニ別記様式ニ依ル支出精算調書ヲ具シ補助ノ申請ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ施行ス

昭和何年度街庄傳染病豫防費支出精算調査

ベスト及コレラ(其ノ他諸費)

科	目	金額	類
雜	給	四	
何	々		
備	品		
費	費		
何	々		
雜	費		

〔花蓮管〕

記スルヲ要ス

●街庄傳染病豫防施設ニ關シ認可申請ニ關スル件

昭和二年四月 花警衛第八四九號ノ二警務課長依命通達

街庄長宛

傳染病豫防法第二十一條第一項第四號傳染病院其ノ他ノ建築、改築、移轉、増築及敷地買収及同條第二項中重要ナル施設ニ關シ廳地方費補助ヲ要スルモノハ豫メ本廳ノ認可ヲ得テ實施可相成

右通達ス

●傳染病豫防ニ關スル件

大正一十五年六月 花警衛第一二七九號警務課長依命通達

街庄長宛

明治三十年四月法律第三十六號傳染病豫防法及大正十五年四月一日府令第三十一號同施行規則ハ本年四月一日ヨリ施行セラレ候ニ就テハ之カ運用上法規ニ通曉スルト共ニ豫防上必要ナル器具藥品其ノ他ノ物件及人夫等豫メ設備シ實施上萬遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

何	々	何	々	何	々	計	計	何	々	何	々	計	計	何	々	何	々	計	計	補助申請額	
																					全額又ハ十分ノ八

右相違無之候也

年月日

街庄長 氏

名

備考

- 一 附記欄ニハ支出ニ基ク所單價、數量、等詳細記載スルヲ要ス
- 一 費途ヲ指定セサル寄附金ハ其ノ指定費目毎ニ金額ヲ區分シテ附

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

● 傳染病豫防上ニ付街庄團體ノ注意ニ關スル件

明治二九年八月
民總第七一二號 民政局長通達

傳染病流行ノ儀ハ一人一家ヨリ街庄ニ及ヒ遂ニ延テ全島ノ災害トナルモノナレハ之ヲ豫防スルニハ一人一家ノ始メニ於テスルニアラサレハ其ノ全效ヲ收ムルコト能ハサルヲ以テ該病發生ニ際シテハ掛官更ニ於テ慎重事ニ從ヒ豫防消毒上疎漏ナキヲ努ムルハ勿論ナリト雖モ從來傳染病豫防ノ事タル隣伍互ニ扶持警戒シ街庄ノ團體ニ於テ其ノ備ニ當ルハ當然ノ責務ナルモ本島目下ノ情勢遠ニ之ヲ街庄ノ責務トナスヲ得ヌ故ニ傳染病豫防消毒心得中ニモ豫防消毒ノ事務ハ總テ掛官更ノ責任ト規定セラレタリ是レ畢竟不得止ニ出タル次第ナレハ漸次人民ヲシテ衛生思想ヲ養成シ尋テ公衆衛生ノ事務ニ慣熟セシメ終ニ街庄ノ團體ニ於テ豫防消毒施行ノ責務ヲ全ウスルニ至ラシムルハ將來衛生施設上必要ノ儀ト存候ニ付土地ノ狀況ヲ察シ漸次人民ノ重立タルモノヲシテ豫防消毒ノ事ニ當ラシメ尙ホ遮斷内貧民救助方モ可成隣伍互ニ相扶持セシムルノ方法ヲ取り候様豫テ御計畫可有之此段及通達候也

● 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方 (其二)

明治三〇年三月
府訓令第二八號

〔花蓮營〕

傳染病流行ノ兆アルト認ムルトキハ本島各地方廳其ノ最寄兵營、碇泊ノ軍艦及船舶交通アル内地ノ府縣廳ニ通報スヘシ

● 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方 (其二)

明治三〇年七月
府訓令第八二號

傳染病發生流行ノ兆アルトキハ虎列刺(ベスト)痘瘡及發疹室扶斯ノ四病ハ日報其ノ他ノ四病ハ旬報ヲ以テ隣接若クハ船舶交通ノ(縣廳最寄旅團司令部又ハ守備隊本部、碇泊軍艦ニ其ノ患者數ヲ通報スヘシ

● 傳染病流行ノ兆アルトキ關係各官廳へ通報方 (其三)

明治三〇年七月
民政長官依命通達

傳染病通報方ノ儀ニ付キ本年七月訓令第八十二號ヲ以テ訓令相成候處土地ノ狀況ニ依リ應ヨリノ通報延著ノ嫌アルトキハ便宜發生流行地ノ警察官署ヨリ直接其ノ守備隊及碇泊軍艦へ通報セシメラルヘク依命此段及通達候也

● 傳染病報告ニ關スル件

大正八年三月
民總第三八一號 民政長官代理依命通達

陸海軍營内居住軍人及在港海軍々人竝ニ地方監獄在監囚人ノ傳染病發生

〔花蓮營〕

● 傳染病通知ニ關スル件

大正八年六月
第三大隊長通達

市井ニ於テ傳染病發生ノ際ハ其ノ都度御通知相煩度及通達候也

● 警察日報々告ノ件

大正八年九月
警衛第一二九五號 警務局長通達

警察日報中傳染病ノ疑似虎列刺患者發生報告後真正ト確定ノ場合ノ報告方從來區々ニ涉リ重複又ハ脱漏ノ虞有之候ニ付自今左記ニ依リ御取扱相成度

左記

- 一 疑似患者發生又ハ死亡報告後真正ト確定ノ場合ハ(何日分疑似)發生死亡(何名ハ真正ト確定)ト報告シ別ニ同一ノモノヲ更ニ發生又ハ死亡トシテ報告ヲ要セス
- 二 前項ノ場合ハ取扱上確定シタル日ヲ以テ發生又ハ死亡ノ日ト看做ス

● コレラ發生ノ場合報告方ノ件

大正九年五月
警衛第四五八號 警務局長通達

新ニコレラ患者(疑ヒアルモノヲ含ム)發生シタル場合ハ警察日報以外ニ

轉歸報告方ニ付テハ從來區々ニ涉リ居候處右ハ報告例竝ニ警察日報規程ニ準シ報告スルコトニ決定候條關係陸海軍衙門ニ監獄ト連絡ノ途ヲ講シ自今遺漏ナク報告可相成

● 傳染病報告ニ關スル件

大正八年四月
花營衛第一三七二號 警務課長依命通達

右ニ關シ其ノ筋ヨリ別紙寫ノ通り通達有之候條貴支廳管内居住ノ軍人中右ニ該當事故發生ノ際ハ相當連絡ノ途ヲ講シ報告ニ際シ遺漏ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

別紙(大正八年三月二十九日本警第三八一號 民政長官代理ヨリ廳長へ依命通達)

● 傳染病報告ニ關スル件

大正八年四月
花營衛第一三七二號ノ二警務課長照會

營内居住軍人中ヨリ傳染病患者ヲ發生シタル場合ハ當廳ヨリ報告方其ノ筋ヨリ通達有之候條患者發生ノ際ハ直ニ御通知相煩度

其ノ患死者數並ニ街庄名(船舶名)及感染系路ヲ電報シ更ニ書面ヲ以テ其ノ街庄ノ戶數人口、船舶ニアリテハ船員船客數及其ノ防遏方法計畫等ヲ詳記シ發生地ヲ表示セル圖面ヲ添付シ報告相成度
右通牒ス
追而一應報告セル街庄ノ發生ニ付テハ報告ヲ要セサルニ付申添候

● 傳染病新聞記事ニ關スル件

大正一四年一月
警衛第九〇號警務局長照會
最近傳染病ノ發生其ノ他ノ狀況ニシテ新聞紙ニ掲載後報告セラレ若ハ該記事ニ依テ照會ノ結果判明シ或ハ其ノ事實ニ大ナル差異アルカ如キ事例有之斯テハ防疫上ハ勿論一般人心ニ影響ヲ及ホス場合不尠候ニ付將來ハ公表前ニ詳細御報告相成候様特ニ御注意相煩度
右照會ス
追テ本件ハ市街庄關係吏員ニ對シテモ充分徹底シ置カレ候様致度申添候

● 腸チフス早期診斷ニ關スル件

昭和四年五月
花警衛第一〇九六號警務課長照會
各公醫 開業醫宛
腸チフス早期診斷ノ確實ヲ期スル上ニ於テ膽汁培養基(アンブレー入)當課細菌試驗室ニ於テ調製貯藏致居候ニ付疑ハシキ患者アルトキハ之ヲ利

〔花運警〕

用相成様致度
右照會ス

● チフス菌株通報方ニ關スル件

昭和六年五月
警衛第八四四號警務局長通牒
チフス流行系統調査上菌型決定ノ必要有之候條將來費管下ニ於テ發生セル「チフス」(バラチフス)患者並ニ保菌者ヨリ證明シ得タル該菌株ハ洩レナク臺北州細菌検査室宛別紙様式ニ御記入ノ上御送付相成度及通牒候也
追テ菌株ノ特異性狀ニ付テハ相成可ク費管ニ於テ御決定相成度申添候
別記様式

姓名、年齢、性、種族
住 所 本人ノ職業
宗ノ職業
病 名 轉歸
決定年月日 全治或ハ死亡年月日
備考(經路調査上參考トナルヘキ事項)

● 傳染病豫防保菌調査ニ關スル件

昭和五年一月
花警衛第二一〇號警務課長依命通達
傳染病患者發生又ハ既發生區域其ノ他特ニ調査ヲ要スル箇所ノ保菌検査施行ニ關シテハ細菌検査ノ能力關係有之候條容器請求ト同時ニ左記事項

〔花運警〕

報告相成度
右依命通達ス

追テ材料一日分發送數及日割ハ當課ヨリ通知致スヘク候條申添候

記

- 一 保菌検査ヲ要スル戶數、人口
- 二 施行地ノ略圖(附近略圖ヲ畫キ施行地ハ朱線ヲ畫スルコト)

● 傳染病豫防注射ニ關スル件

昭和五年一月
花警衛第二二一號警務課長依命通達
傳染病患者發生地又ハ既發生地其ノ他特ニ豫防注射施行セントスルトキハ施行前注射材料請求ト同時ニ(注射材料請求ハ街庄區域内ヲ除ク)左記事項報告相成度
右依命通達ス

記

- 一 施行區域戶數、人口
- 二 施行地ノ略圖(附近略圖ヲ畫キ施行地ハ朱線ヲ畫スルコト)

● 傳染病豫防費負擔區分ニ關スル件

昭和五年八月
總警第三二五號ノ一總務長官依命通達
近來番地内ニ於ケル各種事業勃興ニ伴ヒ内地人、本島人其ノ他ノ者ニシテ番地内ニ居住スルモノ益々増加ノ實況ナリ然ルニ是等一般居住者ニ對

スル傳染病豫防等ニ要スル費用ハ國庫或ハ州費其ノ何レニ於テ支辨スヘキヤ明ナラサルモノ有之候處今般左記ノ通決定相成候ニ付テハ爾今右ニ依リ御取扱相成度
右依命通達ス

左記

街庄及區ヲ置カサル地域(番地)内居住者中番人以外ノ者ニ對スル傳染病費ハ州ニ於テハ州費應ニ於テハ廳地方費ヲ以テ支辨スヘキモノトス

● 衛生事務擔任者氏名回報ノ件

昭和四年一〇月
花警衛第二二九二號警務課長照會
街庄長宛
傳染病豫防計畫上必要有之候條貴街庄ニ於ケル街、庄醫及衛生事務擔任者ノ氏名回報相成度
右照會ス
追テ爾後異動アリタルトキハ其ノ都度通報相煩度申添候

● 傳染病通報ニ關スル件

昭和七年二月
警衛第一八九號警務局長照會
「ベスト」「コレラ」痘瘡、發疹チフス及流行性腦脊髓膜炎患者發生シタル場合ハ左記ニ依リ通報相煩度
右及照會候也

追テ各州廳相互ノ通報モ亦右ニ準シ御取扱相成候様致度茲ニ申添候
記

- 一 病名、發病月日、診定月日、患者ノ住所、職業氏名、年齢並ニ傳染系統等ヲ日々通報セラレタシ
- 二 初發ノ場合ハ特ニ發見ノ狀況、傳染系統其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ可成詳細ニ通報セラレタシ
- 三 豫防計畫ハ速ニ之ヲ通報セラレタシ
- 四 豫防措置ノ狀況其ノ他參考トナルヘキ事項ハ時々之ヲ通報セラレタシ

●コレラ保菌者検査ニ關シ取扱上注意方ノ件

大正九年九月
警衛第八八〇號警務局長通牒

コレラ病流行ニ際シ保菌者即チコレラ菌保有健康者ノ檢案隔離ヲナスコトハ病毒傳播防止上最モ緊要事項ニ屬シ苟モ有毒地帯ト認ムル箇所ニ對シテハ漏ナク之ヲ施行シ將來一層勵行ヲ要スル次第ナルモ婦女ニ對スル採便作業ノ如キハ種々誤解ヲ招キ特ニ本島人婦女ニ在リテハ肌ヲ男子ノ面前ニ露ハスコトヲ甚シク嫌厭スルノ風習アリテ過般來新聞紙等ニ於テ屢々好マシカラサル風評ノ記事ヲ散見候ニ付テハ爾今必ス婦女ニ對スル採便作業ニ付テハ看護婦又ハ其ノ他ノ女子ヲ雇傭シテ之ニ當ラシメラレ候様致度
右經伺ノ上通牒ス

〔花蓮營〕

●赤痢患者通報方ノ件

大正一一年四月
警衛第六二四號警務局長照會

調査上必要ニ付今後細菌性赤痢發生ノ場合ハ報告例ニ依リ日報スルノ外患、死者ノ氏名、年齢、種別、發生地、傳染経路等其ノ都度御通報相成
右照會ス

●傳染病發生届出ニ關スル件

大正九年一二月
花警衛第三二五三號警務課長依命通達

傳染病發生ノ際ニ於ケル醫師ヨリノ届出方ニ付テハ大正五年九月花警衛第三四四三號ヲ以テ及通達置候儀爾今左記各項ニ依リ届出ツル様示達可相成

右依命通達ス

左記

- 一 患者住所、職業、氏名、出生年月日
- 二 種族(内地人、本島人(朝鮮人、外國人ノ別)體性(男女ノ別)
- 三 病名
- 四 發病年月日
- 五 診斷年月日
- 六 原因
- 七 療養場所

追而轉歸届出ニハ病名、患者、氏名、轉歸年月日(何年何月何日全治又ハ死亡)ノミニテ差支無之候條申添候

〔花蓮營〕

●傳染病發生ノ場合詳報ニ關スル件

昭和二年七月
花警衛第一六四七號警務課長依命通達

傳染病患者發生ノ場合ハ直ニ本廳ニ即報スルト同時ニ五日以内ニ別紙様式ニ依リ詳報相成度
右依命通達ス
別紙様式

警衛 號

昭和 年月日

支 廳 長

花蓮港廳長 殿
傳染病患者發生詳報

(一) 患者ノ住所、職業、氏名、年齢、種別、體性			
(二) 病名		發病昭和 年 月 日	
(三) 發生ノ場所		決定昭和 年 月 日	
(四) 治療場所	(隔離ノ實況ヲ記載スルコト)	檢診醫師名	
(五) 發生部落ノ地勢及交通ノ概要	(略圖添付ヲ要ス)		

●傳染病消毒用藥品使用方ニ關スル件

昭和二年一二月
花警衛第二六九四號警務課長依命通達

傳染病發生詳報ニ依レハ消毒藥品トシテ「クレゾール水」及「石炭酸水類」ヲ使用シ昇汞ヲ使用セサル傾アリ右ハ豫算經理ニ關係有之候條支障ナキ限

別紙寫ノ通り其ノ筋ヨリ照會有之候條大正十年九月分ヨリ調査ノ上毎月其ノ月分ハ翌月五日限リ月報相成度
右依命通達ス
別紙

(大正十年九月警衛第六九五號警務局長ヨリ廳長(照會)
調査上必要有之候條貴管内ニ於ケル腸チフス患者(バラチフスヲ含ム)
ニ對シ左記様式ニ依リ調査ヲ遂ケ當分月報相成度
右照會ス

左記
腸チフスニ關スル調査月報

月分

種別	發病後決定迄ノ期間							下熱後無菌ニ至ル期間							
	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日
腸チフス															
バラチフス															
型ス															
型ス															
型ス															

備考

- 一 上欄ハ醫師ノ治療ヲ受ケサル前ノ日數ヲモ含マシムルモノトス
- 一 下欄ハ平熱ニ復シタル後細菌ヲ認メサルニ至リタル日數ニ依リ計上スルコト

●腸チフス調査月報ノ件

大正十一年五月
花衛衛第八〇九號ノ一警務課長依命通達

本件ニ關シ大正十年九月十五日花衛衛第一三三三號ノ一通達中發病後決定迄ノ期間二十日以上ニ互ルモノニ付テハ各其事由ヲ調査備考關(附記相成度
右依命通達ス

〔花衛衛〕

●腸チフス豫防注射施行ニ關スル件

昭和三年四月
花衛衛第七九八號警務課長依命通達

腸チフス豫防上患者發生ノ場合ハ左記要項ニ依リ豫防注射施行ノ上別紙様式ニ依リ其ノ成績報告相成度
右依命通達ス

左記

一 豫防注射施行區域

- (イ) 患者カ病名決定別旅行宿泊シタル家(病汚染ノ疑アルトキ)
- (ロ) 患者カ病名決定別旅行宿泊シタル者(病汚染ノ疑アルトキ)
- (ハ) 患者カ病名決定別旅行宿泊シタル者(病汚染ノ疑アルトキ)
- (ニ) 所轄街庄長ト協調
- 街庄地域内豫防注射實施計畫ニ關シテハ街庄長ト協調スルコト
- 三 豫防注射所要經費
- 區ノ區域ニ在リテハ應地方費支辨トシ街庄制施行地ニ在リテハ街庄ノ負擔トス但シ必要ト認ムルトキハ所要材料現品補助スルコトアルヘシ

四 實施方法

- (イ) 受持調査ヲシテ豫防注射ヲ要スヘキ者ノ氏名、男女別、年齢ヲ調査シ名簿ヲ調製スルコト
- (ロ) 施行區域内居住者ニ對シ豫防注射ノ必要及其ノ效果ヲ豫論スルコト
- (ハ) 所要材料ヲ要求シ現品到着ヲ待チ注射施行場所及日割ヲ定メ通知スルコト
- (ニ) 豫防注射ニ當リ注射施行醫ヲシテ被注射者ノ健康狀態ニ注意セシムルコト
- (ホ) 注射液ハ二回式ナルカ故ニ第一回注射ニ當リ第二回注射施行日ヲ指定スルコト
- (ヘ) 第二回注射ニ當リ往々遠避不參スル者アリ斯クテハ其ノ效果

〔花衛衛〕

ヲ失フカ故ニ督勵シテ完了セシムルコト
別紙様式(半紙型)
年 月 日

廳長宛

支廳長名

腸チフス豫防注射施行成績

計	第一回注射人員	第二回注射人員	注射完了人員	摘要
腸チフス患者、住所、氏名	花衛衛廳 街、庄、區大字	番戶	某	
診斷決定年月日	昭和 年 月 日	診斷決定		
豫防注射施行場所	第一回注射人員	第二回注射人員	注射完了人員	摘要
備考	豫防注射月日及其ノ反應狀況ヲ簡單ニ記載スルコト			

右報告ス

●腸チフス豫防注射成績調

大正十一年七月
花衛衛第一〇八三號ノ一警務課長依命通達
調査上必要ノ趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ照會有之候條本年一月以降六月迄ノ腸チフス患者ニシテ豫防注射ヲ施行セルモノ別紙様式ニ依リ調査ノ上七月十日迄ニ報告相成度

右依命通達ス

追テ七月以降ノ分ニ對シテハ當分翌月五日限り右様式ニヨリ月報相成
(別紙様式及記載例)

賜チフス豫防注射成績調 年 月分

支 廳 名

患者氏名	年 齡	發病月日	轉歸月日	轉歸別	所定注射回数	注射月日	注射量	注射完否	豫防液製造所名
何 某	二八	五月一日	六月一日	全 治	第二次	三月五日	一〇、五	了	中央研究所
何 誰	二三	五月十日	六月十日	死 亡	第三次	三月十五日	〇〇、七五	未了	傳染病研究所

●流腦炎豫防ニ關スル件

大正一四年一二月 花警衛第二四八七號警務課長依命通達

廳下ノ既往狀況ニ鑑ミ毎年十月乃至翌年四月ニ至ル間各地ニ流腦炎發生シ警戒ヲ要スル季節ニ在リ本年ハ既ニ十一月以來玉里支廳下公埔及花蓮支廳下林田村ニ發生シ何時各地ニ該病傳播猖獗ヲ逞スル哉難計ニ付一般部民ニ對シ豫防警戒宣傳スルト共ニ左記方法ニ依リ注意警戒相成度右依命通達ス

左記

- 一 患者早期發見方法
 - 1 一般ニ本病ノ概念ヲ普及シ疑ハシキ患者ノ届出方勵行スルコト
 - 2 各開業醫及本島人藥種商ト連絡ヲ採ルコト
 - 3 本病ハ其ノ初期ニ於テ往々麻疹ト誤診セラルル事例アレハ麻疹流行ノ際ハ其ノ發生、流行、終熄ノ狀況ヲ報告セシメ一面本廳

〔花蓮警〕

度申添候

〔花蓮警〕

- 8 反覆檢病の戸口調査ノ續行
- 9 集會禁止
- 10 豫防警戒宣傳
- 三 本廳ヘ報告ヲ要スル事項
 - 1 傳染系路詳報
 - 2 豫防制退ノ方法(發生地及周圍部落ノ略圖添付)
 - 3 豫防注射、保菌調査區域ヲ定メ其ノ人員即報
 - 4 患者ニ對スル血清注射及一般含嗽藥無料配付ヲ要スル場合ハ其ノ事由及數量
 - 5 豫防注射施行人員日報
 - 6 保菌調査人員日報
 - 7 其ノ他必要ト認ムル事項

●種痘施術ノ件

明治四四年二月 民内第九五一號民政長官代理依命通達

今般訓令第二十二號ヲ以テ種痘施術心得發令相成候處貴廳管内ニ於ケル開業醫ノ種痘ヲ施行スル場合ニアリテモ右訓令ニ據ラシムル様訓諭可相成依命此段及通達候也

●臺灣市制及臺灣街庄制ヲ施行セザル地域ニ種痘施行ノ件

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

- 4 戸口實査、諸區檢視察ヲ兼テ部内檢病的戸口調査ヲ續行スルコト
- 5 疑ハシキ患者ニシテ醫療ヲ受ケ居ラサル者ハ醫師ノ診察ヲ受ケサシムルコト
- 二 患者發見ノ場合
 - 1 患者、保菌者、患者ノ消毒、清潔法並ニ隔離ノ嚴行
 - 2 患者又ハ患者ニ最近出入シタル者ノ調査
 - 3 傳染系路調査
 - 4 豫防注射
 - 5 保菌調査
 - 6 咽頭保護含嗽ノ勵行
 - 7 衣服、寢具類ノ日光消毒、清潔法勵行

〔花蓮警〕

昭和五年一月 廳令第一號

明治四十二年法律第三十五號種痘法及昭和四年臺灣總督府令第二十四號種痘法施行規則中街庄長ノ職務ハ臺灣街庄制ヲ施行セザル地域ニ在リテハ所轄支廳長之ヲ行フ
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●種痘法施行規則取扱手續

昭和六年五月 廳訓令一三號

- 第一條 街、庄長種痘法施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第一條ニ依ル指
定ヲ爲サントスル場合ハ別記第一號様式ニ依リ檢診期日ト共ニ之ヲ保
護者又ハ義務者ニ通知スヘシ同第二條及第三條ニ依ル指定亦同シ
規則第一條第三項ノ公告ハ種痘施行七日前ニ當該公署ノ揭示場其ノ他
公衆ノ踏易キ場所ニ之ヲ揭示スヘシ
- 第二條 街、庄長前條ノ公告又ハ通知ヲ爲シタルトキハ所轄支廳長ニ通
報スヘシ
- 第三條 街、庄長種痘場所取捨ノ必要アリト認ムルトキハ所
轄支廳長ニ對シ警察官吏ノ派遣ヲ請求スルコトヲ得
- 第四條 支廳長前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ必要ト認ムル人員ヲ派遣ス
ヘシ
- 第五條 街、庄長臨時種痘ヲ行フ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由並種
痘ヲ受クヘキ者ノ範圍及施行期日ヲ廳長ニ報告スヘシ

事由	要種痘者		保護者又ハ種痘法第三條ノ義務者		摘要	
	別種	本籍(居)地	種族	氏名		本籍(居)地、寄留地、校名、院名、其ノ他
	寄留地	種族	氏名	年月日	氏名	

右報告ス

第 號

支廳長

主任

取扱者

昭和 年 月 日

支 廳 長

街、庄長宛

右受持調査報告ノ通りニ付種痘法施行規則取扱手續第八條第二項ニ依リ通知ス
記載例

- 一 事由欄ニハ轉入、轉出、死亡其ノ他ノ事由ヲ記載スヘシ
- 二 街、庄長ハ本通知ニ依リ種痘名簿ヲ整理スヘシ

第四號様式

年 月 日

郡守(警察署長、支廳長)宛

入寄留者種痘施行通知

種痘月日	種別	感、不感	寄本籍留(居)地	氏名	年月日	備考

〔花蓮警〕

〔花蓮警〕

第五號様式

右種痘法施行規則第十二條ニ依リ通知ス

年 月 日

何々派出所

受持
巡查印

出寄留者要種痘報告

寄留地	本籍(居)地	氏名	年月日	寄留地及戶主ノ氏名	備考

右報告ス

第 號

支廳長

主任

取扱者

年 月 日

郡守(警察署長、支廳長)宛

右受持調査報告ノ通りニ付種痘法施行規則第十三條ニ依リ通知ス

第六號様式

年 月 日

廳長宛

街、庄長(支廳長) 印

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

種痘施行成績報告

種別	要種痘人員		種痘成績		事故不參	
	第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期
内地人			感	感		
本島人			不感	不感		
朝鮮人			感	感		
外國人			不感	不感		
計			感	感		
備考			不感	不感		

右報告ス
記載例

備考欄ニハ種別檢診未了人員痘瘡經過人員其ノ他ノ事項ヲ記載スヘシ

●痘苗ニ付照會ノ件

大正一〇年一〇月
臺研第四〇七號中央研究所長照會

今般本所衛生部ニ於テハ應急配布ノ便益ヲ顧慮シ痘苗ノ製造ヲ開始スル
コトト相成候ニ就テハ今後貴廳ニ於ケル種痘施行相成候節ハ傳染病研究
所ト同様ノ價格ヲ以テ迅速ニ御需要ニ應スヘク候間相成可ク本所ニ御請

〔花運管〕

求相成様致度
右照會ス

●痘苗ニ關スル件

大正一五年六月
臺研第四五二號中央研究所長照會

〔花運管〕

本所ニ於ケル痘苗製造及配送ノ都合有之候節爾今貴廳管内ニ施行ノ通常
種痘ニ要スル痘苗ハ所要概數ヲ取職メ毎年十二月末日迄ニ御通報相煩
度
右照會候也
追テ特別種痘施行ノ場合ニ在リテモ可成州下(廳下)取職メ御要求相成
候様致度申添候

●マラリア防遏規則施行細則

大正二年九月
廳令第一七號

- 第一條 マラリア防遏方法施行地域内ノ居住者、滞在者ハ日常左ノ事項
ヲ遵守シ專ラ蚊族驅除ニ努ムヘシ
- 一 臥寢ニ際シテハ必ス蚊帳ヲ使用スヘシ
 - 二 蚊族驅除器ヲ備ヘ蚊取粉、蚊除香又ハ除蟲菊ヲ燻灼スヘシ
- 第二條 マラリア防遏施行地域内ニ在ル土地建物ノ業主所有者又ハ占有
者ハ當該官吏ノ指示ニ從ヒ左ノ方法ニ依リ土地建物内ノ清潔法ヲ施行
スヘシ
- 一 毎月一回以上戸障子等ヲ取外シ押入、戸欄其ノ他蚊族棲息ノ處
ル場所ニ就キ蚊族ノ驅除ヲ施スヘシ
 - 二 毎月一回以上住家附近ノ葎藪ノ伐採竹木ノ下枝ヲ芟除シ及雜草ヲ
刈取り又ハ根除スヘシ
 - 三 毎日一回以上住家ノ内外ヲ掃除スヘシ
 - 四 井戸端流シ尻其ノ他汚水停溜ノ處アル場所等ハ常ニ掃除シ專ラ蚊

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●マラリア防遏規則施行規程

昭和六年七月
廳訓令第一六號

- 第一條 マラリア防遏施行地ニマラリア防遏事務所ヲ置キ左ノ職員ヲ配
置ス
- 一 防遏事務囑託
 - 二 防遏員
- 囑託ハ醫師又ハ適當ト認ムル者ニ依囑シ防遏員ハ衛生技手又ハ履、備
員中ヨリ之ヲ命シ若ハ警察官吏ニ之ヲ兼掌セシム
マラリア防遏事務所ハ土地ノ狀況ニ依リ支廳又ハ警察官吏派出所内ニ
置クコトアルヘシ
- 第二條 前條ノ職員ハ所轄支廳長ノ指揮監督ヲ承ケマラリア防遏ニ關ス

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

ル事務ニ従事ス

受持警察官吏ハ前條ノ職員ト當ニ連絡協調ヲ保チマラリア防遏事務ノ執行ニ當ルヘシ

第三條 支廳長マラリア防遏規則施行規則第四條ノ告示アリタルトキハ左記各號ニ依リ之ヲ施行スヘシ

一 施行地域内ノ居住者及滞在者ニ對シ防遏施行上必要ナル事項ヲ諭示宣傳スルコト

二 施行地域内居住者及滞在者ノ戸口ヲ實査シ別記第一號様式採血名簿ヲ作成シ定期採血日ヲ定メ別記第七號様式ノ採血票ヲ交付スルコト

三 前號ノ採血名簿ハ毎月定期採血直前ニ戸口實査シ異動ヲ整理スルコト

四 定期採血ニ際シ集團部落又ハ遠隔ナル地域ニハ出張採血トスルコト

五 血液検査ノ結果マラリア患者若ハ原蟲保有者ヲ發見シタルトキハ別記第二號及第三號様式各名簿ニ記入シ同時ニ別記第八號様式ノ治療票ヲ本人又ハ扶養義務者ニ交付シ左記方法ニ依リ服藥セシムルコト

服藥ハ「キニーネ」ニ在リテハ大人一日〇、八瓦「オイヒニン」二、二瓦トシテ年齢及健康状態ニ依リ適宜減量スルコト

年齢別分量ノ例

年 齡

九 (〇、〇五) 錠 (〇、二) オイヒニン

〔花蓮馨〕

三	一歲	〇、二
四	二歲	〇、三
五	三歲	〇、四
六	四歲	〇、五
七	五歲	〇、七
八	六歲	〇、九
九	七歲	一、一
十	八歲	一、二
十一	九歲	一、三
十二	十歲	一、四
十三	十一歲	一、五
十四	十二歲	一、六
十五	十三歲	一、七
十六	十四歲	一、八
十七	十五歲	一、九
十八	十六歲	二、〇
十九	十七歲	二、一
二十	十八歲	二、二
二十一	十九歲	二、三
二十二	二十歲	二、四
二十三	二十歲以上	二、五

服藥日數ノ例

(A) $8 + 8 + 7 + 6 + 5 + 4 + 3 + 2 + 1 = 44$ 日

(B) $6 + 6 + 5 + 4 + 3 + 2 + 1 = 27$ 日

六 防遏施行地域内住民ニシテ臨時採血ヲ顯出テタルトキハ直ニ之ヲ行ヒ原蟲ヲ發見シタルトキハ前號ニ依リ服藥セシムルコト

醫師ヨリ患者又ハ原蟲保有者ノ引續ヲ受ケタルトキ亦同シ

七 採血又ハ服藥不參者ハ之ヲ召喚シ採血又ハ服藥ヲ徹底セシムルコト

八 蚊帳使用ノ狀況ハ時々臨檢シ別記第五號様式蚊帳ヲ作成整理スルコト

九 毎月一回蚊帳調査ヲ行フコト

〔花蓮馨〕

第四條 支廳長ハマラリア防遏施行規則第一條及第二條ノ事項ヲ督勵シ若シ地物整理ヲ必要トスル箇所ニシテ其ノ勞費地方部民ノ負擔ニ堪ヘスト認ムルトキハ其ノ狀況ヲ報告スヘシ

第五條 支廳長ハマラリア患者及原蟲保有者ノ増減著シキトキハ其ノ原因ヲ調査シ其ノ狀況ヲ報告スヘシ

第六條 支廳長ハ巡視ノ都度、監視區及監視區監督ハ毎月一回以上事務所並地域内ヲ巡視シ其ノ狀況ヲ視察スヘシ

第七條 支廳長ハ防遏施行狀況ヲ別記第九號乃至第十二號様式ニ依リ翌月七日迄ニ報告スヘシ

第八條 マラリア防遏事務所ニハ左ノ簿冊及圖表ヲ備フヘシ

一 採血名簿 第一號様式(甲乙) (五年保存)

二 患者及原蟲保有者名簿 第二號様式 (永久保存)

第一號様式(甲)

採血名簿

採血番號	事記	字名												戸主氏名	年 齡					
		三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月			脾腫				
	前年度患者、原蟲保有者發見何回何人																			
	黒水熱患者何名發見セリ																			
	前年度患者又ハ原蟲保有者ナシ																			

記載例

一 記事關ニハ前年度防遏施行成績其ノ他要注意事項ヲ記載スヘシ

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

- 二 採血シタルトキハ其ノ月關へ印ヲ押捺(朱肉)シ不參者ハ其ノ事由ヲ病氣、旅行等ト記載スヘシ
 三 患者又ハ原蟲保有者ヲ發見シタルトキハ其ノ月關へ原蟲種別符號印ヲ押捺スヘシ(患者ハ黒肉、原蟲保有者ハ朱肉ヲ用フルコト)

第一號樣式 (乙)
採血名簿索引

頁	番	戸	主	氏	名	頁	番	戸	主	氏	名	頁	番	戸	主	氏	名

第二號樣式

患者及名簿
原蟲保有者

投藥番號	決定月日	採血番號 又ハ患者	原蟲種別	處方	服藥成績	記	事	住所戸主氏名	氏	名	年	齡

記載例

- 一 服藥成績欄ニハ服藥開始及廢止又ハ完了月日ヲ記載シ中廢者ハ㊦完了者ハ㊧ノ符號印ヲ押捺スヘシ
 二 記事欄ニハ服藥廢止ノ事由ヲ記載スヘシ
 三 種族、患者、原蟲保有者別月計ヲ附スヘシ

第三號樣式

患者及治療原簿
原蟲保有者

〔花蓮營〕

No.	摘要	本籍(居)地	住戶主氏名	來往注	現症	診斷	經過及ヒ服藥曆	服藥日數	日	職	年	氏	名	既往症	初診	月	日	既往症何回	マラリアノ既往症何回	黒水熱ノ既往症何回	
																					年

〔花蓮營〕

記載例

投藥ノ都度其ノ月日ヲ記入シ取扱者認印スヘシ

第四號樣式

藥品及消耗品受拂簿

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

表		頁
探血番號No.		
月二十	月 八	月 四
月 一	月 九	月 五
月 二	月 十	月 六
月 三	月 一十	月 七
定期探血日ハ 毎月		住所
戸主氏 本人氏 名		富直何
年 齡 名		某
マラリア探血票		

記載例
事實勤務ニ服シタル狀況ヲ記述スヘシ
第七號様式

調	探	檢	月	日	天候
査	血	血			
何々調査ニ従事ス	午前何時ヨリ何時迄何地ニ出張探血何枚	何枚檢血原蟲保有何名發見			

〔花蓮營〕

第六號様式

日誌

〔花蓮營〕

住	所	戸主氏名	家族數	寢室又ハ寢臺數	蚊帳現在數	蚊帳不足數	摘	要

蚊帳臺帳

第五號様式

年	月	日	受	拂	殘	取扱者印	摘	要

採血ノ都度其ノ月欄(○印)ヲ押捺スヘシ

<p>注意</p> <p>一 本票ハ汚損セサル様保存シ採血ノ際係員ニ提示スルコト</p> <p>二 住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ書換ヲ請ハルルコト</p> <p>三 死亡又ハ他ノ地域ニ轉住スルトキハ返納セラルルコト</p> <p>四 毀棄又ハ亡失ノ際ハ再交付ヲ請ハルルコト</p>	<p>マラリア防遏規則施行規則(抄録)</p> <p>第五條 マラリア防遏方法施行區域内ノ居住者及滞在者ハマラリア防遏ノ爲メニスル検査、血液検査、治療服藥ノ爲メニスル召集ヲ拒ムコトヲ得ス</p> <p>第十六條 正當ノ理由ナクシテ第五條ノ召集ヲ拒ミタル者ハ科料ニ處ス</p>
---	---

第八號様式

マラリア治療票	取扱者印	決定月日	
番 號	住 所	住 氏 名	年 齡
診 斷	注 意	服藥日割	
<p>一 服藥治療ハ指定分量及用法ヲ誤ラサル様ニ注意スルコト</p> <p>一 服藥ヲ受クルトキハ必ス此票ヲ係員ニ差出シ服藥證印ヲ受ケラルルコト</p> <p>一 服藥治療宜照指定分量及用法不可錯誤須當注意</p> <p>一 服藥之時須將此票提交請係員蓋服了印爲要</p>			

〔花蓮會〕

裏

治 療 開 始	月	日	終 了	月	日
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月
日月	日月	日月	日月	日月	日月

〔花蓮會〕

記載例

第九號様式

投藥ノ都度其ノ月日ヲ記入シ取扱者認印スヘシ

マラリア防遏施行成績(各施行地別)

様式略之(臺灣總督府報告例月報第六十表ニ同シ)

第十號様式

施行地名 (人の部)	採血成績表	採血昭和	年 月	日 檢 査 者
年 齡 級	檢 血 人 員	原 蟲	種 別	原 蟲 計
○—五		○	△	■
		()	()	()
		()	()	()
		()	()	()
		()	()	()
		()	()	()
		()	()	()
		()	()	()

記載例
本表ハ施行地別、種族別一表トス

記 事	原蟲保有者總數	名
六—一〇	()	()
一—二〇	()	()
二—三〇	()	()
三—四〇	()	()
四—五〇	()	()
五—六〇	()	()
六—七〇	()	()
七—八〇	()	()
八—九〇	()	()
計	()	()

右報告ス

第十一號様式

昭和 年 月 分 マラリア防遏用藥品其ノ他消費月報

品 名	單位	受 入		消 費		大 服 人	小 延 人	計 員
		前月繰越高	本月受入高	計	高			

取扱者印

マラリア防遏施行地名

〔花蓮營〕

〔花蓮營〕

種 別		正	正	正	正	正	正	正	正	計
アノフエレス										
クエーレツクス其ノ他										
ア・ジネンシス										
ア・ミニムス										

摘 要

記載例

- 一 本表ハ各施行地ニ於ケル消費藥品及其ノ他受拂ヲ記入スヘシ
- 二 服藥延人員欄大人小人ノ區別ハ丸一四粒、錠三錠、オイヒニン一、〇瓦以上ヲ大人トシ其ノ以下ヲ小人トス
- 三 本又ハ磅ノ消費量ハ一磅又ハ一本ニ達セサルモノハ分ヲ以テ示スコト
- 四 採血硝子ノ破損ハ本月消費高ニ記載スルコト

第十二號様式

昭和 年 月	蚊族調査月報	事務所名	採集者印

種 別

採集場所

アノフエレス

クエーレツクス其ノ他

ア・ジネンシス

ア・ミニムス

計

備考	内【スレエフノ】	
	ア・マキユラーツス	ア・ハトリ
不明ノモノ		
計		

記入例

- 一 本表ハ防遏事務所別一表トス
- 二 本表ニハ採集場所毎ニ杓子三十杯ニ對スル幼蟲ノ總數ヲ記スヘシ
- 三 區域内ニ於ケル「アノフエレス」蚊ヲ採集シタル時ハ種別、雌雄別及員數ヲ備考ニ記入スヘシ

マラリア防遏施行成績(第六〇表)作成要領

- 一 本表ハマラリア防遏檢血、服藥施行地域毎ニ作成スルモノニシテ被檢血者ノ年齢ヲ制限シタル區域ニ在リテハ其ノ制限年齢ヲ「記事欄」ニ「本區域被檢血者制限年齢何ヶ月以上何歳以下」ト記入スルコト
- 二 本月末日現在人口、本上欄ニハ施行地域内ノ總人口ヲ記入シ尙地域内被檢血者ノ年齢ニ制限ヲ設ケタルトキハ其ノ人員ヲ下欄×印ノ下ニ再記スルコト

●マラリア防遏施行成績月報ニ關スル

昭和六年七月 花登衛第一九九九號警務課長依命通牒

マラリア防遏規則施行規程第七條第九號様式マラリア防遏施行成績第三十六表ハ報告例改正ニ基テ第六十表ニ依リ別記要領ニ依リ作成相成度右依命通牒ス

別記

〔花登衛〕

〔花登衛〕

- 三 マラリア患者、本欄ニ於テ患者ト稱スルハ所扱ノ患者、醫師ヨリ引繼タル施行地域内患者、醫師、醫院ニ就テ調査シタル地域内マラリア患者、地域内黒水熱患者及同死亡者、地域内マラリア死亡者ヲ合算シタルモノヲ云フ
- 四 人口百ニ對スルマラリア患者、本欄ハ檢血服藥施行地域ノ總人口ニ對スルマラリア患者ノ百分比ニシテ即チ第二項ノ總人口ヲ以テ第三項ノ患者ヲ割リ之ヲ百倍シタルモノナリ(本表中%ノ算法ハ總テ單位以下三位迄ヲ算出シ四捨五入シテ二位ニ止ムヘシ)
- 五 マラリアニ因ル死亡、本欄ニハ地域内マラリア及黒水熱ニ因ル死亡人員ヲ計上スルコト
- 六 人口百ニ對スルマラリア死亡、本欄ニハ第五項ノ死亡人員ヲ第二項ノ總人口ニテ割リ百倍シタルモノヲ計上スルコト
- 七 檢血人員、本欄ニハ地域内被檢血人員中當月採血シタル人員(但シ患者ヲ除ク)ヲ記入スルコト
- 八 原患保有者、本欄ニハ前第七項ノ檢血人員ヨリ發見セル原患保有者ヲ記入スルコト
- 九 檢血人員百ニ對スル原患保有者、本欄ニハ第八項ノ原患保有者人員ヲ第七項ノ檢血人員ニテ割リ百倍シタルモノヲ記入スルコト
- 一〇 牌頭檢診關ハ特ニ牌頭檢診ヲ行ヒタル場合ノミ記入スルコト
- 一一 前月ヨリ繰越人員、本欄ニハ前月服藥者中未完了ノ人員ヲ記入ス故ニ前月月報ノ「本月末日現在」欄ノ事實ニ一致スルコト
- 一二 新服藥者、本欄ニハ原患保有者及所扱患者、引繼患者ニシテ當月新ニ服藥ヲ開始シタル人員ヲ記入スルコト

第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

- 一三 計、本欄ニハ第一項、第二項ノ計ヲ記入スルコト
- 一四 治療完了人員、本欄ニハ第一項及第二項中ヨリ當月内ニ服藥ヲ完了シタル人員ヲ記入スルコト
- 一五 キニ一ニ特異質ニ因ルモノ、本欄ニハ、キニ一ニ特異質ニシテ服藥中身體ニ異狀ヲ來タシ爲ニ服藥ヲ中廢セシメタル人員ヲ計上スルコト
- 一六 黒水熱ヲ發シタルニ因ルモノ、本欄ニハ服藥中黒水熱ヲ發シ爲ニ服藥ヲ中廢セシメタル人員ヲ計上スルコト
- 一七 其ノ他、本欄ニハ第一五項、第一六項以外ノ理由例ヘハ轉出、死亡、旅行等ニ依リ服藥ヲ中廢シタル人員ヲ記入スルコト
- 一八 計、第一五項、第一六項、第一七項ヲ合算シタル人員ヲ計上スルコト
- 一九 合計、第一四項ト第一八項ヲ合算シタル人員ヲ計上スルコト
- 二〇 本月末日現在、本欄ニハ第一三項ノ人員ヨリ第一九項ノ人員ヲ差引タル人員即チ翌月ニ繰越シ服藥スヘキ人員ヲ記入スルコト
- 二一 累計關ハ會計年度(四月ヨリ翌年三月迄)ニ依リ毎月ノ各計ヲ累計スルモノトス
- 二二 人種別本島人中ニハ蕃人ヲ含ム尙中華民國人以外ノ外國人アルトキハ本表ノ區別ニ依リ其ノ國籍別人員ヲ記事欄ニ再記スルコト
- 二三 本表ハアラビヤ數字ニ依リ記入スルコト
- 二四 防遏作業ノ狀況ハ相當欄内ニ簡明ニ記入スヘシ防遏作業施行中

處罰、説諭、注意シタルコトアルトキハ各其ノ件數ヲ記事欄ニ記入スルコト

二五 本表ハ各防遏事務所ヨリ三通ヲ徴シ内二通ヲ警務課へ進達スルコト但シ二通ノ内一通ニハ關外(花蓮港廳)ノ右側ニ調査主任者捺印スルモノトス

●マラリア豫防法視察心得ニ關スル件

明治四五年四月
花蓮港廳長
花警衛第五六六號

マラリア豫防法中切要ナル防蚊法勵行方ニ就テハ往々嚴格ニ過キ罰察ニ涉ル虞ナキヲ保シ難シ之レ最モ注意ヲ要スル事柄ナルヲ以テ自今左記各項範圍内ニ於テ勵行スヘシ

- 左記
- 一 夜間蚊帳使用ノ狀況ヲ視察スル爲メ已ムヲ得ス住家ニ臨ム必要アル際ハ必ス先ツ家人ノ許諾ヲ得且ツ蚊帳使用狀況視察ニ來リタル旨ヲ明カニ告知スルコト
 - 二 住家ニ臨ム際ハ殊ニ左ノ點ニ注意スルコト
 - (イ) 言語ヲ溫和ニシ決シテ粗暴ノ振舞ヲナシ若クハ威力或ハ強制ヲ用フヘカラス
 - (ロ) 努メテ家人ノ意ヲ迎ヘ苟且ニモ家人ニ不快ノ感情ヲ惹起セシムルコトヲ避ケ若シ其ノ嫌ヒアルトキハ縱令規約違反ノ狀況アリトスルモ其ノ場ニ於テ指示スルヲ止メ後日更メテ注意スヘシ
 - 三 視察時間ハ門戸ノ開キアル間ニ限ル

〔花蓮警〕

- 四 視察方法ハ單ニ下庭ヨリ見透シ得ヘキ場所ニ於テ視察シ敢テ戸障子ヲ自ラ開キ或ハ家人ノ嫌忌憚惡スル如キ場所ニ臨ムヘカラス
- 五 倘シ已ムヲ得ス家宅内ノ戸障子ヲ開クトキハ必ス豫メ家人ノ許諾ヲ得可成家人ヲシテ開カシムルコト
- 六 主トシテ視察スヘキモノノ範圍左ノ如シ
 - (イ) 常ニ苦力、職人等ノ出入スル家宅
 - (ロ) 他ヨリ新來ノモノアルモ蚊帳敷不足セリト認ムルモノ但シ主トシテ下等勞働者ニ限ル
 - (ハ) 檢鏡上生殖體ヲ證明シタル者
 - (ニ) 本島人等擔下腰掛櫃頂ニ臥スル者
 - (ホ) 患者ノ屢々發スル家宅
- 七 料理屋、宿屋、貸座敷等ニ臨檢スル場合ニシテ客室ニ臨ム際ハ必ス營業主又ハ其ノ代人ヲ伴ヒ客ノ同意ヲ得セシメタル後ニ外部ヨリ視察スルニ止ムヘシ

●マラリア防遏成績月報ノ件

大正二年一月
本衛第六〇一號警務本署通牒

麻刺利亞防遏方法採血休止ノ月ニハ月報提出ニ及ハサルモノノ如ク心得居ラルル向モ往々有之ヤニ及聞候處右ハ月報中記載事項ナキ部ニハ()符ヲ記入シ報告書提出相成度右爲念通牒ス

〔花蓮警〕

●マラリア防遏ニ關スル件

大正八年八月
民警第五六〇號總務長官依命通達

八月十二日府令第百十八號ヲ以テマラリア防遏規則施行規則第二條及第三條中「方法」ノ文字削除相成候處右ハ從來ノ指定又ハ認可ノ形式ヲ省キ其ノ應ニ於テ季節及施行地ノ情況ニ應シ直ニ便宜ノ措置ヲ爲シ得ラレ候様事務簡捷ノ趣旨ニ則リ改正相成候次第二有之且其ノ運用如何ニ依リテ防遏成績ノ良否ニ至大ノ影響ヲ及ホス儀ト存候條今後方法ノ計畫及實施ニ付深ク御留意可相成

右依命通達ス

追而從來ノ方法ヲ變更シタルトキハ本年五月訓令第六十五號マラリア防遏規則施行規程第十條ノ規定ニ依リ其ノ都度其ノ要項報告相成度

●マラリア防遏ニ關スル件

大正八年一月
花警衛第四四九號警務課長依命通達

本件ニ關シテハ大正二年九月三十日廳令第十七號ニ依リ施行ノ外左記各項實施ノ上尙一層其ノ實績ヲ舉クルコトニ努メラルヘク

- 左記
- 一 防遏法施行地域内ノ掃除ハ各部落毎ニ豫メ施行ノ日ヲ定メ報告スヘシ
 - 二 掃除ノ際ハ特ニ左ノ點ニ注意スヘシ
- 第四編 衛生 第一章 傳染病 地方病

- 1、部落附近水邊ノ林藪ハ伐採又ハ間伐ノコト
- 2、住家附近ノ林藪ハ伐採シ風致木果樹防風竹木等ハ下枝ノ芟除ヲ行ヒ芭蕉ノ如キハ可成他ニ移植セシムルコト
- 3 住家附近道路ノ除草、溝ノ浚深ハ其ノ戶主ノ掃除區域トシ部落内ノ空地及居住地ニ接近セサル道路及溝ハ部落ノ共同又ハ各戸ニ割當テ掃除ヲナサシムヘシ

●マラリア防遏職員記章佩用ノ件

大正九年一月
民警第一八二九號總務長官代理依命通達

マラリア防遏事務ニ從事スル職員ニシテ服制ノ定メナキ者防遏事務ニ從事スル場合ハ別途配布ノ記章ヲ左胸部ニ佩用セシメラルヘク

